

# TUTC

Tsukuba Urban  
Transportation Center

# Library

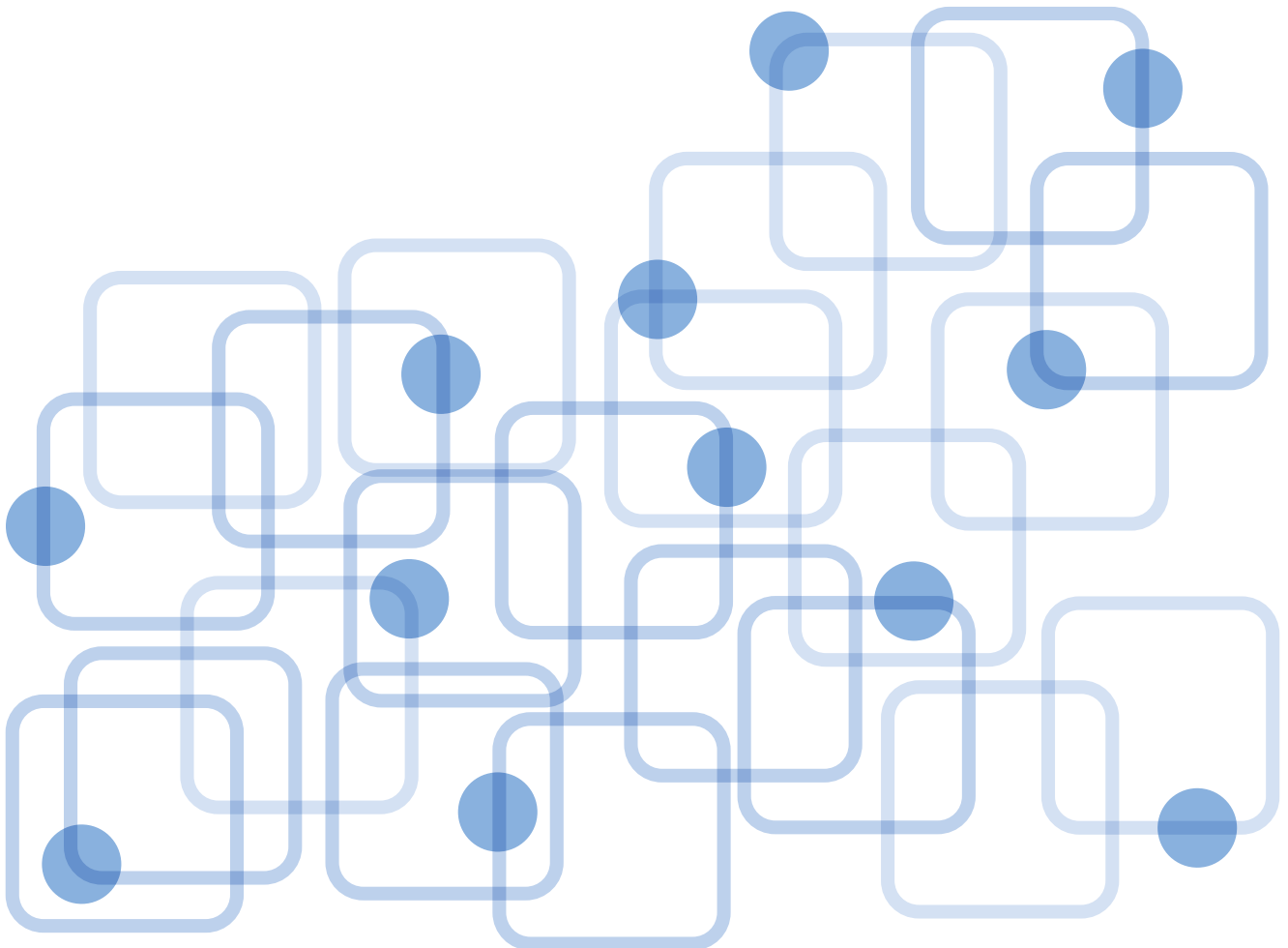
# 44

平成27年3月発行

Published  
in March 2015  
by Tsukuba Urban  
Transportation Center

## 新たなまちづくりへの挑戦

—葛城地区における「まち育て」モデルづくり—







新たなまちづくりへの挑戦  
ー葛城地区における「まち育て」モデルづくりー



## はじめに

一般財団法人つくば都市交通センターは、つくばセンター地区において安全安心で利用しやすい駐車場を管理・運営するとともに、公益目的事業としてまちづくり・まち育てなど地域社会に貢献する事業にも積極的に取り組んでいます。

葛城地区のまち育ては当財団が公益目的事業としてつくば市、UR、市民、地域、NPO、専門家等と連携し、市民協働のまちづくりを、ゼロからつくって支援していこうとする取り組みです。

当財団として、これは初めての試みになります。スタッフは全員未経験者。担当する部署のまち育て事業チーム総勢3名は、全員が都市計画も区画整理も、ましてやまちづくり活動のことなど全くの素人です。このような中、市民協働まちづくりを支援し、当財団としてもノウハウの蓄積を図りながら新たな事業の柱を確立させようとしています。

平成24年2月の住民アンケートから始まり、まちづくり勉強会を開催し、テーマ別ワークショップを経て活動グループが誕生しました。既に存在している住民グループに対する支援ではなく、グループ組成から取り組んだということになります。そして平成26年度、グループは活動を本格化させてきているという状況です。かなり順調に推移していますが、これは偏に住民の皆さんの熱意によるものであります。

本書は、これまでの経緯を振り返り、次につなげていくために、成果と課題等をまとめたものです。

全国各地では、その地域の実情等に沿って様々な市民協働の取り組み、中間支援の仕組みがあります。そういう方々に対して何か参考になる点があるのではないかと、また、私どもの取り組みに対して皆様からの評価、ご意見をいただくことも期待して発刊することにいたしました。

多くの皆様からのお声を頂戴できれば幸いです。

一般財団法人つくば都市交通センター  
理事長 伊藤 節治



## 目 次

第1章	当財団が取り組むまち育て事業について .....	1
1	当財団の目的 .....	1
2	葛城地区を先導モデル地区と位置づけ .....	1
第2章	葛城地区で取り組みがスタート .....	5
1	住民の方たちにアンケート（平成23年度） .....	5
2	研究会と勉強会でビジョンづくり（平成24年度） .....	7
3	3つの活動グループが誕生（平成25年度前半） .....	21
4	活動が本格化（平成25年度後半から） .....	29
第3章	これからも続いていく活動を目指して .....	42
1	当財団の取り組みの経緯 .....	42
2	会の課題と、これからの進め方について .....	45
第4章	資料編 .....	49



## 第1章 当財団が取り組むまち育て事業について

### 1 当財団の目的

昭和 63 年設立の当財団は、都市交通の円滑化と都市機能の充実育成を図ることを目的に事業を進めています。

筑波研究学園都市のセンター地区における安全安心で利用しやすい駐車場の管理・運営を事業の中心としながら、地域社会に貢献する事業にも取り組んでいます。

平成 24 年には一般財団法人に移行し、駐車場の管理・運営事業とともに、地域と連動したまち育て※を事業の一つの柱にするよう積極的に推進しているところです。

※ 市、UR、市民、地域、NPO、専門家等と連携し、市民協働のまちづくりをゼロからつくって支援していこうとする取り組みです。

### 2 葛城地区を先導モデル地区と位置づけ

#### (1) 葛城地区でのまち育て

つくば市にある葛城地区※は、つくばエクスプレス沿線開発の一環として UR 都市機構が土地区画整理事業により開発している面積 484ha のニュータウンです。つくばエクスプレスの研究学園駅を最寄駅とし、沿線開発の最大規模を誇る地区で計画人口は 25,000 人、現在人口は 1 万人を超えています。

この葛城地区において、当財団は公益目的事業として、つくば市、UR、市民、地域と連携し、平成 23 年度からまちづくりを支援していくことにしました。

公益目的事業とは、文字通り、一般財団法人等の取り組む公益目的の事業であり、当財団の平成 24 年度事業計画では「…都市機能の充実育成に関して、つくば市と連携し…研究学園駅周辺地区等での豊かな暮らしを目指すまち育て方策の検討など、検証を含めた調査研究を実施し、その成果を TUTC ライブラリーとして取りまとめ…」と打ち出しています。

※葛城地区の概観、名称

研究学園駅周辺には地区の核となる商業・業務施設や大規模商業施設等、さらには駅前高層住居群、つくば市役所庁舎があるほか、徒歩圏内に緑地が残されているなど豊かな自然環境にも近接しています。

それらを取り囲むようにして田園や既存の集落、平地林や屋敷林など、つくばの原風景が今も多く残っています。

また、周辺には、多くの神社・仏閣、城址等の遺構があり、この地域の歴史の古さを感じさせ、近年整備されてきた駅周辺や計画的住宅地等の新しい施設や新たに入居してくる人の動きとともに新旧交えた重層的な地域資源が点在していることが地区の特徴といえるでしょう。

地形は、蓮沼川及び谷田川支川から伸びる谷津田が標高 16～20m となっているほかは地区の大部分が標高 24～28m とほぼ平坦な地形が広がっています。

当地区の名称については、従来の地名による葛城地区、駅名から研究学園駅地区、両方を合わせた研究学園葛城など、いろいろな名称が見受けられます。

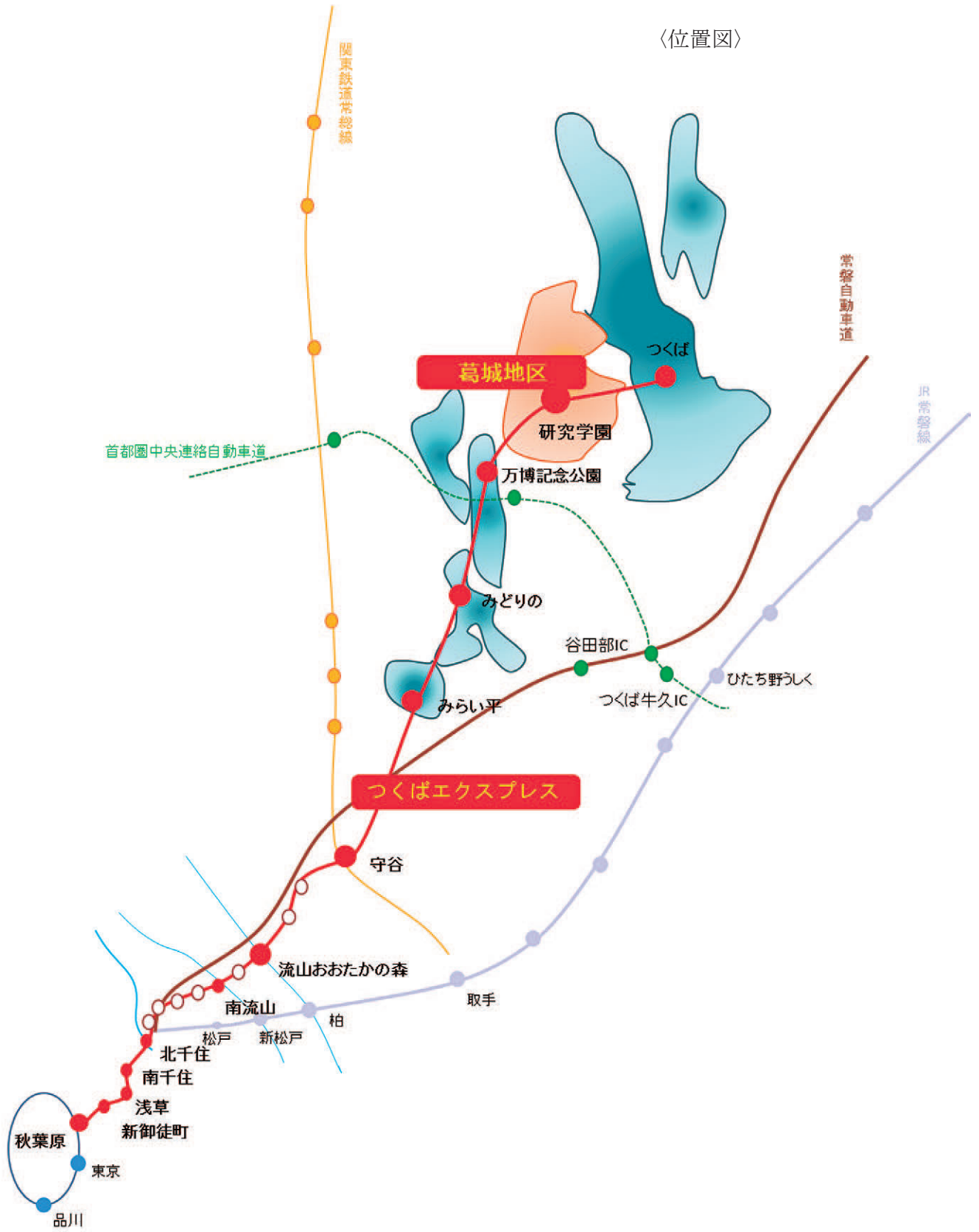
この事業の取り組みの中から誕生した活動グループの名称は「研究学園グリーンネックレスの会」であり、研究学園という文字を使おうとメンバーの方たちが考えて名付けています。

一方で、「筑波研究学園都市建設法」の中で定められている「研究学園地区」は「筑波研究学園都市の地域のうち、移転し、又は新設する機関の施設を建設し、並びにこれらと一体として公共施設、公益的施設及び一団地の住宅施設を整備すべき区域であって政令で定めるもの」とされています。

これらのことから、本書においては、混同を避けるべく、原則として葛城地区、を使用することとし、固有名詞などについては実際に使用されている名称で表記することにします。



〈位置図〉



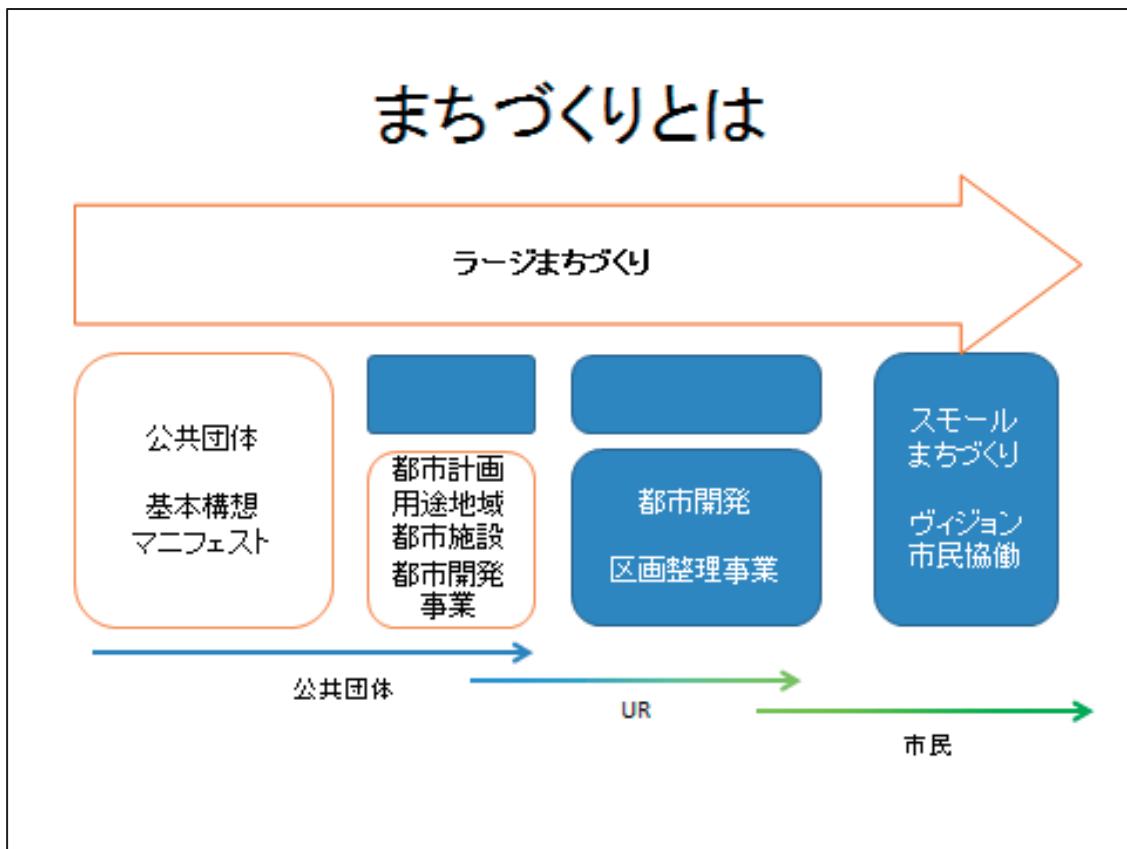
## (2) 区画整理事業完了後のスモールまちづくり

葛城地区での取り組みは、換地処分後のまちづくりを何とかしたいという、つくば市、URの意向を踏まえたものです。

基盤整備後の持続可能なまちづくりが実現していけば、楽しいコミュニティが作られ人々がいきいきと暮らせるまちとなり、区画整理事業の事業効果が今までになく発揮できるものになるのではないのでしょうか。

これを当財団では「スモールまちづくり」と名付け、まちづくりビジョンを皆で作って共有し、市民協働でまちづくりを進めていくことを目指しています。

こうした試みを通して課題を明らかにするとともに、成熟社会における新たなまちづくりの枠組みを見出したいと考えています。



## 第2章 葛城地区で取り組みがスタート

### 1 住民の方たちにアンケート（平成23年度）

#### (1) アンケート調査の実施

この地域にお住まいの方が地域活動に関してどのような考えを持っていらっしゃるのかを把握しようと、まず、アンケート調査から始めることにしました。

平成24年2月、つくば市長との連名でアンケート用紙を配布。配布総数は2,953世帯分で、このうち新規に参入された方は2,330世帯、従来からお住まいの方623世帯となっています。

配布方法については、従来からお住まいの方々の世帯には区会の回覧で対応していただき、新規参入された方々の世帯については共同住宅、戸建て住宅ともに直接ポストに投げ込みをさせていただきました。

回答総数は741世帯に上り、回答率は25%と、こういう種類のアンケートとしては高めの回答率で、たくさんの方から考えを伺うことができました。

#### (2) アンケート調査の結果

これから地域活動等に参加したいかどうかの問いでは、「広報などを通じて情報のみを知りたい」が4割で最も多く、次いで「セミナーやワークショップなどの地域活動に積極的に参加したい」、「アンケートやインターネットであれば意見を述べたい」が2割前後となっています。一方で「あまり関わりたくない」という考えは7.8%と低い数値でした。

#### (3) アンケートのもう一つの目的

このアンケートのもう一つの大きなねらいは、地域活動のワークショップやセミナーなどに参加してくれるモニターを募集することであり、これについてはありがたいことに130名の方から応募がいただけました。

このモニター募集をきっかけにして、まちづくり勉強会を開催していくことになるのですが、熱心なモニターの方々はその後、活動グループを組織し中心となって活躍していくこととなります。

## 葛城・研究学園地区まち育てアンケート調査報告

1) つくば市と共同にて調査を実施

TX沿線に出来た新しいまちである葛城・研究学園地区が、豊かで暮らしやすい魅力あるまちとして育っていくための支援をするため、同地区に住まわれている方々の、地域活動に関する意識調査をアンケート形式にて実施した。

2) 調査日と対象地区

イ 調査、配布日 = 平成24年2月

ロ 配布総数	2953件
(1) 在来の居住者	623件
つくば市の配布ルートによる配布	
(2) 新規の居住者	2330件
ポスティング	
ハ 回答総数	741件
回答率	25.0%

3) 地域活動について

イ 今後、地域活動等に参加したいか

選択肢	1: セミナーやワークショップなどの地域活動に積極的に参加したい。	2: セミナーやワークショップなどの地域活動に発起人として自ら立ち上げたい。	3: アンケートやインターネットであれば意見を述べたい。	4: 広報などを通じて情報のみを知りたい。	5: あまり関わりたくない。	6: その他無記入	
総数	785	175	11	154	319	61	65
重複回答		22.3%	1.4%	19.6%	40.6%	7.8%	8.3%
(1) 在来の居住者							
総数	197	43	2	19	76	29	28
割合	100.0%	21.8%	1.0%	9.6%	38.6%	14.7%	14.2%
(2) 新規の居住者							
総数	588	132	9	135	243	32	37
割合	100.0%	22.4%	1.5%	23.0%	41.3%	5.4%	6.3%

4) モニター応募者数

総数	はい	いいえ
741	130	611
100.0%	17.5%	82.5%
↓		
在来	新規	
29	101	

○モニター応募者で、3)-イ(1.積極的に参加したい)を選択した数

合計	76
在来の居住者	18
新規の居住者	58

5) 地域活動等についての自由意見（記述回答）

210件(在来 30件、新規 180件)の自由意見を得た。

- ①行政等に対する要望等、 97件
  - ・道路、公園関係(22) ・集会所等(19) ・図書館等の施設(28) ・自治会組織等(6) ・他(22)
- ②まちづくり活動に対する提案等、 29件
  - ・イベント等(8) ・歴史文化等(6) ・子育て等(7) ・他(8)
- ③財団に対して 22件
- ④今後の進め方等 9件
- ⑤一般的な感想等 53件

## 2 研究会と勉強会でビジョンづくり（平成 24 年度）

### (1) ビジョンづくりに向けての準備

住民主体のまちづくりを進めるにあたっては、皆で共有できるビジョンを作ることが必要となりますが、そのためにはまず、まちづくりについてのベースの考え方を参加者全員でおさえておくことから始めなければなりません。

そこで、モニターの方たちに参加してもらって勉強会を開催しようということになりましたが、勉強会を開くにあたっては当財団だけでなく都市計画やワークショップなどの専門家と一緒に準備をしていくことで参加者の理解が深まるだろうと考えました。

まちづくり活動を進めるにあたっては、

- ・ビジョンを作って皆で共有

↑

- ・そのためにはモニターの方たちに参加してもらって勉強会を開催

↑

- ・よりよい勉強会にするためには専門家と当財団で事前に準備という流れで進めることにしたわけです。

### (2) 研究会

よりよい勉強会にしようと、当財団が事務局になり、専門家の方々からなる研究会を組織しました。

名称は葛城まちづくりビジョン研究会。座長は元 UR 茨城地域支社長、副座長は当財団理事長が務めました。メンバーは(株)計画工房、NPO birth、URなどで、つくば市はオブザーバーとして参加していただきました。事務局は当財団の企画業務部まち育て事業チームです。

平成 24 年度は 5 月のプレ研究会から始まり、翌年 2 月まで都合 9 回の研究会を開催しています。内容は、各分野の事例研究とビジョンについての検討、勉強会開催にあたっての資料の確認と進め方、勉強会で行う「まち歩き」の準備など、勉強会と連動しながら準備とフィードバックを繰り返しながら進めていきました。

平成 24 年度のまちづくりビジョン研究会 活動経緯と検討内容

年 月	ビジョン研究会における検討内容等
平成 24 年 5 月 25 日	<b>葛城ビジョン研究会（プレ研究会）</b> (p.m.第 1 回勉強会) <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 24 年度の進め方</li> <li>・ビジョンの検討分野、役割分担</li> <li>・活動スケジュール</li> </ul>
平成 24 年 6 月 28 日	<b>第 1 回葛城ビジョン研究会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事例研究（みどり系その 1）…birth より</li> </ul>
平成 24 年 7 月 17 日	<b>第 2 回葛城ビジョン研究会</b> （第 2 回勉強会後） <ul style="list-style-type: none"> <li>・事例研究（みどり系その 2）…birth より</li> <li>・ビジョンについての検討</li> </ul>
平成 24 年 8 月 22 日	<b>第 3 回葛城ビジョン研究会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事例研究（センター系）…計画工房より</li> <li>・事例研究（歴史文化系）…TUTC より</li> <li>・第 3 回勉強会（まちあるき）の方法について</li> </ul>
平成 24 年 9 月 24 日	<b>第 4 回葛城ビジョン研究会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりビジョンの骨子（中間骨子）確認</li> <li>・ビジョンの全体フレームの整理、確認</li> <li>・第 3 回勉強会（まちあるき）に関して</li> </ul>
平成 24 年 10 月 30 日	<b>第 5 回葛城ビジョン研究会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シンボルプロジェクトの実現方策について</li> <li>・第 4 回勉強会内容と資料イメージの確認</li> </ul>
平成 24 年 11 月 19 日	<b>第 6 回葛城ビジョン研究会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 4 回勉強会の内容説明及び確認（各者より）</li> <li>・第 4 回勉強会の進め方</li> </ul>
平成 25 年 1 月 22 日	<b>第 7 回葛城ビジョン研究会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 5 回勉強会の資料確認（各者より）</li> <li>・第 5 回勉強会の進め方</li> <li>・ビジョンの全体フレームの確認</li> </ul>
平成 25 年 2 月 25 日	<b>第 8 回葛城ビジョン研究会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各ワークショップのまとめ</li> <li>・今後の進め方（W.S.及び H25 年度まち育て事業）</li> <li>・H24 年度のまとめ、総括</li> </ul>

### (3) 勉強会「みんなで始めるまち育て」

#### ①最初の勉強会

さて、いよいよ勉強会です。130名のモニターの方とは当然、面識がありません。どんな方がいらっしゃるんだろう？そもそも何人くらい来てくれるんだろうか？財団の担当部署はソワソワし出します。資料説明は何度か予行練習を行い、想定される質問等についても一応の準備はしました。

勉強会のタイトルは「みんなで始めるまち育て」。平成24年5月25日から翌25年2月8日までの間に計5回開催し、最後の5回目は、その後のグループ誕生に結びつくテーマ別ワークショップも行いました。

基本的に研究会で準備し勉強会に臨むということになりますが、直前会合と称して午前中に研究会、午後に勉強会という日程も何度か組みました。

第1回はつくば市役所の会議室をお借りして実施し、33の方が参加してくれました。つくば市の担当課長にご挨拶いただき、当財団理事長が住みよいまちづくりについての主旨説明、そして財団職員がアンケート結果の報告、まちづくり活動の事例紹介（越谷レイクタウンと地元葛城地区）を行いました。

予行練習の甲斐あってか比較的スムーズに進行しましたが、マイクを使わなかったため後ろの席まで声が届かなかったなど初歩的なミスもありました。よく言えば実践を通して会議運営の勉強をしているということでしょうか。

モニターの方からはいろいろな意見が出ました。市役所を会場として、行政マンもいる中では市に対する要望等もいくつかありましたが、これに対しては、そういう観点も必要ですが、それを主とした勉強会ではなく、ボランティアベースで、市民協働でまちづくりを進めていくための勉強会とする旨の説明をしました。

終了後には必ずその日の勉強会についてアンケートを取るようになっていますが、第1回については「興味深かった」が44%、「まあまあ」が47%という結果でした。

積極的な意見としては「いろいろ知っていくと素晴らしいまちになると思えた」、また、「まちづくりというよりコミュニケーションづくりであることが分かった」という鋭い指摘もありました。





## ②地域資源を持ち寄って、まち歩き

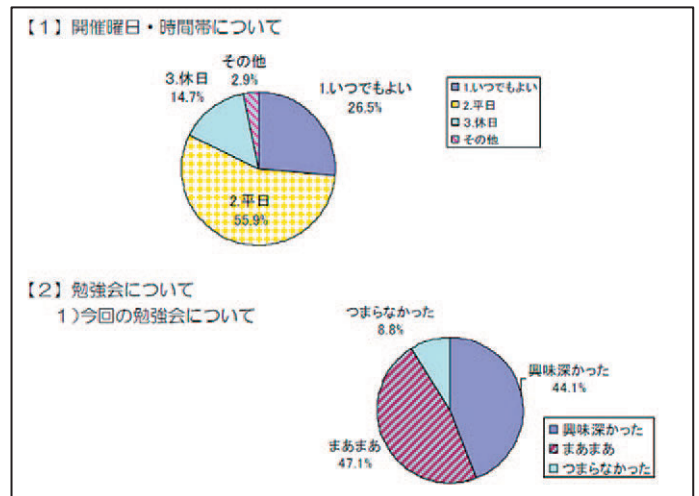
参加者は第1回の33名が最も多く、2回が15名に半減したものの、3回目からは25名前後に持ち直しました。

開催曜日の設定についても悩みました。第1回勉強会のアンケートでは、平日開催の希望者が過半数を占め、休日希望は15%しかいませんでした。しかし、第1回の開催曜日が平日であったため、その日に参加できた方にお聞きして平日希望が多くなるのは当然といえは当然です。

ポスティング及び回覧方式で住民の方対象に行った前述のアンケート調査での回答者属性では、男性では60歳代以上が34%で最も多く、30歳代、40歳代がそれぞれ22%で続きます。女性では30歳代が4割近くを占めています。

職業につきましては、会社員が4割でトップですが、無職とその他を合わせると46%にもなります。

これらを見て、また、会場の都合や各種準備等の都合を考慮し、総合的に判断して平日昼間の開催を基本にしていくことにしました。



第1回勉強会参加者アンケート結果(抜粋)

2回目以降の勉強会は、

- ・第2回 モニター持ち寄りの地域資源とまちづくりへの活用ワークショップ
- ・第3回 第2回の地域資源をもとにまち歩き
- ・第4回 地域資源情報の共有とビジョンづくりのワークショップ
- ・第5回 ビジョン(案)提案

テーマごとの目標、進め方などについてのワークショップ

という流れで進めていきました。特に第3回のまち歩きはURからマイクロバスを出してもらって現地を確認し、気づいた点、提案、感想などをチェックシートに記入していってもらおうということを実施しましたが、これが魅力的な取り組みだったのか、この回から出席率が回復してきています。

「地元にながらこんなところがあるなんて知らなかった」など新鮮な驚きがあり、まちづくりの導入部分としてまち歩きは重要であり効





果的なメニューであるということを実感しました。地元に住んでいるからこそ、自分たちのまちを再認識、再発見する行為は必要であり、参加者のそういう声を聞きながら、今後の展開に期待が持てる一日となりました。

さて、その地域資源ですが、このネタはモニターの方々の持ち寄りです。第1回勉強会で参加者に“宿題”を出し、第2回の前までに自分のおすすめポイント、気になっている場所、素敵なお店や名所旧跡などを出してもらうことにしました。80か所ほどのポイント



(重複回答含

む) が出され、それを一覽にまとめ、地図上にプロットし、第2回勉強会ではそれをモニターの方に解説してもらいながら、今後のまちづくりにどう生かしていくかなどを話し合いました。

自分の知っているおすすめポイントを説明する時、その説明者の表情はもちろん誇らしげです。

### ③ビジョンづくりは“恋歌づくり”

勉強会も回を重ねるうちにおなじみの顔ぶれがそろうようになりました。この方たちが、その後の活動グループの中心メンバーになっていきます。

第4回勉強会。ここからビジョンづくりの具体化に結びつけていきます。

地域資源のマップを見ながらまちづくりのポイントなどを話し、また、他地区でのまちづくり事例を示して、葛城地区でのビジョンづくりについて説明。その後はグループに分かれてのワークショップで、やってみたいことなどを話し合いました。ファシリテーターは研究会の方々が務めました。さすが専門家、楽しい雰囲気の中、参加者からどんどん意見を引き出していきます。この回の終了後アンケートでワークショップについては「とてもよかった」が85%。

参加者から出された、やってみたいプロジェクトは多岐に渡ります。散歩道づくり、歴史資産マップづくり、通りや公園に愛称をつける、桜まつりなどのお祭り、市民参加の花壇づくり、朝市、オープンカフェ……などなど。

「つくば恋歌」を作る、というのもありました。当の本人は、その後、本当に作詞までしてしまいました。後は曲をつけるだけです。(簡単に言いますが)

研究会座長もこの回の勉強会のしめくくりで、まちづくりビジョンとはまちの未来への恋歌を描き、唄うこととおっしゃっています。自分たちの住んでいるまちを愛し、育み、未来まで歌い継がれていくことを願って。

みんな始めるまち育て勉強会の経緯及び内容

(研究会)

<p>平成 24 年 5 月 25 日 13:30~15:00 参加者 33 名</p>	<p style="text-align: center;"><b>第 1 回 勉強会</b></p>	<p><b>葛城地区でのまちづくりについて</b> 【主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住みよいまちづくりについて</li> <li>・アンケート報告、事例紹介 (越谷レイクタウン、葛城地区の活動)</li> </ul>	<p>■ 研 5/25</p>
<p>平成 24 年 7 月 17 日 14:00~15:30 参加者 15 名</p>	<p style="text-align: center;"><b>第 2 回 勉強会</b></p>	<p><b>地域資源マップづくり</b> 【主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源マップを見ながらまちづくりへの提案等意見を出し合う。</li> <li>・ワークショップ形式(2グループ)</li> </ul>	<p>■ 研 6/28 ■ 研 7/17 ■ 研 8/22</p>
<p>平成 24 年 10 月 23 日 13:15~16:30 参加者 26 名</p>	<p style="text-align: center;"><b>第 3 回 勉強会</b></p>	<p><b>地域資源まちあるき</b> 【主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モニターから提案いただいた地域資源のうち 13ヶ所をポイントとし、バス・徒歩にて現地視察。</li> </ul>	<p>■ 研 9/24 ■ 研 10/30</p>
<p>平成 24 年 12 月 4 日 14:15~16:30 参加者 24 名</p>	<p style="text-align: center;"><b>第 4 回 勉強会</b></p>	<p><b>地域資源マップの共有</b> 【主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 3 回勉強会までに得られた地域資源情報、それらに対する意見や提案等を整理した地域資源マップを見ながら、まちづくりビジョンづくりについて説明。</li> <li>・やってみたい活動やプロジェクト等について話し合い。</li> <li>・ワークショップ形式(4グループ)</li> </ul>	<p>■ 研 11/19</p>
<p>平成 25 年 2 月 8 日 14:30~16:30 参加者 25 名</p>	<p style="text-align: center;"><b>第 5 回 勉強会</b></p>	<p><b>葛城まちづくりビジョン提案・ テーマ別ワークショップ</b> 【主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりビジョン(案)の説明。</li> <li>・第 4 回勉強会後にモニターに対して実施した、興味のあるテーマについてのアンケートに基づき、みどり、タウンセンター、歴史・文化の 3 グループに分け、ワークショップ形式にて話し合い。</li> <li>・それぞれのテーマにおける具体的なシンボルプロジェクトについて意見交換、課題確認等。</li> </ul>	<p>■ 研 1/22 ■ 研 2/25</p>
<p>平成 25 年 3 月 (郵送)</p>	<p style="text-align: center;">勉強会終了のお知らせ・今後のワークショップについての案内通知</p>		

#### (4) 「グリーンネックレス構想」

ここまで4回の勉強会をしっかりと踏まえ、研究会では最終の勉強会にまちづくりビジョンを提案しました。

研究会が参考にしたのは、住みよいまちづくり国際賞「リブコム (the International Awards for Liveable Communities)」。景観、歴史・文化、持続可能なコミュニティなど6つの評価項目において、世界各地のまちづくりを評価する、UNEP（国連環境計画）が承認する国際表彰制度です。この評価基準をもとにまちづくりの目標を設定するなどしています。

##### ①葛城まちづくりビジョンの構成

名称は、グリーンネックレス構想。葛城地区及びその周辺の地域資源を結ぶと緑のリングのようになるため、そこから、ビジョンが目指す姿として名づけました。

・コアビジョン・まちづくりの目標・目標達成のための計画・目標達成の仕組みからなります。

ビジョンだけだと絵空事になりがちですので、目標をきちんと立て、それを実現するための計画を作り、組織や資金といった下部構造も示そうということで、上記のような4つの構成になりました。

##### 「コアビジョンについて」

ビジョンという言葉はいろいろな意味で使われていますが、ここではリブコムの理念を準用し次のようにまとめました。「葛城地区の優れた地域資源を評価・維持向上させ、新旧の文化・余暇活動・健康的なライフスタイルなどが持続的に享受できるコミュニティづくりを目指します」

平たく言えば、地域資源を生かし子子孫孫まで気長に住みよいまちづくり・地域社会づくりをしようということになります。

##### 「まちづくりの目標について」

まちづくりの基準として、国際的に評価されてきているリブコムの6つの基準に準じ、本地域の特性を生かしたまちづくり目標を以下のようにわかりやすく設定しました。

- 1 市民協働のまちづくり
- 2 健康的なライフスタイルの実現
- 3 環境配慮への取り組み
- 4 歴史文化資源の評価、活用
- 5 景観の向上
- 6 まちづくりビジョンの共有化

## 「目標を達成するための計画について」

まちづくりは広範囲に渡りますのでそれを整理するためにまず、葛城3原則を作りました。

市民協働が基本ですから何でもできるわけではありませんので、第一原則として「できることから始めよう」とハードルを下げました。さりとて現実に重要なテーマがあり、活動団体としての体力に応じてやれることはやっぴいこうということで、第二原則として「新たなテーマを発掘しよう」と将来につなげました。第三原則は「まちづくりビジョンを共有しよう」としました。これは個々のまちづくり活動がややもすると視野狭窄に陥ったり、マンネリ化したりしがちですので、多くの人に常に先を見据え広い視野を持ってほしいという趣旨で設けました。

勉強会でこうした議論を通じ3つのテーマ「みどり維持活用」「タウンセンターの活性化」「歴史文化・地域資源の発掘評価」がにじみ出てきました。そしてテーマごとに目標、シンボルプロジェクト、実現シナリオを掲げより実現性の高い計画を作りました。

シンボルプロジェクトについては、各目標を達成するために象徴的で、取り組みやすいプロジェクトを選定し、とにかくまちづくりの実感をつかんでもらうことが狙いです。また、実現シナリオはプロジェクトの実現のための方法論と将来に向けて筋道を簡単に示しました。

## 「目標達成の仕組みについて」

市民協働によるまちづくりを基本とし、それを支援するための仕組みを検討することとしました。

### 1 市民活動団体の誕生を促します

テーマごとのワークショップを通じて活動団体の誕生を促します。

### 2 活動団体の自立を支援します

専門家による活動支援等を行い、活動団体の自立を促します。

### 3 NPO、活動団体代表、地域企業、研究会メンバー等趣旨に賛同する者からなるまちづくりプラットフォームを設置し、次のことを実施（当面の事務局：当財団）一団体間交流、シンボルプロジェクトの促進・支援、新たなテーマの発掘、まちづくりのPR

### 4 資金等

当財団の公益目的支出、つくば市のまちづくり関連資金、寄付金などを組み合わせて活用していくこととしました。

## ②中間支援機能

こうした仕組みを動かすには、いわゆる中間支援組織が必要となりますが、ここで少し私たちが考えている中間支援組織について整理しておきます。

一般的に中間支援組織の役割は、「地域の NPO など活動団体の育成」「地域社会でのネットワークづくり」「NPO 等活動の一般社会への啓発」が主たるものと言われております。

最近ではこれらに加え「行政との協働や市民参加の促進」「団体間の交流促進」「企業の社会貢献活動の促進支援」に重きが置かれるようになっているようです。行政側が市民協働を推進しだしていること、企業の CSR（企業の社会的責任）意識が高まっていることなどの傾向を反映しているものと考えられます。

こうした社会一般の動きに照らし合わせてみると、私たちが葛城まちづくりビジョンに掲げる「目標を達成するための仕組み」と概ね照応しているようです。したがってこの仕組みを動かすことが中間支援組織の機能と言えると思います。

# 葛城まちづくりビジョン 「グリーンネックレス構想」

「葛城地区の優れた地域資源を評価・維持向上させ、新旧の文化・余暇活動・健康なライフスタイルなどが持続的に享受できるコミュニティづくりを目指す」

関東を代表する平地林などの自然環境と都市的な環境が融合する葛城地区において、人々が生き生きと暮らせるまちづくりを、持続的に進めるために「葛城まちづくりビジョン～グリーンネックレス構想～」を提案する。

提案は【1】葛城まちづくりの目標、【2】目標を達成するための計画、【3】目標を達成するための仕組み、からなる。

## 1 葛城まちづくりの目標

まちづくりの基準として、国際的に評価されてきているリブコム<sup>※1</sup>の6つの基準に準じ、本地域の特性を生かしたまちづくり目標をわかりやすく設定

### (1) 市民協働のまちづくり

つくば市、地域の団体と協働して、まちづくりを進めよう。

自分のまちは自分で作ることで、持続可能なまちづくりが可能となり、わがまち意識が高まる。

### (2) 健康なライフスタイルの実現

健康なライフスタイルが実現できるよう、まちの設えと仕組みを工夫しよう。

住民交流が盛んになり、誰もが健康に暮らせるまちとなる。

### (3) 環境配慮への取組み

社会・文化・経済・環境の各分野で、持続可能になるような取り組みをしよう。

地球規模での環境改善を意識し、地域でできることから取り組むことにより、人々の誇りとなる。

### (4) 歴史文化資産の評価、活用

地域の歴史文化資産について学び、評価し、まちづくりに活かそう。

歴史文化資産は地域のアイデンティティを高め、それを学ぶことにより人々の誇りとなり、また、地域への愛着が増す。

### (5) 景観の向上

葛城地区の地域資源を活用し、景観を良くしていこう。

景観の向上により人が集まり、さまざまな活動が生じ、市民の誇りが生まれる。そのことにより地域の質が上がる。

### (6) まちづくりビジョンの共有化

みんなでつくったまちづくりビジョンを共有しよう

ビジョンを共有し、一つ一つ計画を実現することにより、持続的なまちづくりが可能となる。



## 2 目標を達成するための計画

### 「葛城三原則」

葛城地区の豊富で優れた緑環境の維持向上を基本に、街の将来像を描きながら、テーマごとに着実に持続可能なまちづくりを進める。

- ① できることから始めよう
- ② 新たなテーマを発掘しよう
- ③ まちづくりビジョンを共有しよう

### 「テーマ別計画」<sup>※2</sup>

#### (1) みどりの計画

##### ① 目標

葛城地区及び周辺の里山のみどり資源「花」「森」「農」を市民協働で育み、緑の基軸（グリーンネックレス）となる自然環境とコミュニティづくりを進める。

##### ② シンボルプロジェクト

葛城地区の現在、あるいは将来を象徴する、みどりを生かしたプロジェクトを進める。  
(例示)

- ・市民緑地における市民協働による環境整備・維持管理
- ・千本桜プロジェクトとの連携など

##### ③ 実現シナリオ

ワークショップ、市民講座などを通して担い手を育成し、プロジェクトを地区全体に展開する。

#### (2) タウンセンター活性化計画

##### ① 目標

葛城地区の玄関口であり、また街の顔でもあるセンター地区において、明るく楽しく、人々が留まり、交流する、にぎわい感ある界隈づくりを進める。

##### ② シンボルプロジェクト

駅前広場周辺の歩行空間などグリーンネックレスを活用し、四季を感じるまちを演出するとともに、にぎわいづくりのためのプロジェクトを進める。

(例示)

- ・オープンカフェ・マルシェなど
- ・七夕・イルミネーションなど
- ・駅前広場・通りなどの景観向上

##### ③ 実現シナリオ

研究学園駅センター地区協議会と連携し、実証実験などを通じ、点から面に展開しながら界隈性を作り出す。

### (3) 歴史文化・地域資源を生かす計画

#### ①目標

地域の歴史文化資産を含む地域資源を学び評価し、新たな文化も薫るまちづくりを進めるとともに、市民の交流を図り、時を重ねてきた地域への理解を深め愛着を育む

#### ②シンボルプロジェクト

有識者等とも連携し、歴史文化資産を含む地域資源を整理し、まちづくり全般に活かす。

(例示)

- ・地域資源マップの作成
- ・案内板などを設置し散歩コースなどを設定

#### ③実現シナリオ

地域の歴史文化等について学ぶための場づくりなどを促し、地域交流を進め、歴史文化等を生かす計画を提案する。

## 3 目標を達成するための仕組み

市民協働によるまちづくりを基本とし、それを支援促進するための仕組みを検討 <sup>※3</sup>

### (1) 市民活動団体の誕生を促す

テーマごとにワークショップなどを通して活動団体の誕生を促す。

### (2) 活動団体の自立を支援する

専門家による活動支援等を行い、活動団体の自立を促す。

### (3) NPO、活動団体代表、地域企業、研究会メンバー等趣旨に賛同する者からなるまちづくりプラットフォームを設置し、以下のことを実施。

(事務局:一般財団法人 つくば都市交通センター／ オブザーバー:つくば市)

- ① 団体間交流
- ② シンボルプロジェクトの促進・支援
- ③ 新たなテーマの発掘
- ④ まちづくりのPR

### (4) 資金等

つくば都市交通センターの公益目的支出、つくば市のまちづくり関連資金および支援、地域の寄付金などの組み合わせ

※1 リブコムとは、「The International Awards for Liveable Communities」の略称で、質の高い環境・景観の保全・創造による住みよいまちづくりの国際賞。世界の地方自治体が模範的な住みよきコミュニティづくりの成果を競い、優秀な成果をあげた自治体やプロジェクトを表彰する世界で唯一の国際コンペで、その活動はUNEP（国連環境計画）が認証する最高位のランクに位置づけられている。

※2 目標を達成し、ビジョンを実現するために、3つのテーマ以外に「少子高齢化」「環境・景観」等と重要なものがあるが、今後、まちづくりの仕組み作りとあわせて取り上げていく予定である。

※3 平成25～27年度までの3か年を限度に実施し、その間に地域団体へ移譲することとするが、その後の支援方法も検討する。



# 葛城まちづくりビジョン ~グリーンネックレス構想~

葛城地区の優れた地域資源を評価・維持向上させ、新旧の文化・余暇活動・健康的なライフスタイルなどが持続的に享受できるコミュニティづくりを目指します。

## 1 葛城のまちづくりの目標

葛城の地域特性を活かした“健康で楽しい暮らし”を実現させるため、住みよいまちづくり国際賞(リブコム・アワード)\*の評価基準をもとに6つの目標を設定しました。

- (1) 市民協働のまちづくり
- (2) 健康的なライフスタイルの実現
- (3) 環境配慮への取り組み
- (4) 歴史文化資源の評価、活用
- (5) 景観の向上
- (6) まちづくりビジョンの共有化

## 2 目標を達成するための計画

かつらぎ 葛城三原則 さんげんそく

- ① できることから始めよう
- ② 新たなテーマを発掘しよう
- ③ まちづくりビジョンを共有しよう

## テーマ別計画

市民の皆さんと共に今後具体的に取り組むテーマとして、3つの視点から先行的にまちづくりを進めていきます。

## 1 みどりの計画

### 目標

葛城地区及び周辺の里山のみどりの資源「花」「森」「農」を市民協働で育み、緑の基軸(グリーンネックレス)となる自然環境とコミュニティづくりを進める。

### シンボルプロジェクト

(活動の例示)

- ★ 雑木林の保全活用  
…イース東側の雑木林(市民緑地)における市民協働による保全活用
- ★ 千本桜プロジェクトとの連携 など

## 2 タウンセンターの活性化計画

### 目標

葛城地区の玄関口であり、また街の顔でもあるタウンセンター地区において、明るく楽しく、人々が留まり、交流する、にぎわい感ある界隈づくりを進める。

### シンボルプロジェクト

(活動の例示)

- ★ タウンセンター地区において先行して取り組む内容の検討
- 駅前広場・通りの環境向上  
・花による美しい街並みづくり活動
- イルミネーションイベントの強化、新たな連携
- 公共空間の活かし方  
・駅前オープンカフェ  
・駅前マルシェ など

## 3 歴史・文化、地域資源を生かす計画

### 目標

地域の歴史文化資産を含む地域資源を学び評価し、新たな文化も薫るまちづくりを進めるとともに、市民の交流を図り、時を重ねてきた地域への理解を深め、愛着を育む。

### シンボルプロジェクト

(活動の例示)

- ★ 地域資源マップの作成  
…葛城の地域資産(歴史、新しい文化等)を発見し、学び、守り、伝え、創る活動としてのわがまちの“自慢マップ”づくりなど



\*リブコム・アワード(The LivCom Awards)は、「景観」「歴史・文化」「環境配慮」「持続可能なコミュニティ」「健康的なライフスタイル」「戦略的な将来計画」の6つの評価項目において住みよいまちづくりを評価します。





# 葛城地区のまちづくり



写真はモニター勉強会の様子

**グリーンネックレス**とは…  
葛城地区及びその周辺の主な地域資源を結びと緑のリングのようになっていることから、ビジョンが目指す姿を「グリーンネックレス」としました。

葛城地区は、関東を代表する平地林などの自然環境と都市的な環境とが融合する優れた地域資源を有しています。これらの優れた環境を維持向上させ、地域の人々が生き生きと暮らせるまちづくりを持続的に進めるため、このたび葛城まちづくりビジョン研究会\*において、「葛城まちづくりビジョン～グリーンネックレス構想～」を作成いたしました。

\*葛城まちづくりビジョン研究会

UR都市機構、アドバイザー、コンサルタント等により構成。事務局は(一財)つくば都市交通センター、オブザーバーとしてつくば市が参加。

## まちづくりビジョンを作成しました

### 3 まちづくりの目標を達成するために

市民協働によるまちづくりを基本とし、それらを支援・促進するための仕組みを検討していきます。\*

- ① 市民活動団体の誕生を促します。
- ② 活動団体の自律を支援します。
- ③ NPO、活動団体代表、地域企業、まちづくりビジョン研究会メンバーなど、趣旨に賛同する者からなる「(仮)まちづくりプラットフォーム」(事務局：(一財)つくば都市交通センター)を設置します。

以下のような取り組みの実施を予定しています。

- ① 団体間交流
- ② シンボルプロジェクトの促進・支援
- ③ 新たなテーマの発掘
- ④ まちづくりのPR

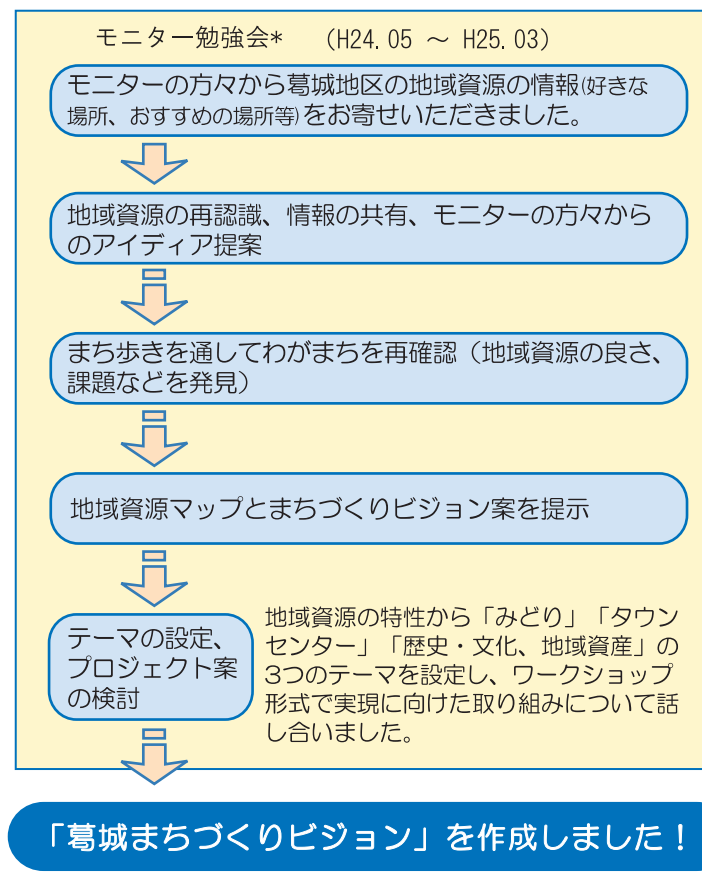
- ④ 活動資金等については以下のものを活用します。  
(一財)つくば都市交通センターの公益目的支出、市のまちづくり関連資金及び支援、地域の寄付金などを組み合わせて活用します。



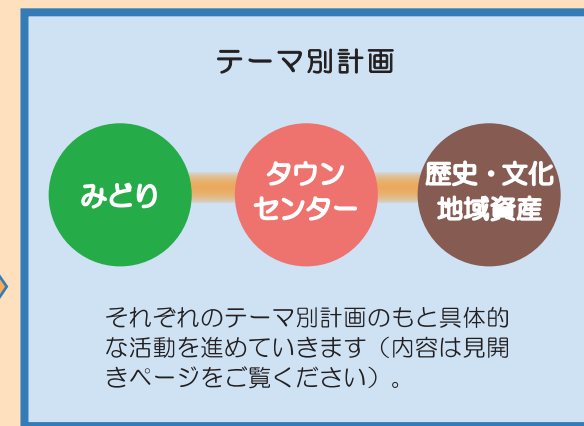
\* 平成25～27年度までの3ヶ年を限度に実施し、その間に地域団体へ移譲することとするが、その後の支援方法も検討する。

### 葛城まちづくりビジョンの作成と今後のまちづくりの進め方

市民の皆さんと実際に現地を歩いたり、意見交換を通して出されたご意見・ご提案を反映させながら作成しました。



- Q1 具体的な取り組み(プロジェクト)は今後どのように進められていくのですか?**
- 市民の皆さんが親しみを持って参加できることや、実現に向けた可能性などを踏まえ、先行的な取り組みを設定しました。今後は、各テーマでの活動の促進、既存活動との連携、活動の企画など、段階的かつ連携して協働のまちづくりを進めていきます。
- Q2 今後、地域活動に参加することはできますか?**
- 各テーマでワークショップなどが随時行われています。ご興味のある方は下記の連絡先までお気軽にお問い合わせください。



\*モニター勉強会  
「まち育てアンケート調査(平成24年2月実施)において地域活動のワークショップ等への参加意向のあった市民の方を対象。「みんなで始めるまち育て」勉強会を5回開催。

発行 一般財団法人 つくば都市交通センター 企画業務部 まち育て事業チーム / 葛城まちづくりビジョン研究会

詳しい資料、葛城のまちづくりについてのお問い合わせは、右記まで  
電話 029-861-0500 FAX 029-856-0311 メール machisodate@tutc.or.jp



### 3 3つの活動グループが誕生（平成 25 年度前半）

#### (1) ビジョンのテーマ別にグループ分け

前年度に実施した勉強会の最終日（平成 25 年 2 月 8 日）は、まちづくりビジョンの提案とともに、テーマ別のワークショップも開催しました。みどり系、センター系、歴史文化・地域資源系の 3 つです。モニター銘々の希望に沿ってグループ分けを行い、シンボルプロジェクトなどについて話し合いました。

そもそも活動グループが誕生した時期はいつになるか。テーマ別でグループに分かれた日、グループが個別に会合を持った最初の日、メンバーが名簿に登録した日、規約を作った日…ざっくり言いまして平成 24 年度末から平成 25 年度前半にかけて、ということになります。

振り返りますと、こうした活動団体の組成というものはそう簡単にできるわけではありません。勉強会を通して、各人がお互いになじんできたことが大きく効いたように感じます。いろいろな議論、会話、まち歩きなどを重ね各人の考え方、人となりを理解しあい、これならやっていけるなという呼吸が合ってきたタイミングを見計らってグループ化を提案していきました。

#### (2) グループごとにワークショップ

グループのメンバーは、それぞれがやりたいことをいろいろと持っています。一部メンバーからは「早く動こう」という声も聞こえてきます。

それをまとめて、絞り込んで、優先順位をつけて、具体的にどう進めるか、役割分担は…いやいや、ここはあせらず、じっくりと。葛城三原則の第一原則は「できることから始めよう」です。手綱を引いて、走り出すのをおさえて、合意形成を図っていくよう努めました。

また、具体の提案をされた方から反映されていないと不服の意見も。あらためて説明していただいたのですが、素晴らしい提案ながらすぐに取り組むのはむずかしいと他の方は感じたようでした。

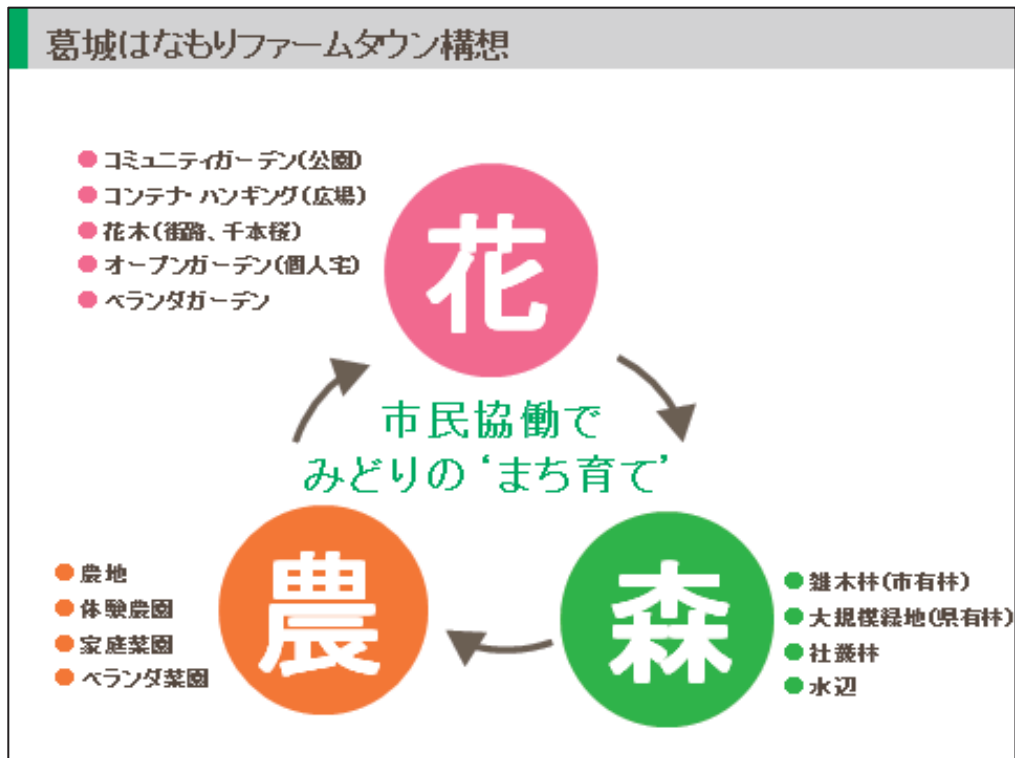
平成 25 年度の研究会はワークショップの対応が中心となりました。みどり系は NPO birth、センター系は櫛計画工房、歴史文化・地域資源系は当財団です。

## ①みどり系

話し合いの中から出てきたのが「葛城はなもりファームタウン構想」。花・森・農を育む市民協働のみどりのまち育てという構想です。

- ・花一当面の活動エリアは駅前のタウンセンターとし、地権者、公共機関などの了解が取り付けられた場所に花などを植える活動を行う。また花苗の調達は公共機関の制度の活用することなどを検討する
- ・農一近郊に農地が広がっていることから、地権者から了解が得られる畑を探し、子供、若者、老人等がふれあえる場所として活用できるような環境を構築することの検討を行う
- ・森一近隣に自然豊かな森があることから、憩いの場所となるようなお手伝いがグループとして行えないか、その可能性について検討していく

ということを決め、その上で、まずは小さい花壇づくりから始めていくこととし、同時にガーデニングのことを学ぶ機会をつくろうということになりました。



## みどり系グループワークショップ等の開催経緯

### ●みどり系の構想についてのワークショップ

ワークショップ	日時 参加人数	内容
みどりいっぱいのもちづくり「花」「森」「農」を育もう！	平成 25 年 9 月 7 日 (土) 14:00～16:30 6 名	1. 自己紹介 2. もちづくりビジョンについてとこれまでの振り返り、他グループの活動状況報告 3. みどり系の構想について
<p>目的：これからグループで取り組んでいく方向性をメンバーで共有                      成果：葛城はなもりファームタウン構想という大きな方向性をメンバーで共有し、「花」、「森」、「農」それぞれの観点で今後具体化していきたいことなどを意見交換。まずタウンセンター地区での花壇づくり等からスタートさせることを確認した</p>		

### ●民有地を利用した花壇づくり活動に向けた実践型ワークショップ

ワークショップ	日時 参加人数	内容
花壇づくり	<b>第 1 回</b> 平成 25 年 10 月 4 日 (金) 10:00～12:30 8 名	花壇デザインを考えよう 1. 自己紹介 2. 花壇の現状についての意見出し 3. 花壇デザイン案について意見交換
	<b>第 2 回</b> 平成 25 年 10 月 18 日 (金) 10:00～15:00 9 名	花壇に花を植えよう 1. 花植え手順の確認、指導、作業開始 2. 今後のお手入れ等について
<p>目的：民有地での（ポンパドウル）花壇づくり WS                      成果：地権者の了承を得て、花植え活動を開始                      維持管理についてもグループの体制を整えて対応していくことを確認した</p>		

●組織強化、活動計画作成等ワークショップ

ワークショップ 活動計画、規約 づくり等	日 時 参加人数	内 容
	平成 25 年 11 月 24 日(日) 9:30~12:00 6 名	1. みどり系グループの活動計画等について 2. 活動方針 3. 今後の予定
	<b>タウンとの合同WS</b> 平成 25 年 11 月 25 日(月) 9:30~11:45 10 名	1. 花壇づくりの振り返り 2. タウンセンターのみどり活動をどのよ うに進めていくか 3. 花壇に名前をつけよう！
	平成 26 年 2 月 8 日(土) 10:00~12:00 7 名	1. 今までの取組み状況報告 (アダプト・ア・ロードへの登録、 ウエルカムフラワーcityつくばへの花 苗申請など) 2. グリーンの会規約について 3. 平成 26 年度グリーン活動計画 (花植え、水やり等)
<p>目的：平成 25 年度の振り返りと平成 26 年度活動計画作成                      成果：次年度活動計画及び規約を作成し、グリーンの会として動き出した</p>		

●公共花壇等の整備に向けたガーデニング講座ワークショップ

ワークショップ 公共花壇等整備	日 時 参加人数	内 容
	平成 26 年 3 月 9 日(日) 9:00~11:00	ガーデニングミニ講座 1. 公共花壇についての基礎知識 2. 公共花壇事例紹介
<p>目的：公共花壇や街路樹柵への花植えについての基礎知識を学ぶ                      成果：市役所との調整を行い、助成制度なども勉強して公共花壇や街路樹柵での花植え                      を実施、維持管理活動を開始した</p>		

## ②センター系

駅周辺街区をより魅力的で活気あるエリアとするために、賑わいづくり、界限づくりが可能な場所や地域資源を詳細に現地調査していく必要があります。

現状把握をした上で取り組んでいくものとして、・駅前空間などを活用したオープンカフェの検討・環境美化・イルミネーションの魅力向上・新たなイベントや活動の創出などの案が出されました。

それぞれの事業は、先行して活動している団体等との調整や連携可能性、公共機関との調整、地権者との調整、活動組織づくり、資金調達等の課題をクリアする必要があります。そのため、これら個々のプロジェクトを整理して、ビジョンに基づくタウンセンターのまちづくり構想として、ある程度時間をかけて作成していくことにしました。

その上で、できることから具体の活動をしていくことでメンバーの意見が一致し、賑わいづくり・交流づくりのイベント企画、タウンセンターの地域資源マップ作成を活動の柱とすることにしました。

### タウンセンター系グループのワークショップ等の開催経緯

#### ●タウンセンターのまちづくり構想作成のためのワークショップ

タイトル	日時、参加人数	内容
第1回 ワークショップ	平成25年4月22日(月) 14:30~16:45  10名	1. 趣旨説明、進め方について 2. 自己紹介 3. これまでの意見・提案の整理 4. 提案事項に対する現状と課題のチェック 5. 意見交換・ワークショップ
第2回 ワークショップ	平成25年6月7日(金) 14:30~16:30 11名	1. まち歩きオリエンテーション 2. まち歩きワークショップ 3. 意見交換・ワークショップ
第3回 ワークショップ	平成25年8月7日(水) 14:00~16:30  7名	1. 今後の進め方、連絡係について 2. タウンセンターまちづくり構想作成について 3. 意見交換・ワークショップ 4. 今後の活動方針
樹木調査	平成25年9月20日(金) 9:30~11:30  5名	1. 樹木調査(街路樹の樹種、生育状況等) 2. 生育状況が良くない樹木や場所(枯木等)に対する改善策 3. 道路・沿道空間の景観向上、街路樹・植栽帯、緑化スペースの管理への助言
目的：グループとしてこれから取り組んでいく活動について意見交換 成果：まち歩きや樹木調査を実施し、まちの現状と課題を再確認		

●イベントの開催と振り返りワークショップ

タイトル	日時、参加人数	内容
第4回 ワークショップ	平成25年10月2日(水) 14:00~16:00  9名	1. タウンセンター活性化の今後の見取り、 前回のおさらい等 2. まちづくり構想ータウンセンター活性化 計画(案)ーの概要について 3. メンバーより活動報告(地域資源マップ 作成、イベント準備・進行等について)
イベント第1弾 「パンとワイン と音楽と」	平成25年10月22日(火) 16:00~18:00 参加者計62名	タウンセンター地区内のポンパドウルとの 共催(会場スペース提供、パンの準備)、筑 波ハムの協力のもと、つくばの食と音楽のミ ニコンサートを楽しむ交流イベントを開催
第5回 ワークショップ (グリーンとの 合同WS)	平成25年11月25日(月) 9:30~11:45  10名	1. ポンパドウルイベント「パンとワインと 音楽と」を振り返って 2. グリーンとタウンとの連携した活動につ いて 3. グループの今後の方針
第6回 ワークショップ	平成26年1月24日(金) 14:00~	1. 合同連絡会の振り返り及びこれからの活 動方針など 2. 年間計画について 3. イベント案の検討
第7回 ワークショップ	平成26年2月13日(木) 11:30~	1. 4月イベント「パンとワインと音楽と」 の開催概要について 2. 開催に向けたスケジュールについて
<p>目的:最初の取り組みとして、交流づくり、賑わいづくりイベントを開催することに し、その成功に向けて準備</p> <p>成果:店舗等の理解と協力を得て第1弾イベント「パンとワインと音楽と」を開催 これを継続し、定着させていくために、次回開催に向けての準備にも取りか かった</p> <p>グループとしての体制づくりについては、メンバー拡充を含め、今後の課題</p>		



### ③歴史文化・地域資源系

葛城地区のいいところをみんなに紹介したい。「TVの地域情報番組に取り上げられるような地区にしたい」

これまでの勉強会のネタだけでなく、さらに新たに地域資源を発掘して、それらを自信を持って紹介する。そう“自慢”マップをつくろうということになりました。

このように、このグループは最初のプロジェクトの絞り込みが比較的すんなりと運び、マップづくりの具体化に向けて動き出しました。

- ・現地調査や聞き取り調査を行う
- ・100件洗い出しして、「自慢できる場所20件」と「ベストビューポイント10件」に絞り込む
- ・地図への掲載箇所については持ち主や責任者へ個別訪問を行い、承認を得る
- ・おすすめの散策コースを設定し、テスト歩行する

ということなどを進めていくことになりました。

### 歴史文化・地域資源系グループのワークショップ等の開催経緯

#### ●自慢マップ作成に向けたワークショップ

タイトル	日 時 参加人数	内 容
第1回 ワークショップ	平成25年 3月27日(水) 13:30~15:30  11名	1.グループ化について 2.マップのイメージについて 3.その他
第2回 ワークショップ	平成25年 5月22日(水) 13:30~15:30  11名	1.探検隊の報告 2.マップの事例紹介 3.自慢マップ作成のための検討資料提示 (ア)歴史文化・地域資源、おすすめビューポイント等の整理、散歩コースの設定 4.つくば市地域まちづくり団体へのグループ登録
第3回 ワークショップ	平成25年 7月8日(月) 9:30~12:00  10名	1.活動団体登録完了報告 2.自慢マップの第1次案の提示と説明 3.小冊子の編集

第4回 ワークショップ	平成25年9月9日(月) 9:30~12:00  7名	1.葛城地区のまちづくりパンフレット 配布、補足説明 2.グループの愛称、名刺等について 3.自慢マップの第2次案の提示と説明 4.散策コースマップについて 5.印刷部数、配布方法、費用等 6.小冊子の進捗について 7.これからのスケジュール 8.活動テーマの選定
第5回 ワークショップ	平成25年10月28日(月) 9:00~12:00  10名	1.市役所にてまちづくり推進団体への まちづくり支援についてのガイダンス 2.散策ルートテスト歩行
第6回 ワークショップ	平成26年2月7日(金) 10:30~12:00  6名	1.研究学園自慢マップの進捗確認作業 2.散策マップコース決定 3.印刷に向けたスケジュール確認等
第7回 ワークショップ	平成26年3月6日(木) 10:30~12:00  5名	1.研究学園自慢マップ最終校正作業 2.配布作業に向けた役割分担等確認
<p>目的：シンボルプロジェクト（自慢マップづくり）の推進とともに、 グループとしての体制固めを行う</p> <p>成果：自慢マップと散策ルートマップを作成し、地域に配布 作成にあたっては、つくば市のアイラブつくば制度に申請し、補助金を受けた つくば市地域まちづくり団体へのグループ登録を行った</p>		

## 4 活動が本格化（平成 25 年度後半から）

### (1) 各グループの体制固めと全体の会の創設

グループ名については二転三転しましたが、最終的に以下のように決まりました。

- ・みどり系—「グリーンの会」
- ・センター系—「タウンの会」
- ・歴史文化・地域資源系—「カルチャーの会」

そして、それぞれの名称の前に「研究学園グリーンネックレス」を冠することになりました。まちづくりビジョン グリーンネックレス構想を実現するために活動する団体である、ということを確認にしたということになります。

各会は規約を作り、代表、会計等を置き、会費を徴収することになりました。会費はボランティア保険加入費等にあてることにしています。

また、各会が全体でまとまって行う必要のある活動（まちづくりセミナーの開催や比較的大がかりなプロジェクト、資金の確保など）や共通する課題の解決などに対処するため横断的な組織的機能づくりにも取りかかり「研究学園グリーンネックレスの会」を設けました。この件については後述します。

### (2) グリーンの会の活動状況

各会のメンバーは 10 名程度で、メンバー拡充が大きな課題になっています。その中でもグリーンの会は花壇管理など日々継続していく活動が主となっていることなどからメンバーが参加しやすく、勉強会当時のモニターがメンバーに移行している他に、まちづくりセミナー（後述）などをきっかけにして新規加入者も増えている状況です。平成 27 年 1 月時点でグリーンの会メンバーは 20 名に達しました。お花が大好きな小学生の男の子が、お母さんをお願いして入会してきたというケースもあります。

会をリードしているのは、駅前のマンションに住む二組のご夫婦。目の前に、会が管理している花壇や街路樹柵がありますので、すぐに行けます。別の言い方をすれば、気になるところがあったら、すぐに行かなければなりません。

駅前周辺の花壇の水やり、草取りなど活動が外から見やすい分、体力的に大変なところもあり、さらに多くの仲間集めに苦心しています。

## ①民有地の花壇管理

オーナーの了解を得て、まち歩きで注目していた素敵なパン屋さんの駐車場の一角にミニガーデンをつくることから取り組みました。(オーナーはモニター当時からずっと参加していただいている方で、後に全体会の代表に選ばれています)

花壇づくりといっても好き勝手に植えてはもともとのおしゃれな空間が台無しになってしまいます。そこで、当財団は研究会メンバーのNPO birth、NPO GreenWorksに依頼して、3回のガーデニング講座を開き、座学と実践で小粋な花壇ができあがりました。お店との関連性も考慮し、コンセプトはフランス風ガーデンというものです。



また、駅前のホテル周辺の花壇づくりにも協力しました。(こちらの経営者もモニター当時から参加していただいている方で、現在は全体会のアドバイザーに就任しています)

民有地における花苗代等の直接経費は、オーナーとの話し合いで、オーナー側に負担していただき、グリーンの会はデザイン企画から植え付け、管理までを財団が支援し、継続して実施しています。



植えつけ前



植えつけ直後



植え付けから半年後



## ②駅前の街路樹柵の管理

街路樹についてもまち歩き等で気になったものの一つです。元気のない街路樹、足下は除草しても雑草が生えてしまいます。

グリーンの会はそのうち 10 柵を、つくば市のアダプト制度に申請し管理していくことにしました。新しい樹木に植替えするのは資金的にも困難ですが、除草して、柵の中を花苗できれいにしていきました。

花苗は、つくば市の制度を活用して現物支給のほか補助金の申請で対応しています。

その後はメンバーが自ら花苗の栽培にも着手するようになり、最近ではハンドメイドのプランターまで完成させました。このプランターは木材を組んでバーナーで焦がしを入れたものでなかなか好評のようです。



## ③お揃いのユニフォーム



グリーンの会は日々の活動で駅前を動くことが多いので、活動を知ってもらうには絶好のチャンスです。そこでメンバーは、目立ってアピールしようとユニフォームを揃えることにしました。

ものは運動部が練習試合などでチームの区別をつけるために着用するビブス。軽くて、どんな服の上からでも着用できて、統一感もとれて、なかなかのアイデアものです。しかも安くて…。



### **(3) タウンの会の活動状況**

#### **①タウンセンターまち歩き**

勉強会で好評を博したまち歩き。今回は、駅前周辺をじっくりと徒歩で観察し、あらためて良さと可能性と課題を発見しました。

この日は昼間だけでなく夜の駅前の状況も確認しようと、通りが見えるホテル1Fのイタリアンレストランを予約。メンバーと研究会合計20名弱で懇親を兼ねた状況観察会を開催しました。時期は6月初旬で天候もまずまず、1時間弱の歩行の後の飲食は最高でしたが、あくまでも状況観察会です。(念のため)

#### **②樹木調査**

タウンセンターまち歩きで気になった点の一つが街路樹等の状況。そこでメンバーが知り合いの樹木医の協力を取り付け、一緒に歩いてもらいながらアドバイスをいただきました。

街路樹の状況は水不足などにより枯木も数本あり、足下の柵は雑草が生い茂っています。こういったことを通して、前述のようにグリーンの会が街路樹柵のアダプト管理など活動に結びつけていくこととなります。

#### **③季節ごとの賑わいづくり**

前述の①、②はタウンセンターまちづくり構想作成のために、ということが主目的ですが、具体の賑わいづくり、交流づくりイベントも実現させていきました。

場所は、まち歩きで注目していたパン屋さん和駅前ホテルの境界。現状でも素敵な空間であり、ここから葛城の良さを地域内外に発信しようと、音楽を主にしたイベントを企画しました。

## 「パンとワインと音楽と」

パン屋さんの駐車場で平成 25 年 10 月 22 日に開いたイベント。おいしいパンを食べながら、地元で主に活動する音楽家（フルート奏者とジャズピアニスト）の演奏を、秋の夕べに楽しんでもらおうと企画しました。さらに優雅なひとときになるようにとワインも準備。料金は 1,500 円。ワインは別料金で 1 杯 300 円。当日は天候にも恵まれ、60 名を超える方々で賑わいました。



反省点もいろいろ出ました。優雅なひとときのためにワインを準備したのですが、予算の都合上グラスでなくプラスチック製コップであったこと、日が沈むと結構寒くなること、どうにか開催できたがメンバーも少しは楽しめる余裕がほしかったことなど。

催しは定着させていくことも大事な要素ですから、このイベントも平成 26 年度には春と秋に開催。できることから改善を加え、フラメンコギターにスペインワインを組み合わせるなど回ごとにテーマ性を持たせてパワーアップさせていきます。日程はお店の休業日に設定し、お店の多大な協力で焼き立てパンを準備してもらっていたのですが、都合で休業日がなくなることになり、これからどう対応していくかが大きな課題になっています。



また、予算のことで言えば、演奏家に対してもわずかばかりの謝礼でのご了解をいただきました。その交渉もメンバー自ら。それにしてもグリーンネックレスの会にはいろんな方が集まったものだとつくづく思います。今回、音楽家をお呼びできたの

もメンバーのネットワークがあったからで、このメンバーは、和から洋まで様々な音楽家との接点があり、専門的な音響機器も所有しています。出演交渉からマイクやアンプのセッティングまで音楽分野の一切を取り仕切りました。それでも音楽に関することはあくまでも趣味の延長、本職は工房経営者です。

## 「トワイライト音楽祭 2014～よろずの灯り～」

将来、地区を代表するような大がかりなイベントも必要ではないか、ということとで駅前広場を使つての大型イベントを平成 26 年 7 月 26 日に開催。ピーク時の観客約 300 名、夕方の 4 時半から夜 8 時まで 4 組のジャズバンドやサクソフォンアンサンブルなどに出演してもらい、トータルで 600 名ほどの聴衆で賑わいました。今になってみると、具体の活動を開始してから 1 年くらいでよくここまでできたなあと思います。

成功の要因は、演奏者の力、よく練られたプログラムとプロの司会者による巧みな盛り上げなどいくつもの要素が絡み合っていますが、グリーンネックレスの会だけでなく、地元の団体（NPO 研究学園・葛城、研究学園駅センター地区



協議会)、市民有志による実行委員会を組織し、地域として取り組めたことも重要な要素です。そして、近隣のマンション管理組合に事前に説明して理解を得たことなども忘れてはならないポイントです。

実行委員長は例の音楽が趣味の工房経営者。グリーンネックレスの会全体で取り組みましたが、中心となったのがタウンの会です。タウンの会は工房経営者の男性と 3 人の女性が中心となって切り盛りされており、やはりメンバー拡充が課題です。どうしても目の前の開催準備に追われがちですが、こういうイベントをメンバー加入のきっかけづくりとして意識しておくことも必要です。会に若い人の体力と感性が必要、とはメンバー談。現メンバーも十分若々しいと思うのですが、あえて年齢には触れません。

トワイライト音楽祭に話を戻します。公共空間での開催なので誰でも聴けます。なので料金は取れません。つくば市と市教委に後援いただき、公益財団法人つくば文化振興財団に申請して支援金※を受け、また、地元店舗を回って協賛金を集めました。この支援金と協賛金が開催費用となります。

### ※公益財団法人つくば文化振興財団の芸術文化活動支援事業

つくば文化振興財団と当財団等が協議を重ねて平成 26 年度に実現した、つくば文化振興財団の事業。特定寄附金を財源として、地域団体の地域貢献的な活動に対して財政的、人的支援を行い、芸術文化の振興に資するというもので、当財団はこの事業に対して特定寄附を行っています。



また、会場には子供さんたちが思い思いの絵を描いた竹灯籠が並べられ、演奏者と聴衆はやわらかな灯りに包まれます。この竹灯籠も重要なポイントの一つ。竹は地元の協力で伐り出しを行い、実行委員が灯籠として切り揃えました。



そして、絵を描いて完成品にするために事前にワークショップを開催。音楽祭の1週間前、近隣の大規模商業施設において3日連続で開いたこのワークショップは、多くの子供たちで賑わい、その親御さんたちに対しても音楽祭の趣旨と内容をPRするのに絶好の機会となりました。

これら一連の取り組みを通して、グリーンネックレスの会としては、イベント開催の様々なノウハウを手に入れることができ、地域との連携ができた取り組みとなりました。

#### (4) カルチャーの会の活動状況

##### ①自慢マップづくり

この会にも、いろんな特技を持っていらっしゃる方がいます。玄人跣の腕前の絵の描き手、地域の歴史を調べてガイドしながら歩くという高尚な趣味の持ち主、会の代表は雑誌やラジオの川柳コンテストで毎年コンスタントに作品を上位に食い込ませている強者。会はずまずマップづくりを進めていくこととなりますが、皆さんの自己紹介を聞いていると、どんなマップになるんだろうかとワクワクしてきます。

まずは現地調査、聞き取り調査を行うこととなりますが、数名ごとにチームを組んでどの方面を担当するかを決めていきます。従来からこの地域に住まわっているメンバーが案内役を買って出てくれました。組んだチームの名称は「探検隊」。A探検隊は面野井方面、C探検隊は荻間方面という具合です。メンバーのほとんどは還暦を過ぎていますが結構ノリノリです。

資金は、つくば市に申請し、まちづくり活動団体が行う事業などに対する支援の制度であるアイラブつくば補助金を受けられることになりました。(当財団はこの制度に対して公益目的支出として毎年寄附を行っています)

平成25年3月に初会合を開いてから1年。翌26年3月にマップは完成しました。絵の描き手が表紙を含め10枚以上のイラストを担当し、掲載写真もメンバーが撮影しているものがほとんどです。

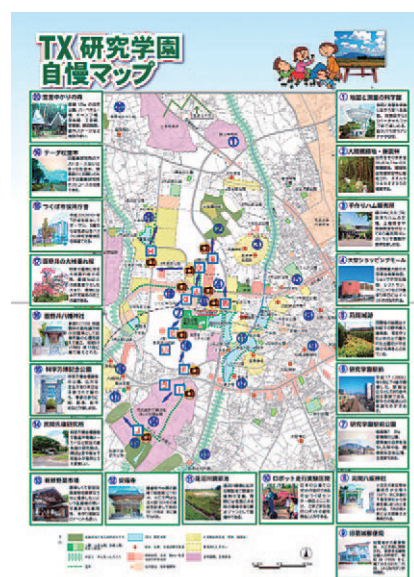
また、おすすめポイントを紹介、自慢するだけでなく、マップを手にした皆さんに実際に歩いてもらおうと散策マップも差し込みで作りしました。将来的には地域の全方面を案内できるようにしていく予定ですが、その第1号（科学万博記念公園方面）を同時発行しています。ガイド役のメンバーが事前の下調べをした上で、他のメンバーとご近所の方たちを誘ってテスト歩行をして完成させたものです。

このように書いてくると、順調のようにみえますが、やはり、そう簡単には進みませんでした。ただ、この苦労は会にとっての貴重なノウハウの蓄積ということでもあります。地元の古老の方々などとお知り合いになったこと、でもそれはちゃんと段取りを踏んで取りかからないとならないこと、思うように資料が集まらなかったこと、思い通りに掲載許可が取れなかったこと、逆に掲載の薄い方面

も出てしまったこと。そして、イラストや写真の配置、向きなどマップとして見やすいものにするための基本のスキルも実際の製作の中で学びました。

特に代表は全体の取りまとめ役ですから、校正、印刷業者の選定、また、つくば市から補助金を受けているので年度内完成とその報告書づくりなど処理する項目が多岐に渡り、完成までの最後の約1か月は時間との競争です。

「仕事ならともかく地域活動、ボランティア活動で、時間に追われるような取り組みをしているというのはどうなんだろう」。こういう疑問の声も上がります。しかし、もう完成は目の前、生みの苦しみということなのでしょう。アイラブつくばというつくば市の補助金が入ることは、資金面だけでなく、公的な取り組



みとして認められているということであり、そのことは責任も発生しているということにもなり、それを現実として認識できたということでも意味があったと思われま

す。100点満点でなくても、とにかく第一弾を完成させよう。そして評価を受けて、次につなげていこうと気持ちを持ち直しました。葛城三原則の第一原則、できることから始めて、そして、第一弾ができました。



## ②地域ガイドの展開

平成 26 年度、当財団は茨城県公募の、葛城地区にある県管理の大規模緑地についてのビジョン及び行動計画作成業務に応募し、業務を受託することになりました。住民参加の里山づくりを進めていくことなどを柱にして検討を重ねていきましたが、住民参加のきっかけづくりとして、散策、維持管理、環境教育の3つの観点で実際にイベントを開催。このうち散策イベントについては、カルチャーの会に協力を依頼しました。

開催は平成 26 年 10 月で、この頃にはカルチャーの会では、地域各方面でのガイド用データがそろってきています（神社仏閣、遺跡などが主です）。この方面のデータもありますが、それでも再度、試歩を行い、説明資料を整理し直して当日に臨んでくれました。



ルートは新市街地から既存集落の道を通って緑地に入るというものですが、会

では、このルートにひまわりを植えて素敵な散策道にできないか検討中です。地権者の了解、会としての維持管理方法など課題はたくさんあります。

### ③郷土史サロン

古くから地元に住まわれている方は、実にいろんなお話をご存じです。メンバーはマップづくり、地域ガイドを通していろんな方とお知り合いになり、貴重なお話を伺っています。探検隊だけでなく、もっと多くの人にこういう機会がつかれないだろうか。でも、地元の歴史講座などと銘打ってしまうと、話す方もプレッシャーだろうし…。郷土史「サロン」とは絶妙のネーミングです。気軽に好きな人が集まって、気さくに話し合う。

その第1回が平成26年10月30日に開催されました。まずは葛城だけでなく、つくば全体の歴史をおさらいしようということで、元つくば市教育長で公民館講座などを数多く担当する方をお願いをしました。この方は話が面白く、何度も講座に通うファンもいるなどで、あっという間に申し込みは30名を超えました。

今回はサロンとしては規模が大きめです。内容は盛り上がり、大いに勉強になりましたが、次回以降についてハードルを高め設定してしまったようです。

次にお話しをしていただきたい地元の方がなかなか決まらない状況が続いたのですが、今般、一般財団法人日本自動車研究所の方が引き受けてくれました。同研究所は筑波研究学園都市が出来る以前から葛城地区に大規模な高速試験場等を設け、日本の自動車産業の発展、技術の進展に大きく寄与しています。



## (5) 全体の取り組み

### ①全体の会の創設

それぞれの会は独立した会ではありますが、各会が全体でまとまって行う活動、共通する課題の解決などに対処するための横断的な会として設けたのが「研究学園グリーンネックレスの会」。この全体会と各会の関係を大きなことで例えれば国連と各国のようなものになりましょうか。

ただ、このあたりはどうしても混同しがちで、各会が全体会の部会のようなとらえ方をするメンバーもおり、今後さらに認識の統一と分かりやすい整理をしていくことが課題にもなっています。

全体会の規約は、グリーンネックレス構想を実現するために活動する団体の集まりと定めており、各会は独立した団体であることを明確にしています。そして、団体間の交流を促進し、他団体等との連携の推進を図り、活動状況等を広く PR して活動の輪を広げていくことを目的としています。

さらに、目的の条文の中には、メンバーの意向で『新たに開発される全国の「まち」に於けるコミュニティづくりの参考になることを目指す』という文言を入れることになり、そういう意識でこれから取り組んでいくんだという熱い気持ちも込められています。

代表は、「パンとワインと音楽と」で協力いただいているパン屋さんのオーナー。まちをよりよくするには「集い、潤い、学ぶ」機会をつくって、それを実行していくことが重要と以前から発言されています。

以前から発言されているのですが、各会の現状と照らし合わせると、

集い＝タウンの会の賑わいづくり・交流づくりイベントなど

潤い＝グリーンの会の花と緑の管理、花壇づくりなど

学ぶ＝カルチャーの会の地域資源発見、郷土史サロンなど

と、きれいに一致しています。

### ②合同連絡会、定例役員会

各会が独立した動きをするようになる分、横の連絡、連携は手薄になりがちです。そこで平成 25 年 12 月、合同連絡会を開催しました。各会が活動報告を行い、研究会メンバーにも参加してもらってコメントをもらいました。

ただ、単発的な会ではお互い報告だけで、突っ込んだ議論にはなりません。次の展開は役員会の定例化です。平成 26 年 2 月、規約をつくって、役員を決めて、毎月 1 回、役員会を開くことにしました。各会の活動報告、課題の共有と対策に

ついで意見交換、全体で取り組むプロジェクトの話し合いなどを行っています。ここに当財団からも気づいた点などを提案、報告しています。

なお、こういう流れについては、千葉で美化活動や自然観察会、講演会などに取り組んでいる「おゆみの道 緑とせせらぎの会」など、各地の先進事例を参考にさせてもらっています。各地の事例を調べていくと、それぞれメインとなる取り組みがありますが、それだけでは活動グループは上手く機能しません。よくヒト、モノ、カネと言われますが、事務局機能や広報、会計など組織的に動いていくためには欠かせない機能があります。

このような課題も会の取り組みが進むにつれて徐々に見えてきました。例えばオーケストラが演奏会を定期的を開いていくためには楽器が得意な人、好きな人だけでは成り立たなく、事前の会場手配や開催案内の広報、当日の会場案内などが必要です。

誰が何を担当していくのか、会が組織的に機能して、そしてそれが継続していくためにはどうしていけばよいか。当然の話ではありますが、会の活動が活発化するに伴い、明らかになってきた大きな課題です。

### ③まちづくりセミナー

合同連絡会で各会の活動報告を聞いた研究会メンバーからは、会の取り組みは素晴らしいが、それをどうやって外部に発信していくかが課題、との指摘を受けました。

平成 26 年 4 月に開催したまちづくりセミナー（共催：グリーンネックレスの会、NPO 研究学園・葛城、研究学園駅センター地区協議会、つくば都市交通センター、後援：茨城県、つくば市）では、グリーンネックレス構想を広く知ってもらうことと、これをきっかけにメンバー拡充に結びつけていくことなどをねらいとしました。

また先進事例では「守谷野鳥の森などの取り組みについて」と題して、行動的な市民ボランティアで組織され、ユニークな協働活動で知られる守谷市観光協会会長にご登壇いただきました。守谷のこれらの取り組みは先にふれたリブコムにおいて銀賞を獲得しています。

100 名規模で計画したセミナーですが、定員を超える方々にお越しいただきました。

ビジョンをまとめてから、このセミナーまでの間は 1 年と約 2 か月。会場アンケートでグリーンネックレス構想について聞いたところ、「だいたいの内容は知

っている」が 34%で、「聞いたことはある」は 28%、「初めて知った」という回答が最も多く 38%という結果でした。もっともっと周知を図る必要があります。

今後、グリーンネクレスの活動やセミナーに参加してみたいと思いますか、の問いには、7割以上の方が「はい」と答えています。そして、参加いただいた方の中には、その日のうちにグリーンの会に入会された方もおり、その後も、アンケートを頼りに参加希望者との接触を図り、数名の方が入会されました。

開催から半年以上経って連絡をくれた方もいました。ずっと気になってはいたものの、グリーンネクレスの会の熱心な活動を見ていると、自分としてはちょっと気が引けると感じて躊躇していたそうです。気楽にできる範囲で、楽しく活動しましょうと説明して納得してもらって入会してもらいました。

そういう風に見ている方もいるんだ、と気づかされました。確かにそうかもしれません。活動の実績を積んで、軌道に乗せると、メンバーは必死に取り組んできました。でも、それが悲壮感のようになってしまったら元も子もありません。

充実感があって、自然と笑顔がこぼれるような取り組み。こうなるように財団もしっかりと支援をしていかなければなりません。

#### ④外部の声を聞く

平成 25 年の年末は内部関係者による合同連絡会でしたが、平成 26 年末は小美玉市の方と意見交換会を行いました。『住民主役・行政支援による「小美玉市まるごと文化ホール」』を掲げ、住民主役の劇場運営や新たなまちづくりスタイルを実践し、全国から注目が集まっている先進的な小美玉の事例を聞き、グリーンネクレスの会からも現況を報告し、外からはどう見えるのか率直な意見とアドバイスをもらおうと企画しました。

小美玉市の方は次のように述べています。

- ・グリーンネクレスの会は、自己満足度が高く、結束している雰囲気も素晴らしい
- ・ただ、結束が強くなれば、その分新規参加しにくくなるのは市民活動組織の常。本気で人の輪を拡大しようと願いアクションを起こし続けることが大切で、活動を継続し、活動する人が増えていくにはこれからの正念場
- ・現段階で、会は徐々に主体的に取り組む方向へ、としているのは絶妙のタイミング

他地域の事例を聞いて、また、自分たちのことについても意見をもらう。この意見交換は今後も継続させていきたい取り組みの一つです。

## 第3章 これからも続いていく活動を目指して

### 1 当財団の取り組みの経緯

葛城まち育てについて、当財団は平成 27 年度までを一つの目安に期間設定して取り組んできました。もちろん期限が到来したら取り組みがゼロになるわけではありません。

ただ、私たちが考える葛城まち育ては、ゼロから勉強会を始め、まちづくりビジョンを共有し、活動グループを組成し、そのグループが自立して継続していける筋道を立てていくことです。

ここまで振り返ってきた平成 26 年度途中までの会の状況は、おこがましいのですが、子供でいうと 15 の春は卒業して、18 の春も過ぎたのではないかと思います。

前述の小美玉市の方は、会が主体的に取り組む方向に進むのに、今がいいタイミングとおっしゃっています。

当財団が各地に出向いて行っている事例調査で、中間支援を行っている NPO 法人などと意見交換しても 3~5 年で市民活動グループの自立を促していくのは望ましい方向のようです。

ただ、各地の話を聞くと、ここから難しいのは、それまで地元としては「中間支援組織が頑張っているから一緒にやってみよう」ということで、やらされ感があったことや、中間支援組織が頑張り過ぎると市民は「おんぶにだっこ」になることなどの指摘です。

本書ではここまで、会の動きを中心に述べてきましたが、ここでは当財団自身としてどのように考えてこの取り組みを進めてきたかを振り返ってみます。

#### ①当財団が主導して組成

平成 23 年度末、つくば市と共同で地域住民の方を対象にアンケートを実施し、モニターの方々を対象に平成 24 年度に開催したまち育て勉強会、平成 25 年度のテーマ別ワークショップ開催という流れは、活動グループの組成ということを目指して進めてきたものです。ただし、当財団だけでは対処しきれない問題もありますので専門家からなる研究会を組織し、その事務局を当財団が担当しました。



研究会事務局として当財団は、勉強会、ワークショップでの議論の進め方を検討していきましたが、それを研究会に諮って専門家との議論により方向付けができていったのが全体を推し進める上で大きく作用したと考えています。

また、3つのテーマに分かれて実施したワークショップでは研究会の専門家がワークショップを受け持ちましたが、当財団も一つのテーマ（歴史文化・地域資源系）を担当しました。

当財団の担当部署は未経験者揃いですので、シンボルプロジェクトをどう具体化するか、そのための段取り、各メンバーから出される様々な意見に対する合意形成の方法など上司や専門家に学びながら同時進行で進めていくこととなります。どうしても円滑な進行とはならない部分も多々ありましたが、こういうことを通してメンバーの方々と徐々に意志の疎通が図れるようになってきました。

## ②会の誕生と自立化に向けての支援

テーマ別ワークショップを経て平成 25 年度に3つの会が誕生しました。それぞれの会は、シンボルプロジェクトの実施に向けて検討を重ねます。実施するにあたっては体制もしっかりしなければなりませんので、組織機能の強化も図っていきました。規約を作り、役員会を定例化し、プロジェクト実施にあたっての補助金の申請も行いました。

これらシンボルプロジェクトの企画と実施、組織機能の強化それぞれの検討について当財団が調整しながら進めていきました。当財団が事例等を示しながら、メンバーと議論して一つ一つ決めていったという具合です。

また、この頃までは、当財団が会合の日程調整から会場手配、資料準備まで全て行っていましたが、会の組織機能の強化を図るには事務局機能をしっかりさせる必要がありますので、会に事務取りまとめ、広報、会計を置き、担当者を決めていきました。

シンボルプロジェクトについてはそもそもメンバーが興味を持っていることですので筋道が整理できれば自ら進んでいきやすいものですが、会場手配や資料準備は面倒なものです。しかし、ここがきちんとしていないと会の自立化は程遠いと考え、メンバーに説明しながら、会合日時の連絡調整や会場の予約などをメンバーに担当してもらうようにしていきました。現在では会の進行、議事録の作成、打合せ資料の作成もメンバーが実施し、それらを取りまとめる事務局長も決まりました。

課題はどうしても中心的メンバーに役割が集中してしまうことで、地域への浸

透を図りイベントやセミナーなど様々な機会を活用してメンバーの拡充を図っていかねばなりません。

### **③行政、企業と当財団との連携**

つくば市と当財団とは平成 24 年 5 月につくば市のまちづくりについて相互の協力を促進するための協定を結びました。葛城地区のまち育てに関するだけでなく、交通問題等も含め情報共有を図り相互の役割分担を調整して共同調査などを実施しています。

葛城地区にある主要企業と当財団とで交流会合も行っています。当財団が声掛けし、平成 25 年 9 月に会合を開き、現在 8 組織で情報交換、意見交換を行っています。当財団はこの会合で、グリーンネックレスの会の情報を報告し、会と地域企業の橋渡しになるよう努めています。

### **④特定寄附**

当財団は、地域団体の地域貢献活動などが円滑に進むよう、つくば市のアイラブつくばの制度と公益財団法人つくば文化振興財団の芸術文化活動支援事業に対する特定寄附を行っています。

前述したようにグリーンネックレスの会はマップづくりやイベント開催費用、花苗購入等の一部にこの補助金等を活用しています。

## 2 会の課題と、これからの進め方について（今後に向けてのアンケートから）

研究会では平成 26 年末に、会のメンバーや関係団体等にアンケートを行いました。持続可能なまちづくりの仕組みづくりを検討するために、各自がとらえるこれまでの取り組みの評価と到達点、これから先の会の課題とニーズなどを明らかにして、平成 27 年度以降の取り組みにつなげていこうとするものです。

現在、集計中で、途中段階の集計結果ですが、いろいろとヒントも見えてきました。

### ①実績評価（活動、メンバー拡充等）

自分たちの活動についての満足度では、グリーンの会は「かなりの実績ができた」と回答したメンバーが多く、一方、タウンの会、カルチャーの会では「そこそこの実績ができた」と感じているメンバーが比較的多い状況です。

これは活動内容自体の差によるところが大きいものと考えられ、日々の活動を続けるグリーンの会に対し、タウンの会は季節ごとのイベント開催が主となっており、「その日だけのイベントになっていないか。シンボルプロジェクトの賑わいづくりに役立ったのだろうか」という疑問を持つメンバーもおり、そのことなどが実績評価の差になっているのではないかと思います。ただ、こういう意識を持ち続け、常に自己点検しながら進んでいくことは必要な作業です。そして、イベントに限ったことではありませんが活動は継続していくことが大切ですので、ビジョンを振り返り、当財団と話し合いながら、一つ一つ実績を積み重ねていってほしいと思っています。

メンバー拡充については、これまでの新規メンバーの加入状況をみると、セミナー等を通じて興味のある方が加入してくれたというのが大半で、各会が積極的に仲間集めをしたかというとまだまだの状況です。イベントの参加者、また、今後の開催を検討しているワークショップや講座などの参加者に対してアプローチしていくことから始めていくのが必要ではないでしょうか。

現状ではグリーンの会に比較的多くの新規メンバーが集まってきており、現在 20 名という状況です。このような中、「拡大したいが組織の維持管理を考えると躊躇する」という意見があります。各会ともメンバー拡充を大きな課題としていますが、現にメンバーが増えている会では、会のマネジメントを考えると現状のままメンバーが増えていくことに対して不安要素があるということでしょう。

新規メンバーをどう集めるかということだけでなく、集まった結果、メンバー

個々がどういう役割を担って、会としてどう進んでいくかということについても皆でしっかりと話し合っていく必要があります。

## ②会の運営

会の運営、話し合いの進め方も磨きをかけていく必要があります。これまで行ってきたものがどうだったか、何が足りなかったかなど、メンバーの皆さんに振り返ってもらい、次につなげていこうとアンケート項目に盛り込みました。

気持ちよく話し合いを進めるために、・人の意見を否定しない・アイデアをたくさん出す・話し合いを楽しむ一など、一般的によく言われている基本的なルールを掲示し、それが実行できていたかどうかを問うものです。

「全部実行できている」はハードルが高いので、そこまで回答は多くないのですが、「概ね実行できている」と多くのメンバーがとらえています。

ただ、自由意見では「活動が主体となっており、意見交換まではいっていない」「話し合い自体を楽しむゆとりはなかった」「目の前のことばかりで」などがあり、概ね実行できたというものの、改善の余地はたくさんありそうです。

「話し合いを楽しむことを重視し、少し突飛でも無理そうなことでもどんどん意見が出るといいと思う」という意見もありました。今以上にこういう雰囲気づくりを心掛ける必要があります。何度も例を出して恐縮ですが、小美玉では物事を決めていくキチツとした会議とともに、“茶飲み話”を重視しているそうです。これも参考にしたい取り組みの一つです。

## ③会の活動を持続的に進めていくには

まず、今後、より力を入れていきたい項目では「資金獲得」と「会の活動が、地域市民に貢献し受け入れられること」が最も多く、次いで「仲間を集めること」となっています。

資金獲得についても大きな課題の一つです。これもグリーンネックレスの会に限らず、どこでも同じような悩みを抱えているようです。行政の補助金、公益法人の公募助成金、協賛金などが考えられますが、公的な補助金、助成金に関してはたくさんの選択肢がある中から、その制度と取り組もうとする活動が上手くマッチするものなのかどうかを見極め、また、細かいことですが申請書の書き方の精度を上げていくことなども重要な要素です。

「会の活動が地域に受け入れられること」。市民協働の取り組み、地域の活動グループの取り組みにおいてこの観点は絶対に欠かせないものですが、メンバーの

多くもそれを考えているということでもあります。

活動グループはどこかで趣味性に走り出すことがある、とよく言われていますから、公益性を常に意識し判断材料の根底に置いておく必要があります。そして、その点検作業として第三者、地域の声を聞くため、例えば定期的なアンケートなどの実施を進めていく必要があります。

#### ④会と当財団の、これからの関係など

当財団としては、勉強会から始めたことが、この取り組みが進展してきた大きな要素の一つととらえています。

メンバーからも「勉強会の目的も主旨も全体像も1~2年活動した今になってやっと分かってきた」、「何となく参加しているうちに自分の考えていた活動につながってきている」などの意見がありました。

ただ、「少し急ぎ過ぎているように感じます。期限を設定した目標は必要ですが、会社の仕事と違い、自然体が一番良いと思います」という意見もあります。これは、会として主体的に取り組むべきと考えているからこそその意見であるともいえ、「最初の頃は“おんぶにだっこ”で頼りっぱなしだったが、少しずつ“親離れ”ができていくように思う」というように考えているメンバーもいます。

しかし、では「どこまで頼っていいのか、線引きの判断が難しくなってきた」の意見のように、グリーンネックレスの会と財団は今後、どのような関係にしていけばいいのか、ということを整理していかなければなりません。

「今までどおり関わってほしい」、「引き続き強力な支援を」という意見もありますが、「各会が問題にぶつかったときの相談窓口」の意見のような対応を基本にするべきではないかと考えています。

そして、「講習会、講演会の講師の派遣等」「他のモデルとなる地区の紹介、交流の仲介」という意見のように、会としてスキルアップするための実践的な講習、研修や他地区との交流を、会と財団で共同で開催できるような関係性構築にもっていければと考えています。

事業の3要素と言われる「ヒト、モノ、カネ」。その観点で上記のことを整理しますと、まず、当財団はいつでも相談に応じ、これまでもそうだったようにメンバーが気軽に話しに来られる場づくりに努めていくことが必要です。そのため

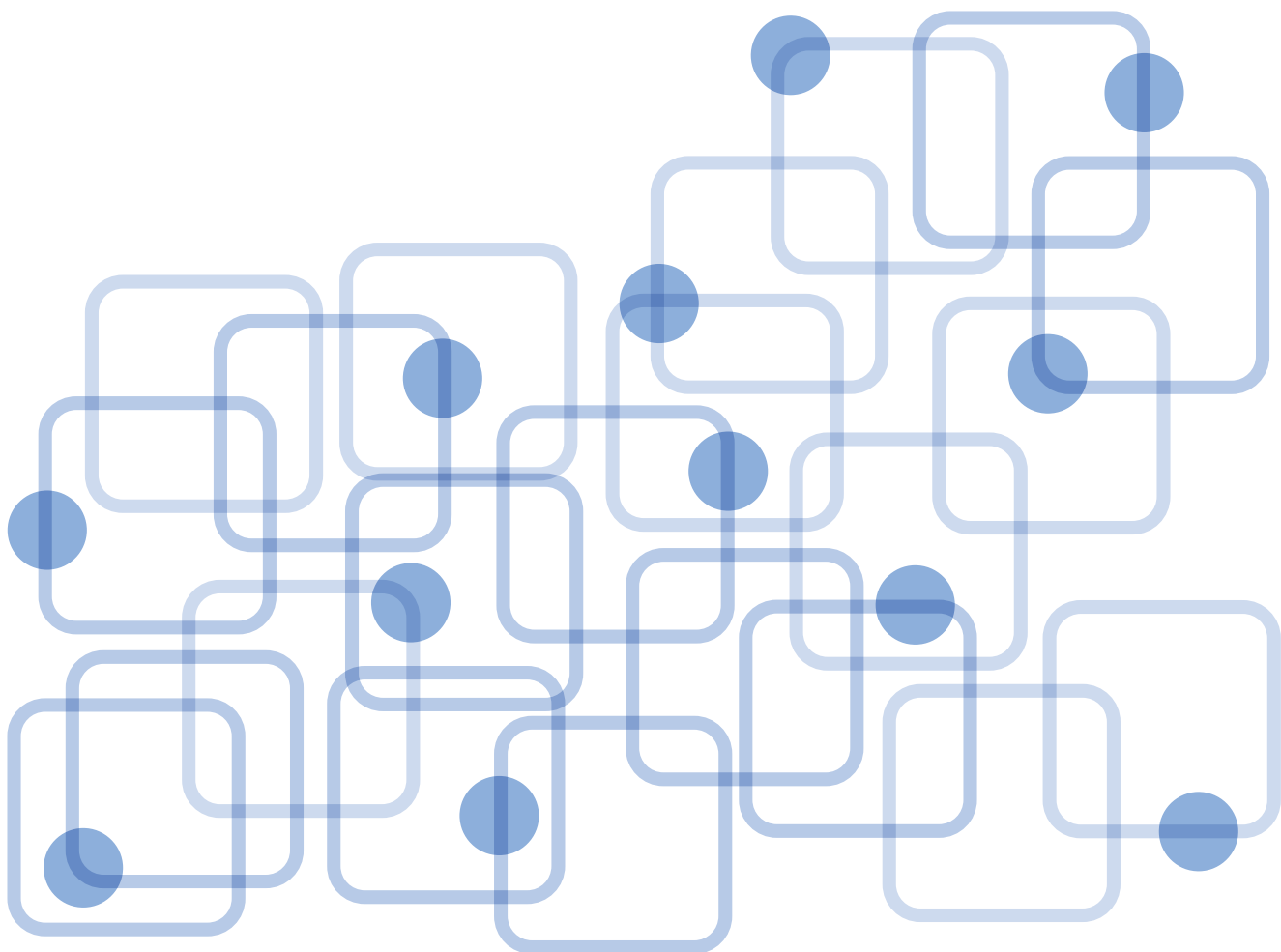
には当財団は今まで以上にノウハウ蓄積などを図って実力を向上させ、これに応えられるようにしていかなければなりません。

メンバーは新しい仲間づくりとともに自分たちもさらにレベルアップしていこうと考えています。そのためには研修、講習、他地区との交流などが必要で、これらを通して会の担い手が育成されることになり、当財団はそのために講習会の共同開催や交流の仲介などで支援をしていくことを考えています。

そして資金の手当てについては、当財団の公益目的支出である特定寄附をつくば市やつくば文化振興財団に対して継続して実施する予定であり、会はこの制度をこれまで以上に活用してもらおうとともに、各種助成金の申請などについても当財団がアドバイスしながら、また、協賛金など地域との連携も図りながら進んでいくことが必要と考えています。

## 第4章 資料編

---







平成24年度

みんなで始めるまち育て 勉強会

勉強会の概要および資料



# 「みんなで始めるまち育て」 第1回 勉強会

【第1回勉強会】 葛城地区でのまちづくりについて

開催日時：平成24年5月25日（金） 13：30～15：00

開催場所：つくば市役所会議室2階 203・204

参加者数：33名

「プログラム・勉強会内容」

- 1.開会
- 2.つくば市挨拶（TXまちづくり推進課課長）
- 3.住みよいまちづくりについての主旨説明（財団理事長）
- 4.「葛城・研究学園地区まち育てアンケート」結果報告
  - ・H24年2月にポスティングにより行った、まちづくりについてのアンケートの結果報告
- 5.事例紹介
  - 事例 1) 埼玉県越谷市越谷レイクタウンの事例
    - ・市民主体のまちづくり活動を紹介。
    - ・越谷レイクタウンのまちづくりがリブコムで賞を獲得したことなど紹介。
  - 事例 2) 葛城地区で現在おこなわれている活動事例
    - ・現在葛城地区でどのような活動が行われているかを紹介（千本桜植樹やイルミネーション）。
- 6.質疑応答
- 7.今後の予定
  - マップづくりについて概要説明



「勉強会での意見など」

- 質疑応答の中での意見（質問等）
- ・インフラが整備されていない中で、コミュニケーションだけでは無理があるのでは？
  - ・自分たちのまちは自分たちで作ることが重要だと思う。
  - ・若い子育て世代も含めたまちづくりが必要である。
  - ・早い段階でグループを作ってその中で議論を進めたい。
- 勉強会終了後のアンケートによる勉強会についての意見・感想
- ・いろいろと知っていくと、素晴らしいまちになると思えた。
  - ・地域の良さを生かした事業、新しいまちづくりを考えた事業、両方考えたことをやっていきたい。
  - ・レイクタウンのまちづくりの事例は参考になったが、現時点研究学園区域の未来図、問題点を全員で交流しながら考えた方が優先課題では？
  - ・まちづくりのスタートということで、概要がよくわかった。
- 関心が高いこともわかり今後の活動に住民の意向が反映されていくことも期待でき、参加してよかったと感じた。



①

## 葛城・研究学園地区 まち育てアンケート調査報告

平成24年3月

つくば市  
つくば都市交通センター

②

- 1) 地域活動に関する意識調査をアンケート形式にて実施。
- 2) つくば市と財)つくば都市交通センターが共同で実施。
- 3) 新規地域と隣接地域を対象。
- 4) 平成24年2月に配布を実施。

つくば市のH.P.に掲載済み

### ③ 配布区域

駅を中心とし  
約3000戸に  
配布



### ④

調査数

配布総数	2953件
(1) 在来の居住者	623件
(2) 新規の居住者	2330件

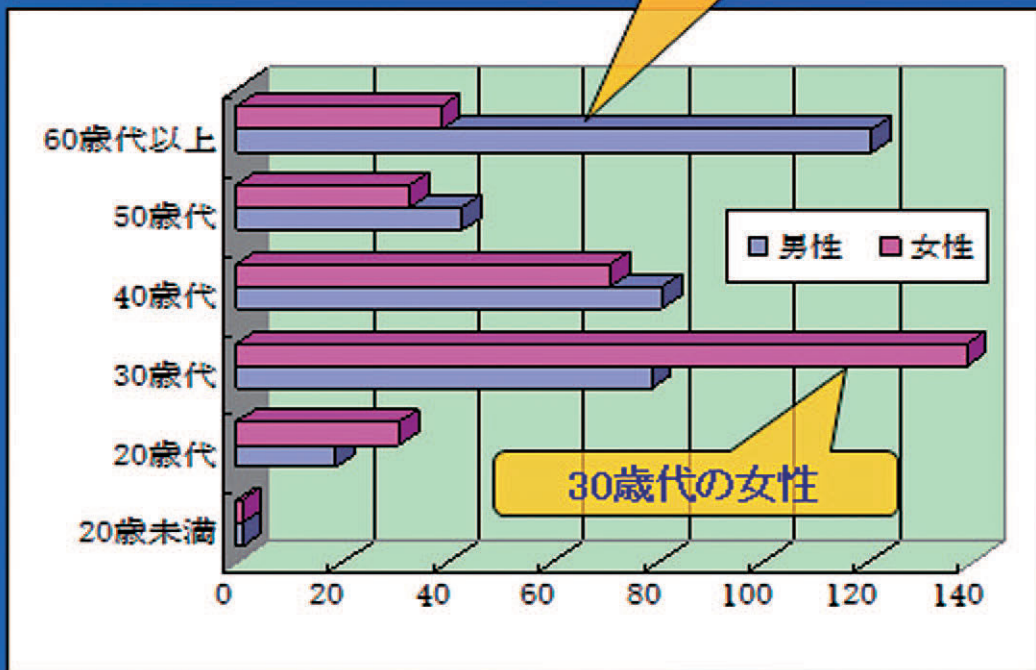
回答数

回答総数	741件	回答率	25.0%
(1) 在来の居住者	194件	回答率	31.1%
(2) 新規の居住者	547件	回答率	23.4%

25%と高い回答率

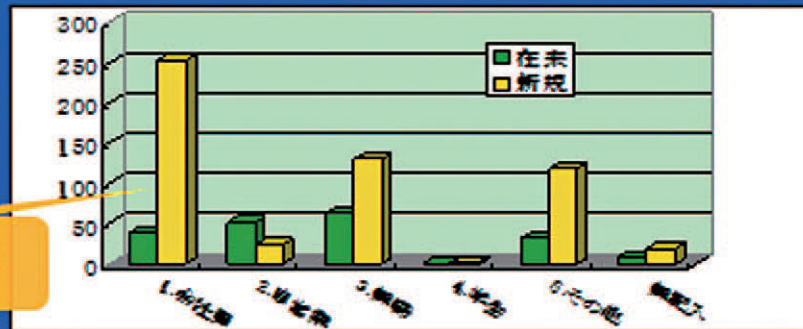


### ⑤ 回答者の分布



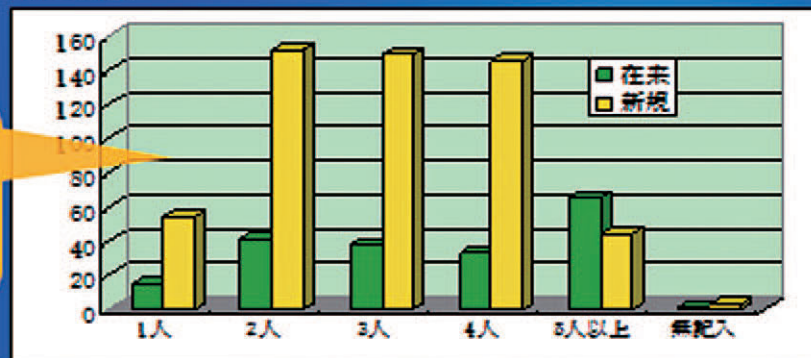
### ⑥ 職業について

会社員が最多



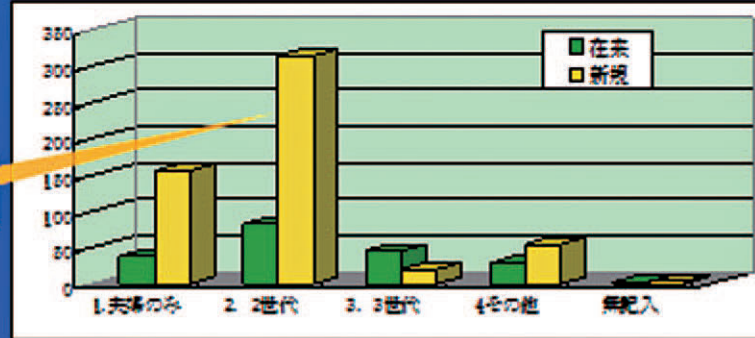
### ⑥<sub>2</sub> 同居の家族数

2~4人の家族構成が主  
1人も9%あり



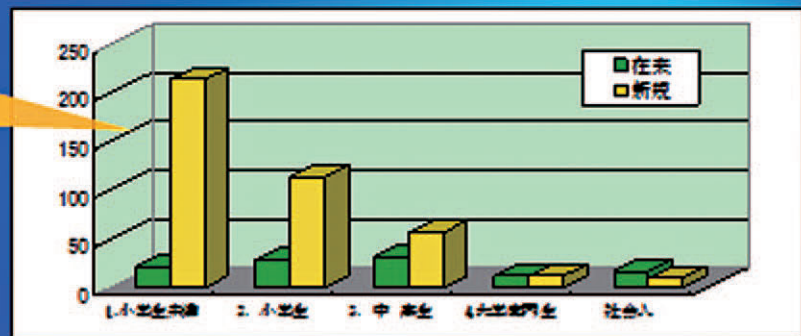
### ⑦ 家族構成

2世代が最多

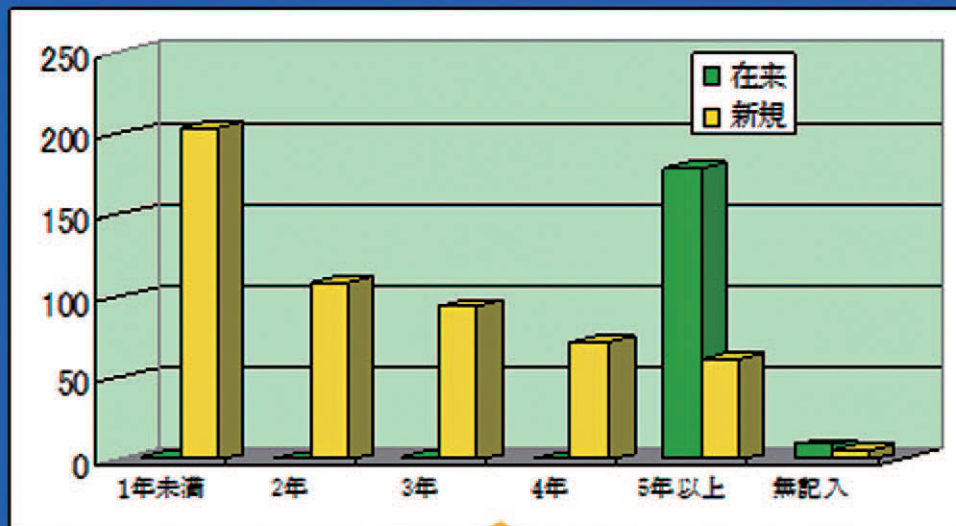


### ⑦2 同居の20才未満

小学生未満が多い



### ⑧ 居住年数



新しいまち、新規居住者は  
5年未満、

⑪地域活動に関するご意見や、当財団のこの取組みに対するご意見などございましたら、ご自由にお書きください。

- 約210件の記述回答を頂きました。
- 以下のような意見が多くみられました。
- 集会所等の施設が必要
- 子育て関連(施設、会合の機会)
- 情報関連(地域に関する情報等)
- 防犯、防災関連(施設、活動等)

⑫葛城・研究学園地区での地域活動のワークショップや、セミナーなどの意見聴取や、案内をさせていただくモニターを募集しています。モニターになっていただいてもよろしいでしょうか？

「はい」の回答	総数	130名	モニター応募 130名！！	
在来居住者	29名			
男性	20名	女性 8名	無記	1名
新規居住者	101名			
男性	53名	女性46名	無記	2名

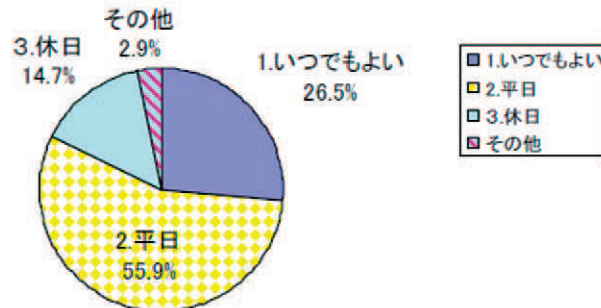
以上



## 第1回勉強会アンケート(H24.5.25) 集計表

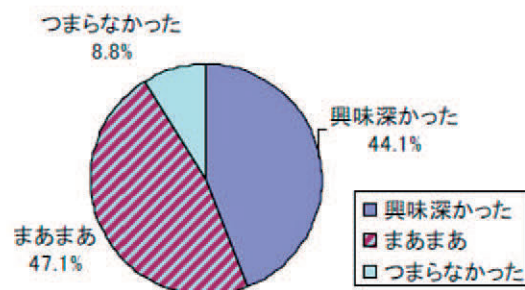
みなさまからご回答いただいた前回の勉強会アンケートについて集計いたしました。

### 【1】開催曜日・時間帯について



### 【2】勉強会について

#### 1) 今回の勉強会について



#### 2) 興味深かったところ、またはつまらなかったところはどんなところでしたか？

- ・越谷レイクタウンの事例が興味深かった。
  - ・いろいろ知っていくと素晴らしまちになると思えた。
  - ・地域の良さを生かした事業、新しいまちづくりを考えた事業、両方考えたことやっていきたい。
  - ・具体的なことをもっと説明して欲しかった。まちづくりというよりもコミュニケーションづくりであることがわかった。
  - ・インフラ整備のことと、ボランティア活動のことと、何が目的なのかという話の核がよくわからないので、こんらんしてしまった。
  - ・旧来の考え方や意見が多く、今後の取り組みやビジョンが見えない。地域コミュニティの形成等、在来・新規住民の統合的な内容が見えない。御財団や市の立ち位置が見えない。  
今後の勉強会に期待します。
- その他、たくさんの意見をいただきました。

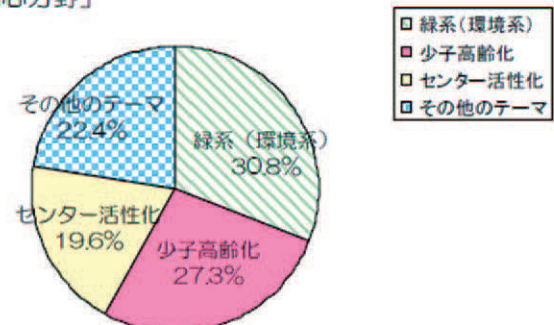
### 【3】関心のある分野について

(当てはまる番号に○をつけてください。)

いくつでも可)

※但し、一人が複数の分野にまたがっている場合あり

#### 「参加者の関心分野」



# 「みんなで始めるまち育て」 第2回 勉強会

## 【第2回勉強会】 地域資源マップづくりワークショップ

開催日時：平成24年7月17日（火） 14：00～15：30 地域資源情報を事前収集

開催場所：つくば市役所会議室2階 203 参加者数：15名 他スタッフ9名

「  
プ  
ロ  
グ  
ラ  
ム  
・  
勉  
強  
会  
内  
容  
」

- 1.開会
- 2.ワークショップの進め方の説明
  - ・事前にモニターの皆さんから提案のあった地域資源情報をマップに記載し、地域資源マップを見ながら、現状と今後のまちづくりにどのように活かしていくかを話し合う。
  - ・班分けについては、事務局側が、新旧、男女などバランスをみて編成。
- 3.モニターの皆様から事前に提案された地域資源の概要説明
  - ・地域資源マップ及びリストの確認
- ※第2回の案内状とともに、地域資源情報の提案を依頼。事前に収集。
- 4.スタッフ（ワークショップを補佐するファシリテーター）の紹介
  - ・A班、B班の2つのグループに分かれて、それぞれにファシリテーター2名を配置
- 5.ワークショップ（グループごと話し合い）
  - ・A0サイズで準備した作業用地域資源マップ（現状を赤シール、提案を青シールで表示）を見ながら、まちづくりへの提案等意見を出し合った。
- 6.グループごと発表とまとめ
  - ・ディスカッション終了後、それぞれの班の代表者が発表した。
- 7.今後の予定
  - ・第3回勉強会まちあるきについて（10月実施予定）



### ワークショップまとめ

【A班】A班は、研究学園駅周辺にある、新しい区域のまちづくりについて多くの意見があった。

A班では、次の4つのポイントが重要というまとめになった。

- ①市民参加で、まちを一緒に作る
- ②気軽に集まれるグループを作る
- ③商業者を巻き込んで活動を展開する
- ④新旧住民の情報交換の必要性



【B班】B班は、新しく開発された地区の周辺にある、昔からの地域についての意見が多く出た。

B班では、次の5つのポイントが重要というまとめになった。

- ①自分たちの住んでいるまちを知る
- ②地域の履歴を残す方策を考える。
- ③新旧住民の交流の場を作る
- ④これからのまちづくりには、若い人たちの意見が重要
- ⑤地域のみなが集まれる場（特に若い人たち）、イベント、情報ネットワークづくりの必要性

「  
勉  
強  
会  
で  
の  
意  
見  
な  
ど  
」

### その他ワークショップで出された地域資源情報や提案

- ・かつては筑波山までつづいていたという旧道がある
- ・それぞれの資源を自転車で巡れるようにネットワークさせた「自転車のまちづくり」の推進
- ・蓮沼川の土手の草を整備して、散歩道を作る
- ・パンパドール（パン屋）には、パンの職人世界大会のメダリストがいる
- ・蜂の巣公園から東南に伸びる道路途中には、火の神様と水の神様が奉られている
- ・記念公園にはきれいな花菖蒲がある など。

ワークショップでは、古くから住んでいる方達と最近移り住んできた方との関わりが勉強会によってできはじめ、さまざまな情報交換がなされていた。



「みんなで始めるまち育て」 第2回 勉強会

# アンケート 集計表

☆ 参加者属性

性別	男性	女性	合計
人数	7	8	15

【1】 勉強会について

今回の地域資源マップ作りはいかがでしたか？

合計	1) 興味深かった	2) まあまあだった	3) つまらなかった	4) 無記
14	10	3	0	1

【2】 ワークショップについて

・今回は、ワークショップ形式で勉強会を進めましたが、  
1) このようなワークショップにこれまで参加したことがありますか？

1) 参加したことがある	11
2) 参加したことがない	3

2) 今回のワークショップで良かったところ、またもう少し工夫した方がいいところなどありましたらお書きください。

- ・発表者のポイントがつかみづらかった。
- ・時間が適切で進行もよかった。
- ・とても有意義な意見が出たと思います。特に「作る前に住民が参加して作り上げる」ということ
- ・コーディネーターさんがうまくリードしていただいた。とてもよかった。
- ・多くの人が気軽に話せてよかった。
- ・多くの意見を取り入れて、1つずつ実現していく計画をしていけば良いと思う。  
(一気に多くのことができないので)
- ・いろいろな意見が聞けてよかった。
- ・これからの意見集約が課題。
- ・面白かった。
- ・せっかくこれだけの内容での話し合いなので、いかに多くの人に参加してもらえるか、募集の工夫をして欲しい。
- ・新旧住民と一緒に話し合う場が出来たことは大変良かった。このままで終わらせず、今後もっと前進していけたらと思った。
- ・話しながら、つくばを知るチャンスになったと思います。

【3】 地域資源マップについて

今回のワークショップであげられた地域資源の中で、特に印象に残った場所、提案や活動などがありましたら、お書きください。また、その理由もあればお書きください。

- ・古い資源と、公園を結んだルートマップが明らかになってよかった。
- ・蓮沼川の緑地
- ・これから開発が進むこと自体が大きな資源
- ・駅前公園の利用、ラジオ体操の会から広がっているのが素晴らしいと思った。  
この公園と古民家をこれから上手に活用していけたら。
- ・他からいらっしゃった人々たちにとっては、地域のコミュニケーションとかいろいろとあるので、そういうものができるとさらに関連して他のことも出来てくると思う。
- ・調整池の活用。水辺+土地活用
- ・道路の名前がない
- ・今回のような話し合いのあとは、どう公表、活動されていくのか興味があります。
- ・調整池の利用方法、家庭菜園にできる場所の利用法など新情報がありよかった。
- ・千本桜

【4】 その他、勉強会へのご意見などございましたら、ご自由にお書きください。

- ・若い人たちの意見を反映させるために、若者を対象とした勉強会が必要と思う。いろいろな発想が出て参考になると思う。
- ・駅前公園の古民家を集会所にして少しずつ行動を起こしていくのはどうか？若い人たちも誘ってみる。
- ・これからも積極的に参加していきたい。
- ・地元の方、元先生等が古い話を聞かせてくださり、参考になった。これからも色々お聞きしたいと思う。
- ・今後が楽しみ
- ・意見を集約して実現させて欲しい。
- ・次回が楽しみ
- ・なるべく多くの人に参加して欲しい。多方面（学生・学校・会社などからも）からの参加
- ・10月、是非出席したいです。
- ・平日の昼間だと子育て世代、学生など若い世代の参加が難しいのでは？夜や休日も開催した方がいい。
- ・皆さん熱くて刺激されました。

「みんなで始めるまち育て」 第3回 勉強会

【第3回勉強会】 地域資源まち歩きワークショップ

開催日時：平成24年10月23日（火） 13：15～16：30

開催場所：葛城地区

参加者数：26名

コーディネーター他 16名

「プログラム・勉強会内容」

1.開会

・まちあるきを使用する資料の説明、及び注意事項等の連絡

2.まちあるき

・これまでの勉強会でモニターの皆さんから提案のあった地域資源の中から、13ヶ所をまち歩きのポイントとし、実際に徒歩とバスで現地を巡り、地域資源を再認識、再発見するまち歩き勉強会。

・視察しながら気づいたことや、提案、感想などをチェックシートに記入した。

[チェックポイント]

- ①つくば市役所⇒②TX高架下⇒③駅前公園⇒④古民家⇒⑤千本桜⇒⑥蓮沼川周辺（弁天様）  
⑦八坂神社⇒⑧公共緑地予定地⇒⑨研究学園駅前広場⇒⑩1号近隣公園⇒⑪整備前空地⇒  
⑫テダ松並木⇒⑬愛宕神社・権現神社



まち歩きエピソード

1. 八坂神社

古くからこの地区にお住まいの方の計らいにより、八坂神社宮司のお話を聞いた。いつもは閉まっている本堂に入って、葛城地区の古い歴史や、参拝の仕方までいろいろな話を聞くことができた。



2. 愛宕神社・権現神社

面野井地区にある蜂の巣公園から東南に伸びている林道の中にある愛宕・権現神社では、地元の方より、神社までの林道の整備の話などいろいろとお話をしていただいた。参加者のなかには、「こんなところがあるなんて知らなかった」や、「初めて参拝した」、「奥まっているが、土を踏んで歩くとても気持ち良かった」などの意見が多く、周辺に住んでいながら知らなかった地域資源を知ることができた。



全体まとめ

- ・市役所や、地区公園、駅前の広場など：木陰がなく夏は非常に暑い。
- ・古民家：あまり知られておらず、利用の方法などが周知できていない。
- ・千本桜：NPOとの協力、連携、話し合いが必要  
など、地域資源の再認識、再発見がなされた。



本日の視察のポイント

時間 (目安)	No	該当箇所・事項 視察のポイント	写真・地図等	みなさんから出 された提案事項	現状	視察メモ・感想 (提案の実現に向けてどのよ うな課題がありそうか等)
					事務局・専門家による提言やアドバイス	
13:15	集合	オリエンテーション				
13:30 出発	①	市役所		<ul style="list-style-type: none"> <li>市役所通り、広大な駐 車場を含めた活用(休 日等の利活用、公共的 なイベントや市民イベ ント、催し物等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「まつりつくば」のイベント会 場などで利用されている。</li> <li>市役所エントランスは？</li> <li>研究学園駅から市役所へ 至るアクセス、動線はどうだ ろうか？(賑わい・拠点性)</li> <li>駐車場も含めた休日の利 活用を考えても面白い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2.メイン通路。日・祭日、朝市</li> <li>7.ストリートパフォーマンス、路上 ライブコンテスト、ビールフェスタ</li> <li>15.入口のロータリーはまん丸く、 車がスムーズに回れるように。</li> <li>16.木陰がない。夏暑い。</li> </ul>
	②	つくばエクス プレス 鉄道高架下		<ul style="list-style-type: none"> <li>高架下の利活用(市 民活動の場として)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在は、一部駐輪場等に利 用されている。</li> <li>市民活動の場としての利 用可能性を検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2.7.11.駐輪場の拡張</li> <li>7.花(現状彩りなし)、雨天時の子 どもの遊び場、スポーツ施設、公 民館</li> <li>11.テナント利用</li> <li>13.商店街のような</li> <li>15.高架下を南北に行き来できる 道を増やす</li> <li>18.日曜等の朝市利用</li> </ul>
	③	駅前公園		<ul style="list-style-type: none"> <li>野外コンサート等</li> <li>様々なイベントでの利 用(食のお祭り(4/29) のようなイベントに活 用)</li> <li>公園内の池を環境資 源として育成、保護</li> <li>野鳥の餌場としてバード ウォッチングができる 公園</li> <li>健康増進活動の提供 とリタイア組に対する交 流の場づくり</li> <li>都内からの住民も増 え、気軽に集まるきっか けになれば良い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年に数回、イベントやフェ スタ等が開催されている。</li> <li>芝生広場、緑が多く広々とし ている。</li> <li>池にはたくさんの野鳥がい るが保全管理が必要。</li> <li>毎朝、ラジオ体操が実施さ れている。</li> <li>活用エリアを区分した積極 的な利活用を検討</li> <li>公園の樹林、千本桜、根 崎の屋敷林の樹林帯、公園 内の池と調節池を連続さ せ、野鳥や両生類等の生息 環境をつくる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2.盆踊り他イベント</li> <li>6.広大な公園に感激。ロンドンハ イドパーク&amp;リージェントパークを 思い出す。</li> <li>7.中の森には入れるのか？冒険 ツアー、ネイチャーツアー、きもだ めし、ハロウィン。広場は夏暑く 冬は寒く足が凍る。</li> <li>8.広すぎる位。野鳥保全実現して ほしい。</li> <li>11.一部、無料駐輪場に利用 14.公園の活用検討が必要か。</li> <li>15.日陰が少ないので高木を増や して。</li> <li>16.野鳥少ない。植木増加。</li> <li>17.テニスコートなど毎日利用者 があると</li> <li>20.木陰がほしい</li> </ul>
	④	古民家 つくばスタイル 館		<ul style="list-style-type: none"> <li>日常的なプログラムを 組んでみてはどうだろ うか(例えば、運動など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>休憩や見学のほか、お茶 会やセミナーなど各種の催 しに無料で利用できる。</li> <li>「使い勝手が良くない」、 「利用方法がわからない」等 の意見が多くみられたよう に、市民には有効に利用さ れていない。</li> <li>地域の人々の活動拠点と して活かす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1.14.あまり知られていない。</li> <li>7.子供会での活用、もちつき大 会、蕎麦打ち、国際交流</li> <li>8.周囲が楽しい場所になれば緑 側感覚で人が集まれる場所に、</li> <li>10.研究学園地区の交流センター として多くの人が使えるようにな るといい。NPOで管理する？</li> <li>13.利用法の周知など工夫を。</li> <li>15.駐車スペースが少なく利用し にくい。1hは無料だと良い。</li> <li>16.もっと活用を</li> <li>20.駐車場の確保どうする</li> </ul>
14:00	⑤	千本桜 調節池		<ul style="list-style-type: none"> <li>遊休地の活性化</li> <li>花菖蒲園への変身</li> <li>とんぼ、ホタルの棲息 地に！</li> <li>千本桜のメンテナンス をどうやっていくか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>千本桜事業(H18~24予 定)による桜の植樹(県、 市、まちづくり協議会、小学 校、保育園、企業等の参 画)</li> <li>調節池は現在整備中</li> <li>たくさんの野鳥がいる。</li> <li>駅への至近性、地区公園 との水と緑の連続性の観点 から、重要な自然空間で ある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>7.広大。パーベキュー広場、ボ ールを使える公園</li> <li>13.遊水池はウグイス、スズメの 営巣として保存。水枯れを工夫 する必要</li> <li>15.NPOとの協力、話し合いが必 要</li> <li>16.枯れ木が目立つ。</li> </ul>
	⑥	蓮沼川周辺 2号近隣公園 調節池 弁天様		<ul style="list-style-type: none"> <li>花菖蒲園への変身</li> <li>とんぼ、ホタルの棲息 地に！</li> <li>川沿いを散歩コース、 ジョギングコースとして 歩きやすく、快適に！</li> <li>草むしりや沿道の花 植えなどをすればもっと 良くなると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>千本桜の植樹</li> <li>2号近隣公園及び調節池 は現在整備中</li> <li>弁天様の御神木は樹齢 300年</li> <li>⑤、⑥は水と緑のネット ワークの一部となる重要な 空間である。</li> <li>多自然型の川づくり</li> <li>弁天様へのアクセスが悪く 改善が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1.大木2本と弁天様の保存は重 要</li> <li>2.調節池護岸整備、遊歩道</li> <li>3.遊歩道整備、遊水池の有効利 用、グラウンド等</li> <li>4.川沿いの散歩コース賛成。自 然のまなま(アトキ)</li> <li>6.誰もが何の木と違う。エノキ。</li> <li>7.広大。橋が少なく東西分断。移 転した弁天様、弁天様めぐり</li> <li>8.残されていて良かった。継続 を。</li> <li>10.後世に残すための方策が必 要。個人の管理にすると貴重な 資産がなくなってしまう。</li> </ul>

平成24年度資料



時間 (目安)	No 該当箇所・事項 視察のポイント	写真・地図等	みなさんから出 された提案事項	現状 事務局・専門家による提言やアドバイス	視察メモ・感想 (提案の実現に向けてどのよ うな課題がありそうか等)
移動時間	約15分 		★ここまで見てきた箇所を整理してみましょう。		12.日本にもとからある野草が生える公園として残せないか。  16.植樹強化 18.弁天様への遊歩道をつくる 20.弁天様の由来を記したものがほしい
	⑦ 八坂神社  ★旧街道筋(地域の歴史、周辺の歴史文化資源) ★地域のお祭り、中世の歴史文化のある場所		■このエリアの他の史跡等を改めてまわってみても良い。 ■まちあるきイベント等で寺社、地域の古いものを知る機会をつくる。 ■地域を知ることが重要。“かつてここはこのような場所だった”という地域の履歴を残す方策を考え、地歴をまちづくりに活かす。	・葛城、研究学園地区の氏神様 ・500年来の伝統、歴史があり、風情がある。 ・地域のお祭りがある。 ・神社の裏に史跡がある。 ・境内が小野川の水源 ・旧道の名残、古い農家集落と旧家、刈間神田屋敷等、周辺には歴史的資産が数多く存在する。 ・歴史文化遺産マップの作成、案内板の設置等により地域資源を知ってもらう。 ・新旧住民による祭礼継承 ・小中学校等の校外学習	1.宮司さんの話が参考になった。 2.説教、地域のつながりの場として 7.みこし、山車 8.立派な神社だった。 9.学園駅まで新しいルートに、アピール 17.拝殿に上がらせて頂き、歴史の一環を体験させていただいた。 18.歴史を他地区の方々にお伝え頂きたい。 20.案内板の設置がほしい  1.きれいに整備されると良くなる。今は雑然としている感じ。 2.自然木を活かした森林公園としたらどうか？ 3.出来るだけ自然のまま残す。森林浴が出来る散歩道程度で良い。 7.高圧は開閉済みのために、改善者、不法投棄対策のため早急な整備が必要。緑を残す。火気を使う場合、近隣との調整 8.13.保存されると聞いて安心 11.葛城NPO管理検討 12.貴重な雑木林。大幅に手をいれずに残してほしい。 16.17.敷設できるように下草刈り等必要。昆虫、鳥なども残してほしい  20.地主の努力だけでは緑地は減っていくだけ。行政の関与が必要。保全にはNPOの活用も。
	⑧ 公共緑地 予定地  ★雑木林での自然観察、自然保護活動、火気も使える公園等の提案 ★研究学園駅から至近で、緑豊かな公園		■近隣住民、市、民間、大学(野外サークル活動)などの協働によって整備して、ミニアスレチックコースやフチ野外活動場、オリエンテーリングなどのミニプログラム実施等で利用できないだろうか(駅前公園とは違うタイプの公園にする)。 ■木を利用したフィールドアスレチックを作る。	・NPO団体が現在大規模緑地で実施している「オオムラサキの棲む里山づくり」活動の一環として、オオムラサキ飼育の場として活用したいとの申し入れがある。 ・不法投棄等が懸念される。 ・四季の自然にふれあえる散策路、フィールドアスレチック、火気も使える杜の生活体験の場として検討 ・NPO等と連携した地域の活動拠点となるよう検討	3.広い歩道は良いが並木が、けやき等大きくなる。夏は暑い歩道になっている。木陰がほしい。 7.イルミネーション、木が少ないので貧弱な印象。もっと豪華に見せる方法はないのか。駅前公園と同じで遮るものがないので夏は暑く冬は寒くあまり行きたくない。 8.もったいない専用歩道。屋台をスラックと出したら賑わいそう。定期的に。 10.広い歩道を使いたい。何が出来るか。歩いてみてベンチがあるのに気づいた。  14.歩行者空間はイベントができてそうな広さ。
15:00	⑨ 研究学園駅前広場 ~ 葛城駅前広場線  ★花や緑を用いた修景、花づくり活動等の発展性 ★店舗前の空間、広い歩行者空間の活用 ★筑波山を望むことのできる場所		■つくば駅で行っている光の森と同じイルミネーションを駅前からイーストまで設置したら上品な街並みになりそう。 ■駅前の道路の歩道は広く、長さもあるので、飲食関係の出店イベント等はこの辺りを利用して手軽にできないだろうか。 ■ホテル等との協力でまちぐるみのイベントや市民の憩いの場としての活用を！	・駅前広場に面した飲食店舗 ・広幅員の歩行者空間 ・筑波山を望むことのできるシンボルロード ・植栽帯、ベンチ等の整備 ・まちづくり協議会等が中心となって、イルミネーションイベント等を開催している。 ・朝の路上清掃が実施されている。 ・駅前広場、広い歩行者空間等のスペースの活かし方を提言していこう！ ・例えば、店先でのオープンカフェ、地元生産者からの食材マーケット、収穫祭や四季折々のイベント等 ・駅前から筑波山方向の見通し(ピスタ)を確保する。 ・植栽(街路樹、花壇等)やベンチ等の設えは？ 	14.歩行者空間はイベントができてそうな広さ。
	⑩ 1号近隣公園  ※工事中の場合、見られない可能性があります。ご了承ください。 ★駅前シンボルロードからの連続性、並木道、眺望 			・旧高速周回路用地(JARI)内にあった桜並木が残っており、春になるときれい。 ・筑波山への借景を活かす ・桜並木を活かした桜の公園を創出 ・花見の時期に桜まつり等の開催	7.公園ができてから。



時間 (目安)	No	該当箇所・事項 視察のポイント	写真・地図等	みなさんから出 された提案事項	現状	視察メモ・感想 (提案の実現に向けてどのよ うな課題がありそうか等)
					事務局・専門家による提言やアドバイス	
15:40 発		イーアスにて 休憩		★ここまで見てきた箇所を整理してみましょう。 		
	⑪	整備前空き地  ★空き地の利 活用提案（暫 定的な利用）		■ひまわり畑にしてはど うか。 ■スポーツ施設等、健康 的な生活をサポートす るような施設があれば・・・	・現在、大規模な空き地と なっている。 ・低炭素モデル街区とし ての整備が今後進めらる 予定（住宅地、公園、小中 学校等）。 ・大規模な開発であるた め、建築までの間の暫定 的な活用方を検討（花畑、 貸農園等）。 ・イーアス北に位置する 大街区内の建築物への配 慮（駅から筑波山への見 通しが確保されるよう	7.花畑賛成。空き地のま まは避けたい。 15.このあたりに総合ス ポーツセンターがあると 対外的な交流に良いの では。 21.住居地域の再活性化 と新規住居地の未整備 など、遊休地の活性化 など検討課題。大進出 企業の協力の必要性な ど
	⑫	テータ松並木  ★松並木と筑波 山への眺望 ★隣接する調節 池、千本桜・ア ジサイ植栽		■松の巨木、並木が素 晴らしい。市民に心の ゆとりを持ってもらえ るように、周囲にもた くさんの緑をつくり、 維持してほしい。 ■隣接する調節池は花 の池として整備して いきたい。 ■とんぼ、ホタルの棲 息地に！	・2宅地にそれぞれ10 数本の葛城地区内各 地から、印象的な並 木が見え、ランドマ ークとなっている。 ・筑波山への眺望が 得られる。 ・隣接する調節池に は千本桜及びアジサイ の植栽がされている が、雑草も多く育ち にくそうである。 ・おすすめのウォー キング、ジョギング コースでもある。 ・地域の資産として 保存を検討 ・“葛城地区八景”の ひとつとして推奨 ・千本桜運動を継続 していくために、樹 木にナンバー表示と 植えた人のネームプ レートをつけ、今後 の維持管理を協働し て行う。	8.せひ残してほしい。 9.松並木は残すべきだ。 10.木は育つのに時期 がかかる。今あるもの をできるだけ残してく ださい。 13.これだけの松並木 はぜひ保存を。観光に 役立てるのでは？ 16.印象的な並木が ランドマークとなっ ていることが貴重。
	⑬	愛宕様・権現 様 面野井の 集落  ★地域で守り 継がれてきた火と 水の神様 ★地域活動（道 路の手入れ）		■地域を知ることが重 要。“かつてここは このよう場所だった” という地域の歴史を 残す方策を考え、地 歴をまじりに活かす。	・蜂の巣公園から東 南に延びる細い道 路(6尺道路と呼ん でいる)は、散歩道 としても利用され ている。 ・道を挟んで火の 神様と水の神様が 奉られている。 ・面野井の集落 近くにも木立の中 を通る散歩道があ る。 ・地域の人たち による手入れも 行き届いている ようだ。 ・面野井古墳群 では舟形木棺跡 が確認されている。 ・歴史文化遺産 マップの作成、 案内板の設置等 により地域資源 を知ってもらう。	1.こんなところもある のかと思った。どう 利用したら良いか？ 6.昼なお暗き。 7.一般の人では知 り得ない場所。知 っていても入って もいまいか分から ない。 8.奥まっているが 土を踏んで気持ち が良い。 12.昔の面影を残 す良い場所 13.初めて参拝 15.初めて来た。各 集落毎にある？ 18.地元の人だけ しか知らないよう な所。東光台の中 も道が難しい
16:15	①	市役所		6.あまりに地元を 知らず驚き。これ を機会につばを 歩き回りたい。 21.この地の素 晴らしさに気が いた。		
		【本日の視察 について…ま とめのメモ】		10.知らない所、 いつも通って いても気づか なかつた所 など興味深 く見学でき た。		
16:30		閉会		・次回勉強会 のご案内		

お名前をご記入ください。こちらの資料は、後日ご返送いたします。

ご氏名



# 「みんなで始めるまち育て」 第4回 勉強会

## 【第4回勉強会】 地域資源マップの共有

開催日時：平成24年12月4日（火） 14：15～16：30

開催場所：イーアスつくば イーアスホールA

参加者数：24名 コーディネーター他 16名

「勉強会内容」

### 1.開会

### 2.概要説明（地域資源マップの共有）

第3回目までの勉強会を通して得られた地域資源マップを見ながらまちづくりのポイントや他地区のまちづくり事例を示し、葛城地区でのまちづくりビジョンづくりについて説明。その後4つのグループに分かれてやってみたいプロジェクトなどについてワークショップを行った。

グループ分け方法は、事前に新旧・男女比等、バランスをみて1グループ5から6人にて構成。それぞれのグループにファシリテータを2名ずつと記録係1名を配置。つくば市の方には、オブザーバーとし全体を観察していただいた。

### 3.ワークショップ

地域資源を落とし込んだイラストマップを各グループに配置し、地域資源を再確認。これまでの意見等より葛城の地域資源は、「みどり資源の活用」、「駅前センターの活性化」、「歴史文化資産の活用」の3つの視点に特徴づけられることを理解。それらの視点とともに、新たな視点や資源について、これからどのように活用していくか、どんな活動をしていきたいか、また新たな資源やテーマについて自由に付箋に記入しながら、さまざまな意見交換を行った。

### 4.グループごと発表とまとめ

### 5.今後の予定

ワークショップグループごとまとめ・意見

#### 【Aグループ】

- ・もともとの自然を大事にした管理をしていきたい。 ・市民を巻き込んだ管理
- ・生き物がぎわう水辺づくり ・マップ作り（歴史資産マップや、パワースポットマップなど）
- ・遊歩道や、散歩道づくり ・通り(道路) に名前（愛称）をつける ・農家の朝市 など

#### 【Bグループ】

- ・林の整備や千本桜育成 ・野外活動 ・水辺づくり
- ・マップづくり（サイクルマップ・お散歩マップ） ・オープンカフェやマルシェ ・高架下の活用
- ・道路や公園の愛称を考える（募集） ・サイバートウン など

#### 【Cグループ】

- ・いろんな研究所、地域の専門家による人材を活用し（学ぶ機会をつくる）、緑の再生
- ・生き物がたくさんいる ・出会い、広場（プラザ）の文化でつくば全体をいきいきと。
- ・桜祭りなどのお祭り ・つくばスタイル館（古民家）の活用 ・「つくば恋歌」を作る など

#### 【Dグループ】

- ・まち全体が公園に！ ・緑を豊かに緑の中をゆっくり散歩できるまちに
- ・駅前の賑やかさ。わざわざ来なくなるオープンカフェ、地元野菜の朝市
- ・市民参加の花壇作り ・遊歩道や散歩道づくり など

ワークショップ全体の感想

研究会座長

まちづくりビジョンとは、「まちの未来への恋歌を描き、唄うことである」の提案

→Cグループ発表者より「つくば恋歌」を作る、提案。

- ※ つくばに移り住んで約2年、この地を「ふるさと」としたいと思っている。  
ふるさととして愛着を持ち、充実した生活にするために「歌」を作りたい。

〈当日の様子〉



平成24年度資料



平成24年12月4日  
第4回勉強会

葛城地区のまちづくり

**みんなで始める  
まち育て**

～葛城まちづくりビジョン～

**勉強会の流れ**

第1回勉強会 平成24年5月 勉強会の趣旨説明をしました。

第2回勉強会 平成24年7月 モニターから集めた地域資源情報を活かして、どんなプロジェクトができるかを考えました。

第3回勉強会 平成24年10月 「まち歩き」を通して、地域資源の状況を確認しました。

第4回勉強会 平成25年12月 **いままでの情報を整理した「地域資源マップ」とプロジェクト案について、さらに深めます！**

第5回勉強会 平成25年2月？ まちづくりビジョンを整理し、テーマごとにプロジェクトを実現する方法を話し合います。

**葛城まちづくりビジョン、スタート！**

まちづくりにおける  
**6つのポイント**

- ① 市民協働のまちづくり
- ② 健康的なライフスタイルの実現
- ③ 環境配慮への取り組み
- ④ 芸術文化・歴史文化資源の評価、活用
- ⑤ 景観の向上
- ⑥ まちづくりビジョンの共有化

**まちづくり事例 ～越谷レイクタウン～**

湖(洪水調節池)とショッピングモール  
URのニュータウン事業(226ha)  
国際的な『住みよいまちづくりコンテスト(リゾムアワード)』で金賞受賞





**まちづくり事例 ～越谷レイクタウン～**

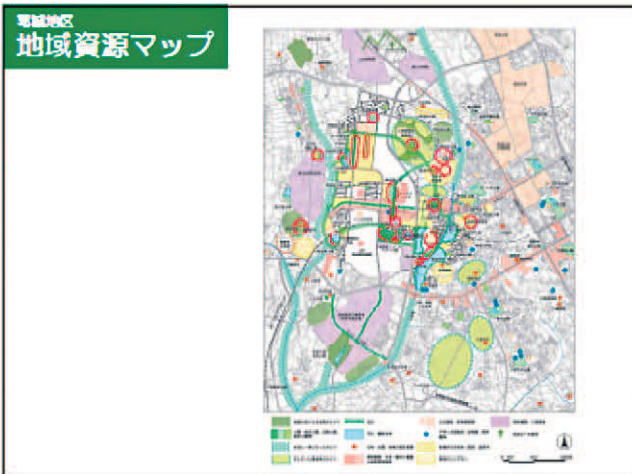
地域との協働で、まちづくりを推進



**「葛城」では?!**

- ① **できること**から始めよう
- ② **新たなテーマ**を発掘しよう
- ③ **まちづくりビジョン**を共有化しよう

**まずは、  
地域資源マップをチェック!!**



ディスカッション・タイム  
ワークショップのテーマ

「〇〇があったら楽しい！」  
「〇〇をやってみよう！」  
を考えてみよう！

①みどり系 ②センター系 ③歴史系  
それぞれにおいてアイデアを出し合います！











平成24年度資料



ディスカッション・タイム

ワークショップのテーマ

「〇〇があったら楽しい！」  
「〇〇をやってみたい！」  
を考えてみよう!

①みどり系 ②センター系 ③歴史系  
それぞれにおいてアイデアを出し合います!



葛城地区  
**地域資源マップ**





## 「みんなで始めるまち育て」勉強会 アンケート集計結果

目的：これから始めようとするテーマ別のWSにつき、グループ分けを立案する資料とする。  
 期間：平成24年12月13日郵送 回答締め日=平成24年12月26日  
 1月8日までの返信を集計の対象とした。  
 対象：モニター登録者全員

回答数：配布総数= 126件      回答数= 57件    45.2%

回答集計結果：

- 【1】 第4回勉強会の内容について（資料参照）  
 地域資源についての説明はわかりやすかったですか？

	(件)	構成比
1. わかりやすかった	44	77.2%
2. どちらともいえない	10	17.5%
3. 難しかった	0	0.0%

無記=3件

- 【2】 ワークショップについて  
 【第4回勉強会 参加者用設問】  
 1) グループごとのワークショップはいかがでしたか？

	(件)	構成比
1. とてもよかった	17	85.0%
2. どちらともいえない	1	5.0%
3. つまらなかった	1	5.0%

無記=1件

- 2) 特によかったところ、つまらなかったところはどんなところですか？  
 ※ 記述回答 17件

- 【2】 これまでの葛城まち育て勉強会について  
 【第4回勉強会 不参加者用設問】  
 1) これまでお送りした地域資源情報や資料は参考になりましたか？

	(件)	構成比
1. とても参考になった	25	67.6%
2. どちらともいえない	10	24.3%
3. 参考にならなかった	0	0.0%

無記=2件

- 2) 特に参考になったことなどありましたらご自由にお書きください。  
 ※ 記述回答13件

【3】 まちづくり活動のためのワークショップ参加について

1) 今後、まちづくりについて分野ごとのワークショップが開催される予定ですが、参加したいと思いますか？

	(件)	構成比
1. ぜひ参加したい。	13	23.2%
2. 都合が合えば参加したい	29	51.8%
3. 参加できるかわからないが、広報はしてもらいたい。	9	16.1%
4. 参加できない	5	8.9%

無記=1件

2) 下記に挙げた分野や活動例について、もっともやってみたいテーマや活動には◎を  
その他興味があるテーマや活動などありましたら、いくつでも○を付けてください。

《全回答者》

	テーマ		活動例		
	◎	○		◎	○
緑系 (環境系)	15	21	・雑木林保全・活用 (植生・学びの場)	5	14
			・千本桜活動	0	10
			・植樹・花壇	4	9
			・公園、池活用	4	8
センター 活性化	14	28	・四季折々のイベント	3	21
			・駅前オープンカフェ・マルシェ (朝市)	8	12
			・街路樹、花づくり、美化活動	2	7
			・高架下の活用	2	9
歴史文化 系	9	23	・歴史文化遺産まち歩きマップ	5	15
			・歴史散策お散歩(サイクリング) コースづくり	3	19
			・新たな文化発信 (パンのまちつくばなど)	2	11
その他	11	25	・道路や公園の愛称をつける	4	6
			・環境・エコ・科学のまちづくり (サイバータウン)	1	11
			・子育て・高齢者支援	3	19
			・景観の向上・保全	2	12

【3】 やってみたいテーマや活動、その他自由意見

※ 記述回答17件

以上

「みんなで始めるまち育て」 第5回 勉強会

【第5回勉強会】 葛城まちづくりビジョンについて・テーマ別ワークショップ

開催日時：平成25年2月8日（金） 14：30～16：30

開催場所：イーアスつくば イーアスホールA・B 参加者数：25名 コーディネーター他 16名

「プログラム・勉強会内容」	<p>1.開会 2.第4回勉強会のまとめ 3.葛城まちづくりビジョン「グリーンネックレス構想」（案）についての説明 4.テーマ別ワークショップ（緑・タウンセンター・歴史文化）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第4回勉強会後にモニター全員に行った、興味のあるテーマについてのアンケートに基づきグループ分けされたメンバーにてテーマごとに具体的なプロジェクトについて話し合った。</li> <li>・各グループにファシリテーター2名を配置し、研究会メンバーも適宜配置。つくば市は、オブザーバーとして全体観察</li> </ul> <p>ワークショップの目的・視点</p> <p>緑系グループ・・・シンボルプロジェクトについて現状の確認。 緑を育むために、プロジェクトの進め方や思いを共有</p> <p>タウンセンター系グループ・・・駅前スペースの使い方 葛城地区内の既存の活動、団体、内容等を知る。 これから取り組みたいと考えている活動をどのように実現していくか。 まちづくりに関わる主体を理解する。</p> <p>歴史文化系・・・シンボルプロジェクトの再確認 どのようなマップを作るか。 H25年度活動計画（案）の検討</p> <p>5.今後の予定</p>
---------------	--

「勉強会での意見など」	<p>ワークショップ内容 （みどり系） 千本桜プロジェクトについて、「NPO研究学園・葛城」より現状と課題についてお話しいただいた。 植栽後の管理をどうするか、情報提供する方法がなく、困っている。</p> <p>（タウンセンター） 現在研究学園駅周辺で行われている活動・活動団体について地元の方からお話しいただいた。</p> <p>（歴史文化） マップ作りをするかどうかも含め、どのような方向にするか話し合った。</p> <p>ワークショップエピソード （みどり系） 千本桜プロジェクトの紹介に時間を要し、市民緑地は話し合いが十分できなかった。</p> <p>（タウンセンター） 参加者の一人が自分の提案が無視されたと、異議。シンボルプロジェクトが絞り切れなかった。</p> <p>（歴史文化） マップ作りの目的がはっきりしない。自分たちの地域の自慢マップを作ることでもまずは落ち着いた。</p>
-------------	--



〈ワークショップでの意見とグループごとの資料〉

### みどり系

ワークショップ資料

葛城まち育て第5回勉強会平成25年2月8日

#### みどり系グループ ワークショップの流れ

##### 本日の目標

- シンボルプロジェクトについて、現状を確認しよう！
- みんなで緑を育むために、プロジェクトの進め方や想いを共有しよう！

**step1**

シンボルプロジェクトの確認

- 市民緑地における市民協働による環境整備・維持管理
- 千本桜プロジェクト

**step2**

みんなで緑を育むには？

- 他地域で行われている事例を見てみましょう！

**step3**

みんなでワークショップ

- プロジェクトへの進め方や想いを共有しよう！

みどり系グループワークショップでは、シンボルプロジェクトとして「千本桜プロジェクト」と「民有緑地における市民協働による環境整備・維持管理」の2点について話し合った。

【民有緑地における市民協働による環境整備・維持管理】  
平成25年度春以降のワークショップを通して、市民・地域団体の皆さんと今後の保全活用や計画について話をしていく旨を説明。今後…雑木林保全・活用ワークショップの開催（平成25年4月～6月）  
ワークショップ後、担い手づくりの検討（秋期）。



【千本桜プロジェクト】

現状…「NPO法人研究学園・葛城」が各調整池の周辺に千本桜の植栽を実施中。  
環境省主催「みどり香るまちづくりコンテスト」より無償で1000本の苗を譲り受け現在約600本を植栽。  
平成26年3月まで実施予定。桜の間にアジサイも植栽中  
課題…植栽後の管理（下草刈り・病気）をどうするか。情報を提供する方法が少なく、限られた人のみへの情報提供にとどまっている。  
意見交換…活動への参加方法がわからない。次回植樹会（H25.3.7）について、モニターにも情報提供しよう。  
（第5回参加者へ連絡済み）



### タウンセンター活性化系

ワークショップ資料

#### タウンセンターの活性化

【本日のワークショップの視点・狙い】

- 駅前一帯のスペースの使い分け（オープンカフェ、マルシェ、まちづくり、イベント等）のあり方
- タウンセンター、周辺地区の既存の活動の現状、課題、イベント等と整理
- これらから何が面白い（楽しみたい）と考えている活動などについて実施していくか、目的・活動目標などのようにネットワーク化しているか。
- まちづくりに関する主体を整理する。

1. シンボルプロジェクトの考え方

- 既存イベントの強化・連携、新たなイベント創出による賑わいづくりプロジェクト
- 駅前オープンカフェ・駅前マルシェ（地元農家の朝市）プロジェクト
- 駅前広場・駅前通りの環境向上プロジェクト

2. 優先プロジェクトを考えよう

既存のイベントの強化・連携 新たなイベント創出	駅前のオープンカフェ マルシェ（地元農家の朝市）	駅前広場・通りの環境向上
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ センター付近において新しく創出されている活動について</li> <li>○ 今後、一緒に実施・連携して考えてみるための、新たなイベントとして創出できる活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ オープンカフェの可能性</li> <li>○ マルシェ（朝市）の活性化</li> <li>○ 長寿館にどうしたら実現できるか</li> <li>○ どこで？（場所）</li> <li>○ 誰が？（参加主体）</li> <li>○ いつ？（時期）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 駅前から駅前1kmの範囲の、環境問題、応えたいこと</li> <li>○ 賑わいの活動の活性化（企画、実施のスケジュール、後の整理などの関係など）</li> <li>○ どこまで？（範囲）</li> <li>○ 誰が？（参加主体）</li> <li>○ いつ？（時期）</li> <li>○ どうしよう？</li> </ul>

3. 課題の整理

- プロジェクトの整理と関係
- 活動に結びつける際、互いからのワークショップの進め方（組織づくり）
- 実行計画の整理

タウンセンター活性化系グループでは、「既存イベントの強化・連携、新たなイベント創出による賑わいプロジェクト」、「駅前オープンカフェ・駅前マルシェ（地元農家の朝市）プロジェクト」、「駅前広場・駅前通りの環境向上プロジェクト」の3つについて話し合った。

【既存イベントについて】  
まちコン（つくコン）の開催。昨年より計4回、研究学園駅周辺の飲食店（約20店舗）を会場とし、男女各500人が参加。  
研究学園駅前イルミネーション  
千本桜まちづくり事業、防犯パトロール。緑地管理 など

【課題と提案】  
課題…①イベント時の駐車場不足、②イルミネーションの底上げ、③駅前オープンカフェ・マルシェの実現④環境美化  
提案…①週末祝日のイベント開催時などには、市役所駐車場を利用できないか。  
（駅前→市役所→イーアスなど一帯を回遊できるように）  
③特産品のマーケットプレイスを割り当てる。  
④駅前等の清掃美化活動（駅前やまちかどで花を美しく）



**歴史文化・地域資源系**

ワークショップ資料

歴史文化資産を含む地域資源をまちづくりに生かした「マップづくりプロジェクト」

**目的:** 地域の歴史文化資産を、まちづくりに生かすための「マップづくりプロジェクト」を実施し、地域資源をまちづくりに生かす。

**【今日のWSテーマ】**  
 ・自分の住んでいるまちの歴史文化資産をまちづくりに生かすための「マップづくりプロジェクト」の目的  
 ・自分の住んでいるまちの歴史文化資産をまちづくりに生かすための「マップづくりプロジェクト」の目的

ステップ1 結核会事務局のホームページ	ステップ2 目標を決める	ステップ3 自分の住んでいるまち
<p>プロジェクトの目的</p> <p>このまちの歴史文化資産をまちづくりに生かすための「マップづくりプロジェクト」を実施し、地域資源をまちづくりに生かす。</p>  <p>このように歴史文化資産をまちづくりに生かすための「マップづくりプロジェクト」を実施し、地域資源をまちづくりに生かす。</p> <p>歴史文化系グループのワークショップ資料… マップづくりの目的</p>	<p>自分の住んでいるまちの歴史文化資産をまちづくりに生かすための「マップづくりプロジェクト」の目的</p> <p>歴史文化資産…神社仏閣、史跡、その他              自然環境…川、池、山、谷              産業遺産…工場、倉庫、駅、港              近代化遺産…洋館、洋風建築、洋風住宅              近代化遺産…洋館、洋風建築、洋風住宅</p> <p>自分の住んでいるまちの歴史文化資産をまちづくりに生かすための「マップづくりプロジェクト」の目的</p> <p>自分の住んでいるまちの歴史文化資産をまちづくりに生かすための「マップづくりプロジェクト」の目的</p>	<p>自分の住んでいるまちの歴史文化資産をまちづくりに生かすための「マップづくりプロジェクト」の目的</p> <p>自分の住んでいるまちの歴史文化資産をまちづくりに生かすための「マップづくりプロジェクト」の目的</p> <p>自分の住んでいるまちの歴史文化資産をまちづくりに生かすための「マップづくりプロジェクト」の目的</p> <p>自分の住んでいるまちの歴史文化資産をまちづくりに生かすための「マップづくりプロジェクト」の目的</p>

歴史文化系グループでは、主に、歴史文化資産を含む地域資源をまちづくりに生かした「マップづくりプロジェクト」について話し合った。

- 【意見・提案】**
- 意見…**自分の住んでいるまちのことを知りたい。  
 ・この地域の歴史を勉強したい。  
 ・新しい文化に興味がある。  
 ・マップづくりがメインでいいのか？  
 ・歴史文化を勉強しながらマップにしていきたい。  
 ・マップ作りの目的と対象をどうするのか？など
- 提案…**マップ作りの目的を決める。  
 自分たちの地域の地域資源マップ  
 "自慢マップ"を作る  
 マップを使って〇〇する。  
 案内板を作ってコースを設定するなど

平成24年度資料





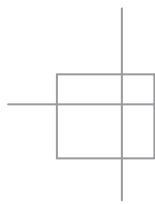
「みんなで始めるまち育て」第4回勉強会の意見まとめ	テーマ 活動のキーワード	A班	B班	C班	D班
1	みどりの資源・水辺環境 自然 緑地整備、緑地管理 水辺(通沼川、調整池)の開放 生物の生息域 街路樹、花壇 遊歩道、散歩道 ハイキング、ウォーキング サイクリング (健康づくりと強く関連) 千本桜、花見 野外活動、自然体験、教育 花植え	元々の自然を大事にした管理 天規模緑地 ●元々の野草を大事にしたい。 ●落葉、野草も種類が多い気がする。 ●自然観察や散策、自然体験などの出来る森林づくり。 ●子供たちの小キキヤンプ場 民有緑地 ●民有緑地の活用。野草の生えている場所にした。 ●市民を巻き込んだ管理 ●ボランティアを募って管理してはどうか?行政と一緒に。 ●市のコンテストあるといい! ●千本桜の継続、市・行政の植栽、土地の開放。 ●アダプト制度やコミュニティガーデンとしての管理も考えたい! ●街路樹下の花など家の近くのものは市民でできるといい! ●まちづくり協議会を中心としたまちづくりグループとの連携によるイベントづくり(千本桜植栽、イルミネーション)。	林の整備 ●自然林の整備(遊歩道など) ●森の整備(子供が入れられるような) ●野草や野鳥も楽しめる林に ●野鳥の観察会 野外活動 ●子供たちの野外活動 ●オリエンテーリング、ネイチャーツアー、きもだめし、ハロウィン ●ミニキャンプ 千本桜育成 ●千本桜の育成 ●桜がのびり見物できるスペース 遊歩道・散歩道 散歩道づくり、下草刈り ●公園～神社参道 ●みんなの下草刈り(市道) ●さんぽみち、参道の下草刈り ●山林道の下草の除去と山林の枝切り ●作業としてみんなが協力 水辺の活かし方 ●野鳥の観察会 ●野生のキジ保護 ●通沼川近隣のホテル狩り ●魚の見えぬ川に! ●子供が川遊びできる川 ●通沼川周辺、パーベキュー広場 ●通沼川沿い、周遊サイクリングロードづくり	こんな風につかいたい! (人材を活用) (学ぶ機会) ●いろんな研究所、地域の専門家 ●緑を再生させる ●れんげ畑があつたらいいなあ! ●緑地の実を広めたい。 ●水ホーの会を開きたい。子供参加 ●緑地でBBQの会合を開きたい。 ●子・ダ松延長 40~50年 ●駅裏公園(地区公園)にやまも、桑、ひわなどの実が食用の植樹をしてほしい。 ●駅裏公園(地区公園)の大地の真ん中の通路に観察長屋(ガラス張り)がほしい。 ●アケビの実を取って話の種にしたらモリモリでした。 ●緑をつなげる遊歩道 ●いろんな研究所のOBOBさんたちに来てもらって講座 ●きちんと生き物、植物のことを知った上で作業しよう。 生き物たくさん! ●キジ、ヒバリ ●ヒバリの巣立ちとつきあった。 ●昨日、今日はセキレイが来ている。 ●子・ダ松で狩、ハイタカ ●桜館の向かい側、オオカキのファミリーの活用場所 ●キジの家族を大切にしたい。 ●フクロウ少し減ってきている。 出ない、広場(プラチナ)の文化 他の地域の文化、特産品が集う ●一 つは全体をいさぎよ、	まち全体が公園に! 緑で囲まれるまち ●緑を豊かに。緑の中をゆくり散歩 ●林、散歩道明るく ●神社まわりも明るく ●うっそうとしているとなかなか行けない。 ●雑木林、公共民有緑地の手入れ ●雑木林の中に入れてほしい。 ●みんなで作業のあとで食べたり。 ●緑地での教育、小中学校の実習。 ●通沼川の土手にグラウンドカバーの草花を植えています。少しずつ拡張していきたい。 ●駅前一大きな木一つくばの木(けやき)
2	タウンセンターの活性化 駅前広場の広い空間 オーブンカフェ マルシェ(市)、地元の特産物 ペンチ 花づくり(1とも関連) TX高架下スペースの活用 イベント(テーマ型、四季型) 既存グループとの連携 地域、市民の活動への参加 まつり 駅～イースト～1号近隣公園 つくばスタイル館	元々の自然を大事にした管理 天規模緑地 ●元々の野草を大事にしたい。 ●落葉、野草も種類が多い気がする。 ●自然観察や散策、自然体験などの出来る森林づくり。 ●子供たちの小キキヤンプ場 民有緑地 ●民有緑地の活用。野草の生えている場所にした。 ●市民を巻き込んだ管理 ●ボランティアを募って管理してはどうか?行政と一緒に。 ●市のコンテストあるといい! ●千本桜の継続、市・行政の植栽、土地の開放。 ●アダプト制度やコミュニティガーデンとしての管理も考えたい! ●街路樹下の花など家の近くのものは市民でできるといい! ●まちづくり協議会を中心としたまちづくりグループとの連携によるイベントづくり(千本桜植栽、イルミネーション)。	水辺の活かし方 ●野鳥の観察会 ●野生のキジ保護 ●通沼川近隣のホテル狩り ●魚の見えぬ川に! ●子供が川遊びできる川 ●通沼川周辺、パーベキュー広場 ●通沼川沿い、周遊サイクリングロードづくり	まち全体が公園に! 緑で囲まれるまち ●緑を豊かに。緑の中をゆくり散歩 ●林、散歩道明るく ●神社まわりも明るく ●うっそうとしているとなかなか行けない。 ●雑木林、公共民有緑地の手入れ ●雑木林の中に入れてほしい。 ●みんなで作業のあとで食べたり。 ●緑地での教育、小中学校の実習。 ●通沼川の土手にグラウンドカバーの草花を植えています。少しずつ拡張していきたい。 ●駅前一大きな木一つくばの木(けやき)	まち全体が公園に! 緑で囲まれるまち ●緑を豊かに。緑の中をゆくり散歩 ●林、散歩道明るく ●神社まわりも明るく ●うっそうとしているとなかなか行けない。 ●雑木林、公共民有緑地の手入れ ●雑木林の中に入れてほしい。 ●みんなで作業のあとで食べたり。 ●緑地での教育、小中学校の実習。 ●通沼川の土手にグラウンドカバーの草花を植えています。少しずつ拡張していきたい。 ●駅前一大きな木一つくばの木(けやき)
3	歴史文化遺産 地域資源マップづくり (1と強く関連) 歴史資源へのアクセス性 地歴を示す標示 歴史教育・講座 古民家活用 健康的な暮らし、健康づくり 情報発信、コミュニケーション、交流 地域への愛着 (道路・緑地・公園などの愛称、歌...) つくばならではの特性 (サイハイタウン、研究機関、大学、空閑地活用、景観...)	元々の自然を大事にした管理 天規模緑地 ●元々の野草を大事にしたい。 ●落葉、野草も種類が多い気がする。 ●自然観察や散策、自然体験などの出来る森林づくり。 ●子供たちの小キキヤンプ場 民有緑地 ●民有緑地の活用。野草の生えている場所にした。 ●市民を巻き込んだ管理 ●ボランティアを募って管理してはどうか?行政と一緒に。 ●市のコンテストあるといい! ●千本桜の継続、市・行政の植栽、土地の開放。 ●アダプト制度やコミュニティガーデンとしての管理も考えたい! ●街路樹下の花など家の近くのものは市民でできるといい! ●まちづくり協議会を中心としたまちづくりグループとの連携によるイベントづくり(千本桜植栽、イルミネーション)。	水辺の活かし方 ●野鳥の観察会 ●野生のキジ保護 ●通沼川近隣のホテル狩り ●魚の見えぬ川に! ●子供が川遊びできる川 ●通沼川周辺、パーベキュー広場 ●通沼川沿い、周遊サイクリングロードづくり	まち全体が公園に! 緑で囲まれるまち ●緑を豊かに。緑の中をゆくり散歩 ●林、散歩道明るく ●神社まわりも明るく ●うっそうとしているとなかなか行けない。 ●雑木林、公共民有緑地の手入れ ●雑木林の中に入れてほしい。 ●みんなで作業のあとで食べたり。 ●緑地での教育、小中学校の実習。 ●通沼川の土手にグラウンドカバーの草花を植えています。少しずつ拡張していきたい。 ●駅前一大きな木一つくばの木(けやき)	まち全体が公園に! 緑で囲まれるまち ●緑を豊かに。緑の中をゆくり散歩 ●林、散歩道明るく ●神社まわりも明るく ●うっそうとしているとなかなか行けない。 ●雑木林、公共民有緑地の手入れ ●雑木林の中に入れてほしい。 ●みんなで作業のあとで食べたり。 ●緑地での教育、小中学校の実習。 ●通沼川の土手にグラウンドカバーの草花を植えています。少しずつ拡張していきたい。 ●駅前一大きな木一つくばの木(けやき)



テーマ 活動のキーワード	A班	B班	C班	D班
	<p><b>祭</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>駅前ハザー(フリーマーケット)</li> <li>駅前通路でのイベント、おまつり</li> <li>おひなさま、こいのぼりなど四季の行事</li> <li>料理、歴史や四季の行事</li> </ul> <p><b>集</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>集まりやすい集会所があるといい!</li> <li>つくばスタイル館、使い易くしてカルチャーセンター(公民館)に。</li> </ul>	<p><b>祭</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>駅前～イーアスを一体化、活用</li> <li>駅～イーアス間</li> <li>花、アート、ロボットを並べる。</li> </ul> <p><b>集</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市役所の広い歩道をイベントに活用</li> <li>イベント</li> <li>オリジナル盆踊り、(地域的に)ロボットダンス?</li> <li>子供が楽しめるような祭り、みこし</li> <li>ビールフェスタ</li> <li>B級グルメ</li> <li>ラーメンフェスタ</li> </ul> <p><b>歴</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>つくばスタイル館の活用</li> <li>子供会での活用</li> <li>もちつき大会</li> <li>国際交流</li> <li>そば打ち</li> <li>お寺に注目</li> <li>(地域の)古民家活用、風土庵</li> </ul> <p><b>愛音</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>みんなで名前を考える、募集する。</li> <li>まず道路、緑地、公園などに名前、名称を。親しみが湧く、利用</li> <li>道路、信号に名前を付ける。</li> <li>市が(つもらない)名前を考える前に!</li> </ul> <p><b>特</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日光連山の景観</li> <li>サイバータウン、大学等</li> </ul> <p><b>利便</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>他にばないまちづくりビジョン「ロボットと環境の融合」</li> <li>サイバーデザイン社、サイバーシティ葛城</li> <li>名物(サイバーダンス、ロボットまんじゅう)</li> <li>大学とのタイアップ</li> </ul> <p><b>空</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>空地の活用</li> <li>ひまわり畑、コスモス畑</li> <li>花火大会の継続</li> </ul>	<p><b>祭</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>駅前広場で音楽イベント</li> <li>桜まつり</li> <li>桜まつりのメイン会場はイーアス前の1号近隣公園</li> <li>1号公園オーブン時におまつりをする</li> </ul> <p><b>集</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>つくばスタイル館の活用</li> <li>古民家スタジオ</li> <li>「伝える場」</li> <li>NPOやいろんな活動の情報窓口がある</li> <li>と良いな! スタイル館はどうだろうか?</li> <li>つくばスタイル館でこの地域の歴史講座を行う。</li> </ul> <p><b>歴</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>つくばスタイル館で健康体操教室、老化予防</li> </ul> <p><b>健</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子供と老人の集う場があったらいいなあ。</li> <li>ジョギングする周回コース</li> <li>テニスコート</li> <li>ドッグラン</li> </ul> <p><b>古民家の活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>桜センターで見学した「藍染め」が実際につくれるような施設</li> <li>いらなくなった古民家をもっと集めて美術工芸塾、作業所をつくってほしい。</li> <li>史跡、文化財にもっとお金をつけて大切にしたい。</li> </ul> <p><b>愛音</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『つくば恋歌』歌をつくる</li> </ul> <p><b>利便</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>乾電池の充電ができる機械を置いてほしい。</li> <li>郵便局、使いやすいところほしい。</li> </ul>	<p><b>祭</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>祭りがあると良い。</li> <li>小さな子供たちが多いので地元のお祭りに入れてもらえると良い。</li> <li>古民家の楽しみ、昭和生活を楽しむ。</li> </ul> <p><b>集</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康(高齢者も参加できる様な)体操など、歩いて集まれる場所、時間、設定して!</li> </ul>
				<p><b>七</b> タウンセンターの活性化</p> <p><b>水</b> 水辺環境資源</p> <p><b>歴</b> 歴史文化資産</p> <p><b>複</b> 複合的な要素</p> <p>【表示の見方】</p> <p><b>緑</b> みどりの資源</p> <p><b>水</b> 水辺環境資源</p> <p><b>歴</b> 歴史文化資産</p> <p><b>複</b> 複合的な要素</p> <p><b>健</b> 健康的な暮らし、健康づくり</p> <p><b>愛音</b> 愛称の命名</p> <p><b>特</b> つくばならではの地域特性</p> <p><b>利便</b> その他</p>







平成 25 年度

## テーマ別グループの活動

- (1) 全体の活動経緯
- (2) みどり系グループの活動概要
- (3) タウンセンター系グループの活動概要
- (4) 歴史文化・地域資源系グループの活動概要





## (1) 全体の活動経緯

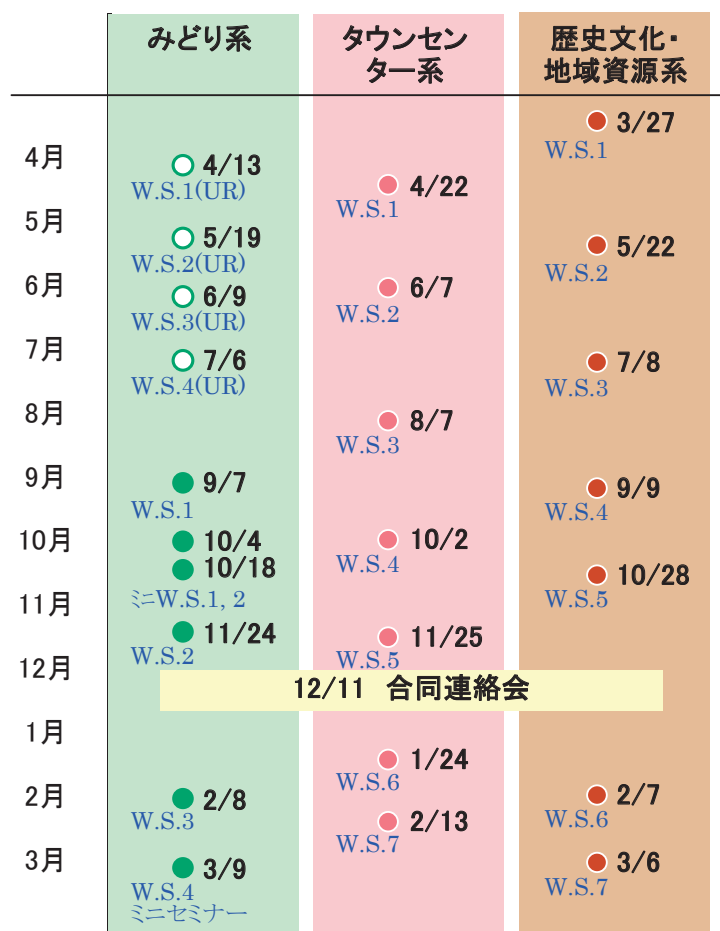
平成 25 年度は、まち育て事業の先導的なモデルとして、各グループで以下の 3 つのテーマに基づいてワークショップを開催し、グループから活動団体としての組織化、できることから始める活動（シンボルプロジェクト）について参加者間で議論しあい、活動を行った。

□先行的に取り組む 3 つのテーマ

◇ みどりの計画	みどり系グループ
◇ タウンセンター活性化計画	タウンセンター系グループ
◇ 歴史・文化・地域資源を活かす計画	歴史文化・地域資源系グループ

平成 25 年度に開催されたテーマ別グループのワークショップ等は以下のとおりである。

□3 グループのワークショップ等の開催経緯



※その他、個別での調査活動、打ち合わせ等が実施されている。

## (2) みどり系グループの活動概要

平成 25 年度のみどり系グループの活動は、グリーンネックレスのビジョンに基づき、「森」「花」「農」のあるまちづくりの一環として、タウンセンター系グループのイベントと併せた花壇づくりミニワークショップを行った。この民地での花植え活動をきっかけに、その後、市道での植栽管理へと取組みが進展しつつある。

**花植え活動第1弾!**

みどりのまちづくり「花」・「森」・「農」を育もう!  
ミニワークショップ開催!

【内容】  
緑のまちづくりの第1弾として、ボンパドウルつばばな店さんのご協力のもと、市民協働による花壇づくりを行います!  
【開催日】 ※全2回  
第1回 10/4(金) 10:00~12:00  
『みんなで花壇デザインを考えよう!』  
場所:水戸信用金庫 会議室  
第2回 10/18(金) 時間未定※  
※開始時間は10/4にお知らせします!18日のみ参加希望の方は10/4以降事務局までお問い合わせください。  
『みんなで花壇に花を植えよう!』  
場所:ボンパドウルつばばな店駐車場  
持ち物:園芸、帽子、飲み物、タオル、作業しやすい服装(長袖、長ズボン)※サンダル不可

ココにお花を植えます!

主催: 東城市民協 緑のネックレス推進市民グループ  
協力: 1999年 APO 市民協  
事務局: 東城市民協 緑のネックレス推進市民グループ (Tel: 03-581-0311)  
事務局

### ★ボンパドウル花壇 (H25.10月)



### (3) タウンセンター系グループの活動概要

平成25年度のタウンセンター系グループの活動は、駅周辺街区をより魅力的で活気あるエリアとするために、賑わいづくり、界限づくりが可能な場所や地域資源を現地調査やまちあるきを通して現状を把握した上で、グループとしてこれから取り組んでいくプロジェクト案としてまず次のような活動が想定された。

- イルミネーションの改善
  - … デザインコーディネートによる魅力向上
- 駅前空間、歩行者空間などを活用したオープンカフェなど
  - … 先行モデルの検討
- 駅前空間、歩行者空間、沿道空間などの環境美化、環境改善、修景
  - … 街路樹や花による演出で豊かで華やかな空間とする。
  - 沿道の駐車場の設えなど、民地側の緑化空間の改善策を提案する。
- 新たなイベントや活動の創出
  - … 先行モデル、場所等の検討

それぞれの事業は、実現に向けて、先行して活動している団体等との調整や連携可能性、管理者（市）との調整、地権者との調整、活動組織づくり、資金調達等の課題をクリアする必要がある、活動スタートには様々な準備、実現に向けた具体的なプランや事業計画が必要である。そのため、それら個々のプロジェクトが、どのような考えのもと実施されるのかを明確にするため、前年度作成されたまちづくりビジョンに基づき、タウンセンターの活性化計画（まちづくり構想）を作成することとした。

当該地区では、センター地区協議会、NPO等の既存の団体が類似する目的で活動を進めており、当グループがどのような組織として、また互いにどのような役割を担い活動していくのが望ましいか等については慎重に検討し、適時、当グループメンバーである協議会会長、NPO会長とともに協議の場を設けた。

第3回目 W.S.にて、できることから具体の活動をしていくことでメンバーの意見が一致し、

- ポンパドウルイベントの企画、開催
  - タウンセンターの地域資源マップ作成
- を活動の大きな柱とすることとした。

ポンパドウルイベントは、地権者のご協力を得て、店舗内及び敷地をお借りし、パンとワインと音楽、交流を楽しむことを目的とした第一弾のイベントを10月に開催した。

また、地域資源マップ作成にあたっては、タウンセンターの地域資源の一つである街路空間、沿道空間、街路樹などに着目し、地域の樹木医のご協力を得て共に樹木調査を行い、緑の実態を把握した（9月実施）。



# パンとワインと音楽と

ポンパドウルの焼きたてパンと筑波ハム、  
フルート奏者ジャズピアニストによるミニコンサート

10/22

火

16:00～18:00

会場：ポンパドウル  
つくば店駐車場

(雨天中止の場合は、  
ブログ「葛城まちづくりグリーンネックレス構想～」  
<http://katsuragitown.tasukubach/>でお知らせします)

料金：1,500円

(予約制 先着70名様)  
(数種類の焼きたてパンと筑波ハムのセット  
ソフトドリンク付き)

直輸入ワイン 1杯 300円で  
別途お楽しみいただけます。

第1弾！  
ポンパドウルつくば店さん  
との共同イベント！

「葛城まちづくりグリーンネックレス構想 タウンセンター系グループ」では、  
TX研究学園駅周辺を明るく、楽しく、居心地のいい賑わい感ある空間にして  
いくための活動を始めました。

主催：葛城まちづくりグリーンネックレス構想 タウンセンター系グループ  
お申込み・お問合せ先 [katsuragitown@gmail.com](mailto:katsuragitown@gmail.com)



## (4) 歴史文化・地域資源系グループの活動概要

平成25年度の歴史文化・地域資源系グループの活動は、前年度の勉強会での議論やまちあるきを経て魅力や認識が高まった地域資源とともに、新たに発掘する地域資源として主に歴史文化・地域資源を取りあげた「葛城自慢マップ」を作成することをシンボルプロジェクトとし、活動を進めていくこととした。

- つくば市地域まちづくりグループへの登録  
平成25年6月につくば市の「地域まちづくりグループ」への登録を行い、アドバイザー派遣や学習会支援を受けられるようになった。
- アイラブつくばまちづくり補助金制度への申請  
自慢マップ作成、印刷費用として、つくば市の活動団体支援制度への申請を行い助成金を受けた。

平成25年度の自慢マップ作成までの活動は以下のとおりである。

- ① 研究学園の周辺の史跡や文化財の現地調査や聞き取り調査
  - ② ベストビューポイントを含む自慢できる場所100件の洗い出しと場所確認
  - ③ 散策ルートの設定とテスト歩行の実施
- 次の段階として、
- ④ 自慢マップの主テーマの「自慢できる箇所20箇所」「ビューポイント10箇所」を選定。
  - ⑤ 自慢できる箇所20箇所の全ての持ち主や責任者への個別訪問を行い、マップへの掲載承認を得る。
  - ⑥ 散策コースは、1コースを市民の方と計20名で試験歩行を実施。
  - ⑦ 具体的な地図編集作業をスタートさせ、絵の得意な会員は自慢箇所をスケッチで描き、写真の得意な会員は写真撮影をそれぞれが担い、地図の編集構成も会員がアイデアを出し合いながら進めた。
  - ⑧ 印刷は3,000部を外部に発注した。印刷費は、つくば市の「アイラブつくばまちづくり補助金事業」の助成金を活用した。
  - ⑨ 完成品は「自慢マップ」と「散策コースNO.1」として、公共機関に掲出をお願いし、住民には区会入会者へ個別配布した。

# TX研究学園 自慢マップ



【編集・製作】 葛城まちづくり グリーンネックレス構想  
歴史文化・地域資源系グループ

アイラブつくばまちづくりキャンペーン支援事業



## TX研究学園の物語

TX研究学園地区は元々葛城地区といい、遠く古墳時代以前から人々の暮らしがありました。時を経て、昭和の高度成長期を象徴する『自動車研究所』が開設され、隣接地には『国際科学技術博覧会』が開催され、世界に脚光を浴びる地域となりました。つくばエクスプレスの開通とともに開発がすすみ、今ではマンションやショッピングモールなどが建設され都市化への変貌の真っ最中です。一方で、この地域から少し足を伸ばすと、田畑や集落の中に神社史跡が点在し、静かに時を刻んでいます。筑波山を仰ぎつつ受け継がれ守られてきた信仰や自然を失うことなく、新しい科学技術を重ね、この地のより豊かな営みが続いています。これらの歴史や文化を掘り起こし、後世に引き継いでいくことも大切なことです。

### 1 日本自動車研究所



昭和36年(1961年)に設立された(財)自動車高速試験場を前身とし、改組・改称して昭和44年(1969年)に設立されました。自動車に関する総合的な研究、自動車社会の健全な発展に貢献することを使命としています。広大なテストコースは高速テストに使われていたことでも知られる。現在は、エネルギー、環境、交通安全などの問題と、低公害車の普及促進などに重点を置いています。今はテストコースは移転し、跡地はTX研究学園地区として発展中です。 自慢マップ・・い

### 2 国際科学技術博覧会

当地域の御幸が丘で昭和60年(1985年)3月17日~同年9月16日までの184日間にかけて行なわれた国際博覧会です。筑波研究学園都市のお披露目をかねており、「TSUKUBA」の名を国内外に知らしめました。「人間・居住・環境と科学技術」を博覧会テーマとし、日本を含む48カ国と37の国際機関が参加しました。総入場者数は2033万人で当時の特別博覧会史上最高入場者記録となった。会場は約101ヘクタールの広さで、現在主会場は民間の研究所と記念公園になっています。 自慢マップ・・3



おすすめ

## TX研究学園のビューポイント 10



スケッチ / 桐生 顕 写真 / 森 茂 構成 / 佐々木 民世

作成 2014 / 3



# TX 研究学園 自慢マップ



平成25年度資料

**20 豊里ゆかりの森**  
面積 12ha の自然公園。バーベキュー場、キャンプ場、昆虫館、工芸館、学習館、遊歩道、観音堂、野外ステージなど施設が多い。

**19 テーダ松並木**  
自動車研究所のテストコース沿いにあった松並木。強風除けと日陰のものので自動車研究所テストコースの名残である。

**18 つくば市役所庁舎**  
平成 22(2010)年 7 が着を統合してオープン。5階からは筑波山をバックに研究学園地区を研究できる。

**17 面野井の大枝垂れ桜**  
旧家の跡地にある大枝垂れ桜の名所。高さ 1m 以上の枝垂れ桜として名木として指定されている。周囲には水戸天狗塚の歴史の墓がある。

**16 面野井八幡神社**  
享保 5 (1720) 年面野井の地先津の村の守護神として延徳天皇の勅命を受けて建立。昭和 63 (1988) 年 11 月に建て替えられた。

**15 科学万博記念公園**  
科学万博会場跡地の公園。巨大な遊具が並び白は子供づれで賑わう。季節の折々に桜、菖蒲、あやめなどが楽しめる。

**14 民間先端研究所**  
科学万博会場跡地で数社や産学連携センターなど数社の最先端の研究拠点。周辺は足や樹木で囲まれていると大変美しい。

**13 新鮮野菜市場**  
美味しく安全な産物を新鮮なうちに提供したいという生産者の思いが集まった産売所。米作り体験などイベントも多い。

**12 安福寺**  
鎌倉時代中期の創建で総面積 12780 ㎡。大仁王門は弘法大師 1150 年の遺品を記念して昭和 59 (1984) 年に建てられた。

**11 蓮沼川調節池**  
蓮沼川奥部に広がる調節池で野鳥や植物の宝庫。周囲には自然による桜のトンネルがあり水ゾーンとして整備中である。

**10 ロボット走行実験区間**  
日本の公道でロボットが走行できるのはつくばセンター地区とここだけ。さまざまな走行ロボットの実験を行うことができる。

**1 地図と測量の科学館**  
地学と測量を体験しながら学べる施設。古地図から 3Dバーチャルマップまで楽しめる。巨大パラソルアンテナが目印。

**2 大規模緑地・保安林**  
自然をそのまま活かした 14.1 ha の大規模緑地。隣接地は保護保安林に指定され、オオムラサキやオオタカが棲息する。

**3 手作りハム販売所**  
餅の中にたづねの手作りハムの工場。工学見学や体験教室を行っており販売所やレストランで買物や食事を楽しめる。

**4 大型ショッピングモール**  
北関東最大級の大型複合商業施設。ショップや文化施設、レストラン、クリニックなどが揃っており休日にはイベントが行われる。

**5 苜蓿城跡**  
刈間城の跡地は小田田氏の野中兼相の墓所。墓を祀ったときのために置かれた土塁だけが当時の名残をとどめている。

**6 研究学園駅前**  
平成 17 (2005) 年 8 月に TX 開通と同時に完成したつくばセンター地区とここだけ。駅から筑波山の眺望もおすすり。

**7 研究学園駅前公園**  
総面積 7.3ha 新築の公園。開業前の自然を活かした林や池、開放的な芝生広場、古民家もある。

**8 苜蓿八坂神社**  
小田田の家臣野中兼相氏が文明 3 (1471) 年に京都の下御所から神像を遷したと神傳される。7月の例大祭には刈間城子が登場される。

**9 旧葛城郵便局**  
苜蓿村の郵便局。大正末期に開業された。現存する建物は個人所有で、昭和 28 (1953) 年に建てかえられた二代目。1フロアモダンが特徴的。

<p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 芝生の広場から自然のふどり</li> <li>■ 公園・公園公園、万葉公園、公園公園</li> <li>■ 水立と一帯とつながり</li> <li>● 遊歩道</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 2階・3階建</li> <li>■ 商業施設、文化、賑わい造成、市民活動施設</li> <li>■ 公共施設、教育機関等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 公園的な商業施設 (住宅・店舗等)</li> <li>■ 農家のふれあい</li> <li>■ 研究施設、工業団地</li> </ul>
---	--	---



平成 26 年度

グリーンネックレスの会の活動及び

各会の活動資料

(チラシ・写真)

- (1) 研究学園グリーンネックレスの会
- (2) グリーンの会
- (3) タウンの会
- (4) カルチャーの会





## (1) 研究学園グリーンネックレスの会

★研究学園駅地区まちづくりセミナー 4月

〈セミナーチラシ〉



# 研究学園駅地区 まちづくりセミナー 2014

他地区の取組み事例や、研究学園駅地区で活動している活動団体の取組み、  
また、活動を始めたばかりのグループの活動をわかりやすくご紹介!

平成26年4月25日(金) 13:30~16:30 (受付13:00~)

イーアスつくば(2階) イーアスホール

### プログラム

- 1 まちづくりビジョン「グリーンネックレス構想」について
- 2 先進事例「守谷野鳥の森などの取組み」について
- 3 地元の地権者を中心に活動している団体による活動紹介
- 4 「研究学園グリーンネックレスの会」による活動紹介
- 5 「つくば環境フォーラム」の活動紹介
- 6 質疑応答、意見交換



共催: 研究学園グリーンネックレスの会/NPO研究学園・葛城/研究学園駅センター地区協議会/一般財団法人つくば都市交通センター  
後援: 茨城県・つくば市





## (2) グリーンの会

★ガーデニングセミナー (H26.4～6)

・ガーデニングセミナー① (H26.4.6)

〈活動写真〉



・ガーデニングセミナー② (H26.5.11)



・ガーデニングセミナー③ (H26.6.9)





★植樹枿 H26.5月



〈活動写真〉



★駅前ベンチ H26.5月





### (3) タウンの会

・「パンとワインと音楽と」イベント開催

〈イベントチラシイメージ〉

～研究学園地区の賑わいと交流づくりイベント～

# パンとワインと音楽と

ポンパドウル焼きたてパンと筑波ハム、  
バンド「PLUMERIA BLASS (プルメリア ブラス)」による  
金管五重奏コンサート

第2弾！  
**4/15**  
16:00～18:00

火

イベント開催のため  
駐車場はご利用でき  
ません。

**会場：ポンパドウルつくば店駐車場**  
(雨天中止の場合は、  
ブログ「葛城まちづくり～グリーンネックレス構想～」<http://katsuragitown.tsukuba.ch/>で  
お知らせします)

第2弾！  
ポンパドウルつくば店さん  
との共同イベント！

**料金：1,500円**  
(予約制 先着100名様)  
(焼きたてパンと筑波ハムのセット  
ソフトドリンク付き)

**ワイン 1杯 300円で  
別途お楽しみいただけます。**

電話による受付は  
3/20～

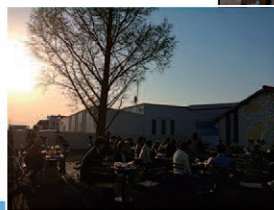
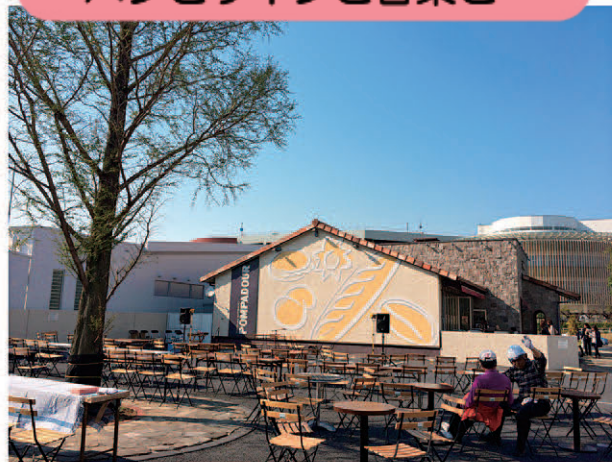
主催：研究学園グリーンネックレス タウンの会  
お申込み・お問合せ先：katsuragitown@gmail.com



タウンの会 H26.04.15  
賑わいと交流づくりイベント第2弾

〈活動写真〉

パンとワインと音楽と



平成26年度資料



# トワイライト音楽祭2014

7月26日 16:30～20:00

研究学園駅前広場

入場無料・雨天中止



トワイライト  
音楽祭 2014  
～よろずの灯り～

トワイライト音楽祭 実行委員会

NPO研究学園・葛城 研究学園グリーンネックレスの会  
研究学園センター地区協議会 市民有志

後援 つくば市・つくば市教育委員会

デザイン 磯部 直人・菅原楓

## トワイライト音楽祭2014～よろずの灯り～

【イベント開催報告写真】



この度は、トワイライト音楽祭へのご協力誠にありがとうございました。皆様のご協力でたくさんの方に来場いただき、無事終えることができました。

トワイライト音楽祭実行委員一同



～研究学園地区の賑わいと交流づくりイベント～

# パンとワインと音楽と

## ～スペインのゆらべ～

手作りパンと厳選された  
スペインワインとともに  
フラメンコミュージックを  
お楽しみください。

第3弾！  
**10/12(日)**  
19:00～21:00

会場：ポンパドウルつくば店  
料金：1,000円(予約制：先着40名様)

### 手作りパンとスペインワインの試飲付

ワインは1杯500円で別途お楽しみいただけます♪

協力：ポンパドウルつくば店  
国際美学院  
美酒堂研究学園店  
Bar lounge Y's

主催：研究学園グリーンネックレス タウンの会  
共催：つくば文化振興財団  
お申込み・お問合せ先：katsuragitown@gmail.com

「研究学園グリーンネックレス」は  
TX研究学園駅周辺を賑わいと潤いのある空間にしていく活動をしています。





タウンの会 H26.10.12  
賑わいと交流づくりイベント第3弾

パンとワインと音楽と





## (4) カルチャーの会

・大規模緑地里山観察ツアーイベントガイド実施

〈イベントチラシ〉

# 魅力いっぱい！里山づくり

広く市民に愛され、里山の自然がいつまでも保たれるよう、市民参加の里山づくりイベントを開催いたします。  
里山の魅力を知って親しみ、人の手が入ることにより、自然が持続していくことを、一緒に学びましょう！

## 【第3弾】 葛城を歩こう！里山発見散策イベント

～薔城の歴史・自然を知って、特別ルートで里山散策しよう～

今回のイベントでは、特別了解を得て散策ルートを設定し森に立ち入ることができます。(現在は一般供用されていません)

【日 時】 平成26年10月25日(土) 9:40出発 少雨決行 荒天順延(予備日 10/26(日))

【集合場所】 9:20ハウジングパーク西側芝生広場集合(裏面地図参照)

【コース】 芝生広場を出発し平塚の集落を通り、葛城地区大規模緑地(県有林)等を散策。歴史に詳しいガイド、自然に詳しいガイドが説明しながら散策します。

【参加費】 無料

【定員】 30名

【持ち物・服装】 飲み物・底の厚い靴、動きやすい服装 (少雨の場合は雨具を持参してください)

【申込方法】 裏面の必要事項をお知らせの上、Eメール、FAXで10月20日までに申し込みください。  
※参加者多数の場合、定員に達し次第、先着順にて締め切らせていただきます。

共催： 一般財団法人つくば都市交通センター ・ NPO法人つくば環境フォーラム  
協力： 散策ルートマップ提案・現地ガイド 研究学園グリーンネックレス カルチャーの会

☆協賛イベント☆  
散策後、協賛イベント企画として、つくば環境フォーラムが開催する「森フェスタ2014」へ参加することができます。お申込み、お問合せは「つくば環境フォーラム」まで。(事前予約が必要です)  
交流会参加費：おひとり様500円  
内容：交流会(おにぎり、けんちん汁などの昼食付)、ネイチャークラフト、丸太切り体験、ミニコンサートなど

同日開催協賛イベント

森フェスタ2014  
10/25(土) 10:00-15:00  
つくば環境フォーラム主催  
会場：つくば環境フォーラム(つくば市水戸川1-1-1)

☆このイベントは、茨城県より(一部)つくば都市交通センターが委託を受け実施している「平成26年度葛城地区大規模緑地ビジョン及び行動計画(案)」の取組みの1つです。

## 〈当日配布マップ〉

### 里山発見散策イベント ～2014.10.25散策コース～

☆散策ポイント☆

- 葛城地区大規模緑地と保樹保安林**  
左手が県有地の葛城地区大規模緑地、右手が県有地の保樹保安林。(裏面解説文参照)これから里山づくりを進める大規模緑地と、NPOつくば環境フォーラムにより整備された保樹保安林が隣接している。
- 大地の原**  
ファミリー農園にある手掘りの井戸。この辺りが谷津であり水の溢れがあった証(アール)である。
- 大供養塔**  
河原から平塚に入る三叉路に、下平塚の女人頭の名で供えられた、大供養の卒塔婆がある。少し前までは三つ又の枝で作られた「ツツカシ」が置かれ、米を供え鎌倉が上げられていた。難産死した大の供養とともに、大の多産に因って自らの安産と五穀豊饒を祈った地域信仰の名残である。
- 無量山西光寺観音殿**(裏面解説文参照)  
大雄堂、宝篋印塔、歴代住職の墓(附塔)、地蔵菩薩、五輪塔、十九夜碑、馬頭観世菩薩等の石造遺物がある。寺の歴史を書いた碑文によれば、関山の寛永時代は江戸時代の初期に当り、徳川幕府が確立し、仏教全盛時代であったが、明治元年の神仏分離令による馬仏僧侶の連れで僧侶が離れ、寺は荒しく衰微したという。裏面に歴代住職の名が書かれている。
- 大日輪**  
大日知来の石像があり、平塚地区の念仏衆たちが共同で祀つたもの。「オダイニチヤマ」と呼び、龍の神、百姓の神として崇めた。主要な道の脇の小高いところに祀られていることが多く、こも町筋から筑波に向かう街道筋であったと考えられる。丘の上に数本の樹の大木があり、春には天井を飾るよう花が美しく咲く。知来像の脇に昔の石積の垣で囲まれた石像があるが、何かは不明。裏面は簡易解説され、裏目が一瞥しつづめる。
- 緑地内の自然**  
緑地内には、貴重種を含む動物、植物、昆虫等が豊富に生息しています。ガイドが都度説明します。大切に保護しましょう。
- 参行者専用道**  
整備事業が始まる前は、日本自動車研究所の高速周回路(テストコース)が回っていた。そのコーナーの一部を参行者専用道として残した。前方には、かつてこの地域の水害であった窪地があり、窪んだ水にはワナギが鬱蒼していたという。道が先に周回路沿いに掘られたテグダ松(米松、現在40本残る)が見える。
- 新しい散策道**  
今年の8月に実施した維持管理イベントにおいて、参加した市民が作り出した散策道である。今後の維持に協力をお願いしたい。
- 旧街道**  
現在は舗道であるが、かつては筑波山に向かう主要街道であった。地元産業の筑波ハムは、レストラン「自然味工房 止庵店」隣で、清浄環境で自家製精製した豚肉製品や地元産の産物を供給している。
- 森フェスタ2014会場 (にれ工場)**

☆散策ポイント☆

① くのびの森(民有地)  
早い時期に、市民活動により整備活動がされた。

集合場所 駐車場可

平成26年度資料

・郷土史サロン（第1回）

開催日時：平成26年10月30日（木） 13:30～15:30

〈案内チラシ〉

研究学園 「郷土史サロン」のご案内

H26・10

研究学園グリーンネックレス カルチャーの会は、「新しい街研究学園とその周辺地区」の歴史と生活を学ぶ場として「郷土史サロン」を開催することになりました。郷土史の研究者や周辺地区にお住まいの職者を講師にお迎えして、郷土の歴史や生活のお話を伺い学ぼうというものです。あわせて、郷土史サロンを通じて、住民同士の交流をはかりたいと思います。

第1回 「研究学園地区の変遷について」

講師 郷土史家  
日時 10月30日（木）午後1時30分～3時30分  
場所 水戸信用金庫研究学園支店 2階会議室  
申込 10月24日までにE・mailかFaxでお申し込みください  
\* E・mailの場合 件名「郷土史サロン」とし、お名前、ご住所、  
連絡先を記入し お送りください  
\* Faxの場合 下記Fax申込書をご利用ください  
お申し込みは先着30名様といたします。なお、資料代とし300円いただきます

講義概要—江戸中期の地図と現代の地図を見比べながら研究学園地区の変遷を、郷土史研究に関わってこられた井坂先生の考察に基づく興味深いお話をさせていただきます。

次回以降は、「平塚地区の歴史と鹿島神社」「刈間城の歴史と八坂神社」などのテーマで、地区在住の職者を講師に招き、サロンを進めていく予定です。

（注）水戸信金の駐車場は、郷土史サロンへの参加者は利用できませんのでご注意ください。

主催 研究学園グリーンネックレス カルチャーの会  
協力 一般財団法人つくば都市交通センター

Fax 029-858-9115 研究学園グリーンネックレス カルチャーの会 行き

Fax 申込書	お名前	
	ご住所	
	ご連絡先	

印刷協力：理想科学工業㈱  
ORPHIS EX9050で印刷しました



・郷土史サロン（第2回）

開催日時：平成27年1月29日（木） 13:30～16:00

〈案内チラシ〉

## 研究学園「郷土史サロン」

# 研究学園のルーツや歴史を 学びませんか？

**特別講座**

## 「自動車研究所の歴史を知ろう」

**日時** 1月29日（木）午後1時30分～4時00分

**場所** 自動車研究所 会議室

**内容** 自動車研究所の建設から草創期の模様など  
貴重な資料をもとに お話を伺います



研究学園グリーンネックレス カルチャーの会

・郷土史サロン（第1回）



・郷土史サロン（第2回）











## あとがき

葛城まち育てにつつましては、住民の皆様、地元の各団体、研究会、行政、企業等多くの方々のご理解とご協力が進んでいます。あらためてこの場を借りてお礼申し上げます。

私たちまち育て事業チームは、これからも財団内外から多くの教示を受け進んでいこうと考えています。

不安なこともたくさんありますが、明日からまた、グリーンネックレスの会の皆さんとどうしよう、こうしようとお話しをするのは楽しみです。

一般財団法人つくば都市交通センター

企画業務部 まち育て事業チーム

本書編集責任者 櫻井 豊